

令和6年度

市政モニター報告書

枚方市 市長公室 広聴相談課

目 次

1. 市政モニター概要	1 頁
2. わくわくする公園整備に関するアンケート	3 頁
3. 市民意識に関するアンケート	35 頁
4. 新しい市役所本庁舎の整備に関するアンケート	81 頁
5. 枚方市の文化芸術に関するアンケート	91 頁
6. 枚方市の自転車活用に関するアンケート	95 頁
7. 市総合コールセンターに関するアンケート	101 頁

令和6年度 市政モニター概要

市政モニターアンケートテーマ

第1回

- ① わくわくする公園整備に関するアンケート（公園みどり課）
- ② 市民意識に関するアンケート（企画課）

第2回

- ① 新しい市役所本庁舎の整備に関するアンケート（市駅周辺まち活性化部）
- ② 枚方市の文化芸術に関するアンケート（文化生涯学習課）

第3回

- ① 枚方市の自転車活用に関するアンケート（土木政策課）
- ② 市総合コールセンターに関するアンケート（広聴相談課）

実施日	第1回	アンケート送付日	令和6年7月16日
		回答締切日	令和6年8月2日
	第2回	アンケート送付日	令和6年9月11日
		回答締切日	令和6年9月27日
	第3回	アンケート送付日	令和6年11月27日
		回答締切日	令和6年12月13日

回答率

		モニター区分	モニター数 (人)	回答数 (人)	回答率 (%)	
第1回	①	eモニター	439	386	87.9%	88.8%
		郵送モニター	79	74	93.7%	
	②	eモニター	439	361	82.2%	84.2%
		郵送モニター	79	75	94.9%	
第2回	①	eモニター	439	376	85.6%	86.8%
		郵送モニター	78	73	93.6%	
	②	eモニター	439	357	81.3%	83.2%
		郵送モニター	78	73	93.6%	
第3回	①	eモニター	439	372	84.7%	86.1%
		郵送モニター	78	73	93.6%	
	②	eモニター	439	359	81.8%	83.6%
		郵送モニター	78	73	93.6%	

※この報告書は、各アンケートの担当部署が作成したものを、広聴相談課で取りまとめたものです。内容について問い合わせ等がある場合は、各担当部署にお願いします。

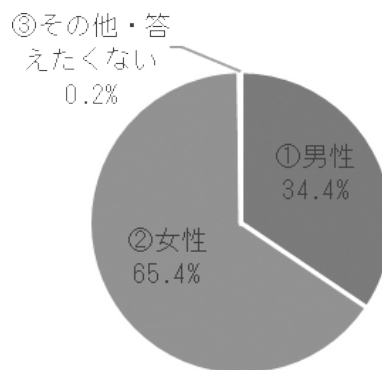
1. わくわくする公園整備に関するアンケート

本市では、こどもや子育て世帯が安心・快適に日常生活を送ることができるようにするため、こどもや子育て世帯の目線に立ち、こどもの遊び場の確保及び親同士・地域住民との交流機会の創出に資する都市公園の整備等を考えています。

再整備を行う対象の公園および各公園における必要な内容（施設）を選定し、事業計画を策定するために、市民の皆様が公園についてどのような公園施設等を求めているのかを知り、施策に活かしていきたいと考えアンケートを実施しました。

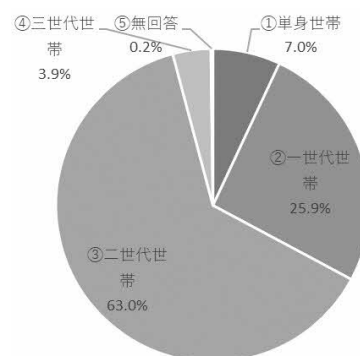
問１．あなたの性別をお教えてください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①男性	158	34.4
②女性	301	65.4
③その他・答えたくない	1	0.2
④無回答	0	0
合計	460	



問２．あなたの家族構成について、あてはまる番号を選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①単身世帯	32	7.0
②一世代世帯	119	25.9
③二世世代世帯	290	63.0
④三世世代世帯	18	3.9
⑤無回答	1	0.2
合計	460	



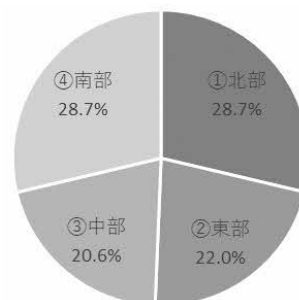
【考察】

アンケート回答者の約3分の2が「二世世代世帯」であることが分かりました。このことから、公園利用者の多くが子育て世代であると考えられます。そのため、子供向けの遊具や家族全員が楽しめる施設の整備が重要です。また、「一世代世帯」も一定数存在するため、単身世帯や若い世代の利用ニーズにも配慮する必要があります。

公園改修においては、二世世代世帯の家族層の意見を優先しつつ、他の家族構成にも対応できる施設設置計画が求められます。

問３．現在お住まいのエリア(小学校区)について、あてはまる番号を選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①北部	132	28.7
②東部	101	22.0
③中部	95	20.6
④南部	132	28.7
合計	460	

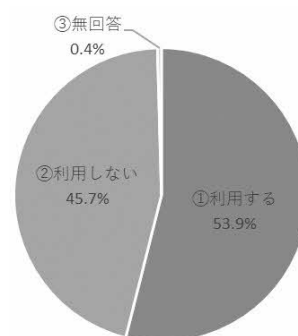


【考察】

公園に関する意見は、地区別でほぼ均等に回答を得られています。詳しく見ると、北部と南部からの回答が均等に多く、東部と中部からはやや少なめであることが分かりました。このことから、北部と南部の地域で公園の整備を重点的に進める必要があると考えられます。また、東部と中部のエリアでも利用者のニーズを把握し、バランスよく対応することが求められます。

問4. 公園をよく利用されますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①利用する	248	53.9
②利用しない	210	45.7
③無回答	2	0.4
合計	460	



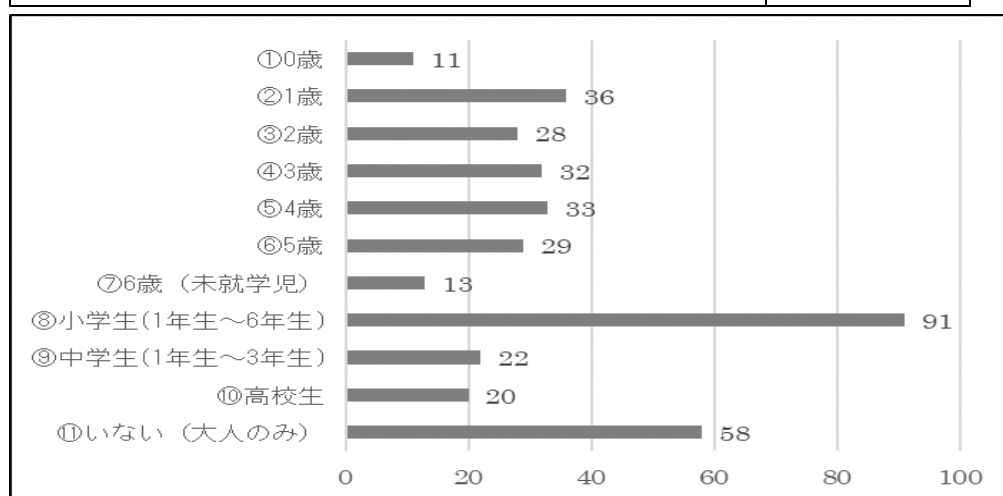
【考察】

公園を「利用する」と回答した人が「利用しない」と回答した人よりもやや多いですが、利用しない人の割合も高いことが分かりました。この結果は、公園の利用促進や改善が重要であることを示しています。公園を利用しない理由を掘り下げ、利用促進のための具体的な施策を検討する必要があります。

【問4で①を選択された方にお伺いします。】

問5. 公園を利用するあなたのご家庭の子供（孫）の年齢についてあてはまる番号を選んでください。複数人いる方は、それぞれあてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数 (件)
①0 歳	11
②1 歳	36
③2 歳	28
④3 歳	32
⑤4 歳	33
⑥5 歳	29
⑦6 歳（未就学児）	13
⑧小学生(1 年生～6 年生)	91
⑨中学生(1 年生～3 年生)	22
⑩高校生	20
⑪いない（大人のみ）	58



【考察】

公園を利用する家庭の子供の年齢については、回答の分布から幅広い年齢層で公園が利用されていることが分かりました。特に、0歳から小学生の子供を持つ家庭が多く、未就学児から小学生までが主な利用者であると考えられます。

このことから、市としては、未就学児から小学生までの子供たちが安全かつ楽しめる遊具や施設の整備に重点を置く必要があると考えられます。

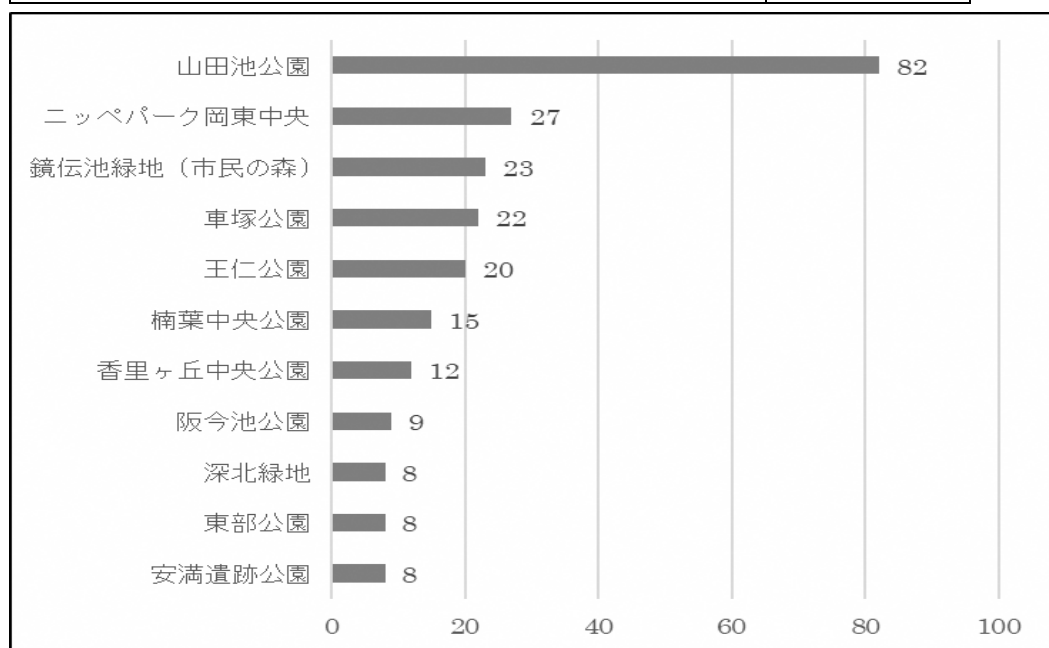
また、いない（大人のみ）の回答が一定数見られるため、大人向けの施設やリラックスできるスペースの充実も検討する価値があります。公園が幅広い年齢層に対応できるよう、バランスの取れた計画を立てることが求められます。

【問4で①を選択された方にお伺いします。】

問6. よく訪れる公園を3つまで教えてください。（市内市外問いません。）また、その公園の利用者、利用頻度、交通手段、公園までの移動所要時間について、あてはまる番号を選んでください。

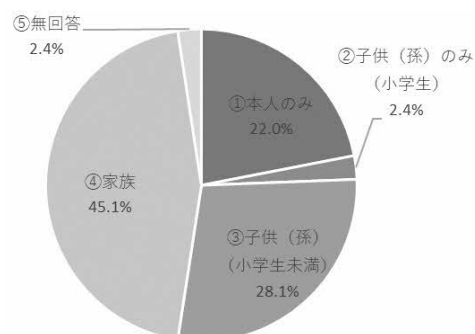
※回答項目 157 公園のうち回答数 8 件以上について集計

回答項目	回答数（件）
山田池公園	82
ニッペパーク岡東中央	27
鏡伝池緑地（市民の森）	23
車塚公園	22
王仁公園	20
楠葉中央公園	15
香里ヶ丘中央公園	12
阪今池公園	9
深北緑地	8
東部公園	8
安満遺跡公園	8



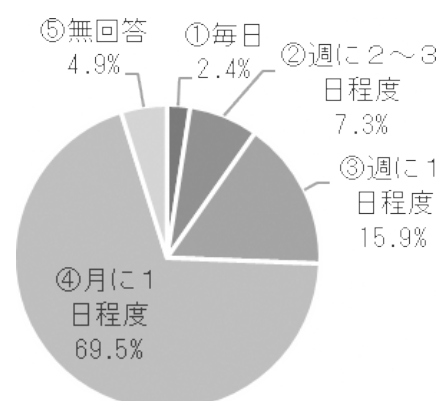
●よく訪れる公園で、「山田池公園」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	18	22.0
②子供（孫）のみ（小学生）	2	2.4
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	23	28.1
④家族	37	45.1
⑤無回答	2	2.4
合計	82	



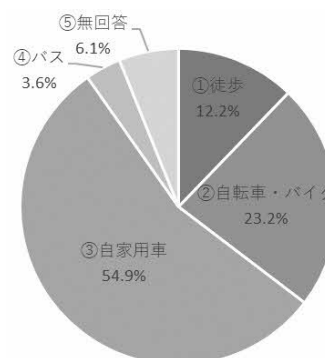
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	2	2.4
②週に 2～3 日程度	6	7.3
③週に 1 日程度	13	15.9
④月に 1 日程度	57	69.5
⑤無回答	4	4.9
合計	82	



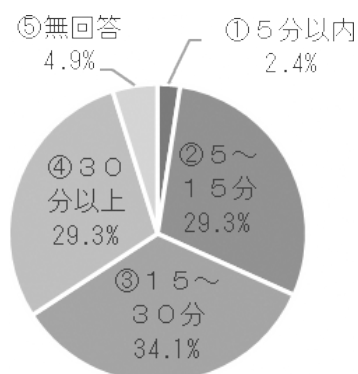
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	10	12.2
②自転車・バイク	19	23.2
③自家用車	45	54.9
④バス	3	3.6
⑤無回答	5	6.1
合計	82	



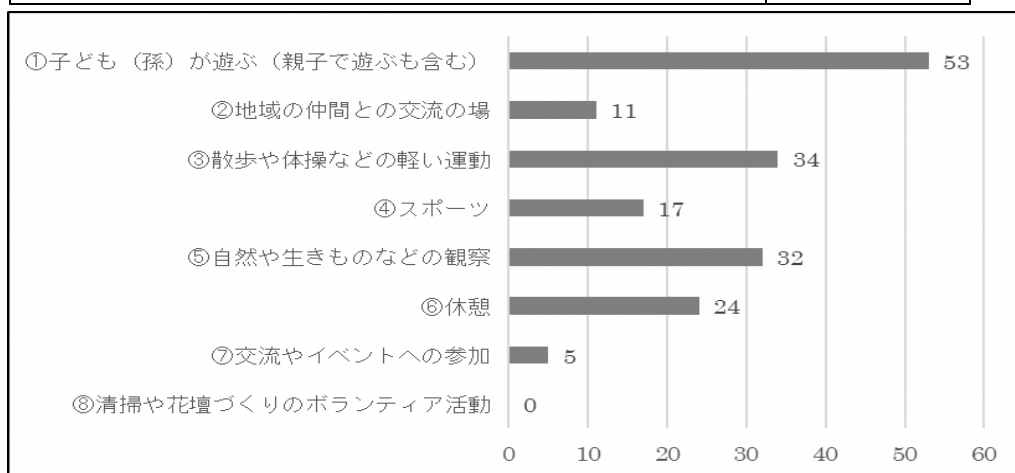
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	2	2.4
②5～15 分	24	29.3
③15～30 分	28	34.1
④30 分以上	24	29.3
⑤無回答	4	4.9
合計	82	



問7. よく訪れる公園（山田池公園）では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	53
②地域の仲間との交流の場	11
③散歩や体操などの軽い運動	34
④スポーツ	17
⑤自然や生きものなどの観察	32
⑥休憩	24
⑦交流やイベントへの参加	5
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



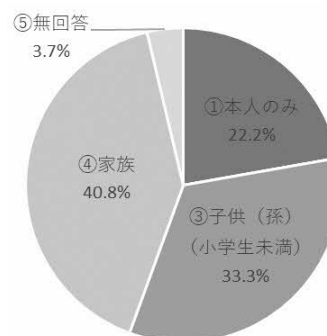
【考察】

山田池公園に関する問6～問7のアンケート結果から、利用者の多くが家族連れや、小さな子供連れであることが分かります。利用頻度は月に1日程度と回答した人が最も多く、主に自家用車を利用するため、広域からの来園者も多いと考えられます。移動所要時間が15分以上のケースが多いことから、公園は地域住民だけでなく、他地域からもアクセスしやすい位置にあるといえます。

公園での過ごし方としては、子供が遊ぶことや散歩などの軽い運動が主要な利用目的であり、自然観察や休憩も多くの利用者に支持されています。これにより、山田池公園は自然を活かしたリラクゼーションや家族向けの活動が中心となっていることが分かります。

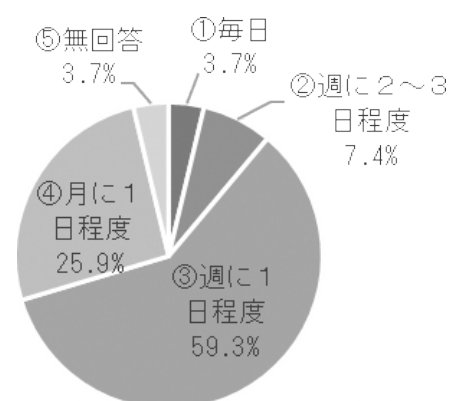
●よく訪れる公園で、「ニッペパーク岡東中央」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	6	22.2
②子供（孫）のみ（小学生）	0	0.0
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	9	33.3
④家族	11	40.8
⑤無回答	1	3.7
合計	27	



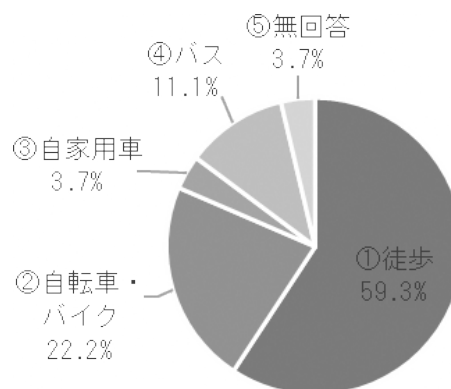
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	1	3.7
②週に 2～3 日程度	2	7.4
③週に 1 日程度	16	59.3
④月に 1 日程度	7	25.9
⑤無回答	1	3.7
合計	27	



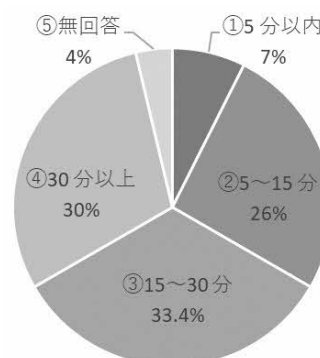
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	16	59.3
②自転車・バイク	6	22.2
③自家用車	1	3.7
④バス	3	11.1
⑤無回答	1	3.7
合計	27	



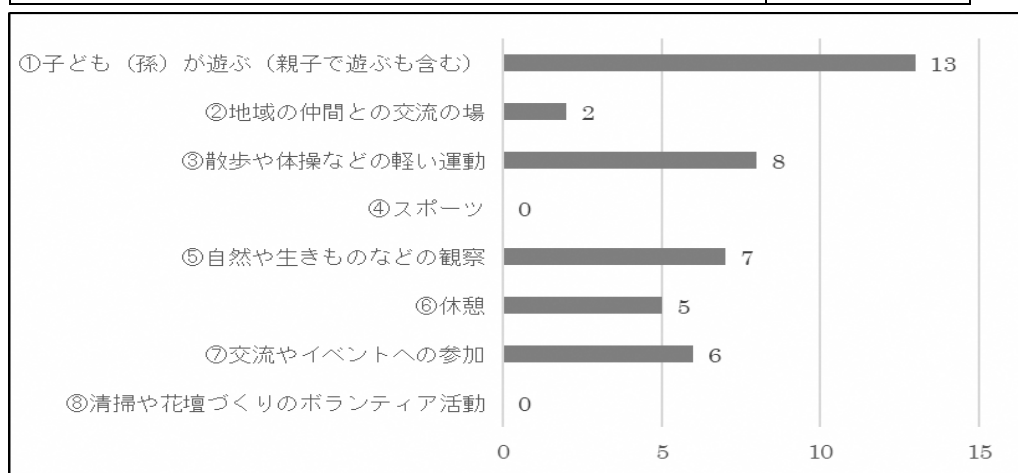
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	2	7.4
②5～15 分	7	25.9
③15～30 分	9	33.4
④30 分以上	8	29.6
⑤無回答	1	3.7
合計	27	



問7. よく訪れる公園（ニッペパーク岡東中央）では、どんなことをして過ごされますか。
あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	13
②地域の仲間との交流の場	2
③散歩や体操などの軽い運動	8
④スポーツ	0
⑤自然や生きものなどの観察	7
⑥休憩	5
⑦交流やイベントへの参加	6
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



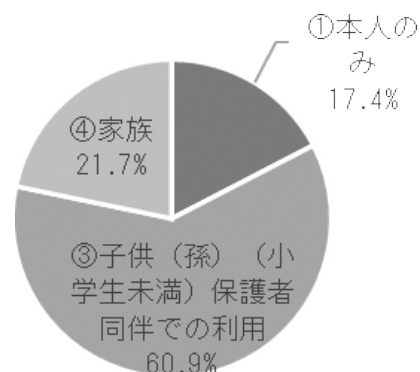
【考察】

ニッペパーク岡東中央に関する問6～問7のアンケート結果から、主に徒歩でアクセスする利用者が多く、近隣からの訪問が中心であることが分かります。利用頻度は週に1日程度が多く、家族連れや小さな子供と一緒に訪れるケースが目立ちます。

また、移動所要時間が15分以上の利用者も多く、徒歩や公共交通機関でアクセスしやすい位置にあることが推測されます。公園内では、主に子供が遊ぶための利用が多く、散歩などの軽い運動、自然観察、交流やイベントへの参加も行われています。一方で、スポーツやボランティア活動には参加が少ないことが分かります。これにより、ニッペパーク岡東中央は家族向けのリラクゼーションと子供向けの活動が中心となっているといえます。

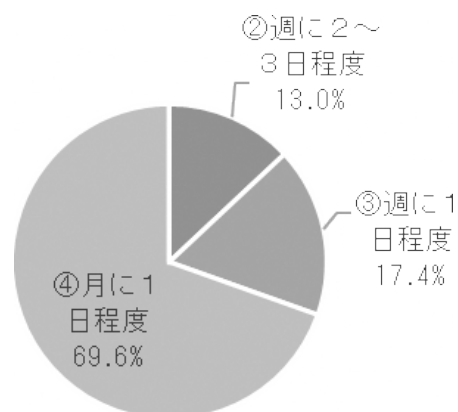
●よく訪れる公園で、「鏡伝池緑地（市民の森）」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	4	17.4
②子供（孫）のみ（小学生）	0	0.0
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	14	60.9
④家族	5	21.7
⑤無回答	23	



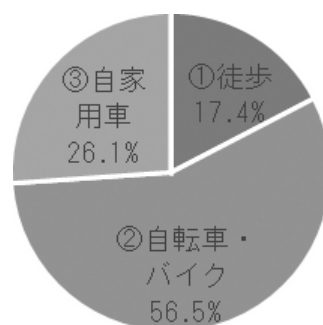
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	0	0.0
②週に 2～3 日程度	3	13.0
③週に 1 日程度	4	17.4
④月に 1 日程度	16	69.6
合計	23	



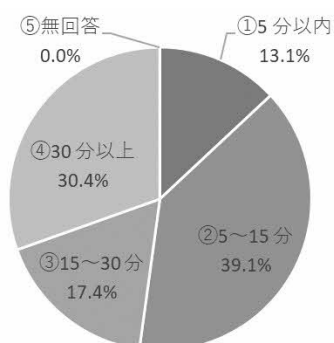
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	4	17.4
②自転車・バイク	13	56.5
③自家用車	6	26.1
④バス	0	0.0
合計	23	



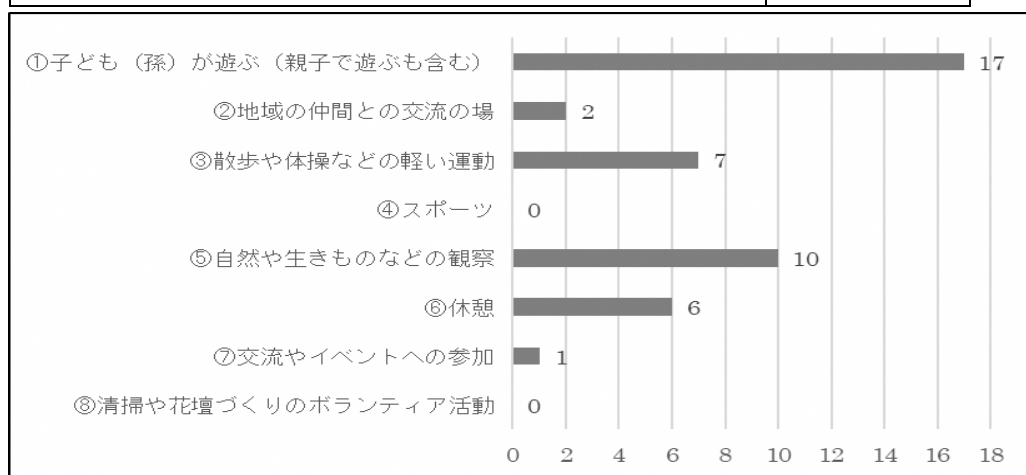
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	3	13.1
②5～15 分	9	39.1
③15～30 分	4	17.4
④30 分以上	7	30.4
合計	23	



問7. よく訪れる公園(鏡伝池緑地(市民の森))では、どんなことをして過ごされますか。
あてはまる番号を選んでください。(複数選択可)

選択項目	回答数(件)
①子供(孫)が遊ぶ(親子で遊ぶも含む)	17
②地域の仲間との交流の場	2
③散歩や体操などの軽い運動	7
④スポーツ	0
⑤自然や生きものなどの観察	10
⑥休憩	6
⑦交流やイベントへの参加	1
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



【考察】

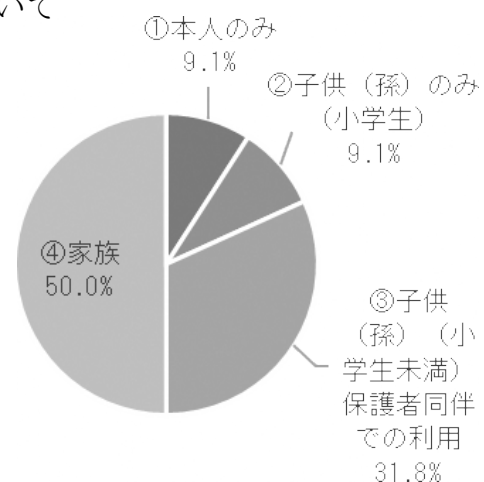
鏡伝池緑地(市民の森)に関する問6～問7のアンケート結果から、主に小さな子供連れの利用者が多く、家族での訪問も見られます。利用頻度は月に1日程度が最も多く、主に自転車や自家用車でアクセスする利用者が多いことが分かります。移動所要時間が5～15分の範囲内が最も多く、近隣からの訪問が中心であるといえます。

公園での過ごし方としては、子供が遊ぶことや自然観察が主な利用目的であり、散歩などの軽い運動も行われています。一方で、スポーツやボランティア活動には参加が少ない傾向があります。

これらの結果から、鏡伝池緑地(市民の森)は特に子供向けの活動や自然体験を重視した公園であることが分かります。市としては、小さなこども向けの遊具の充実や自然観察環境の維持が求められます。

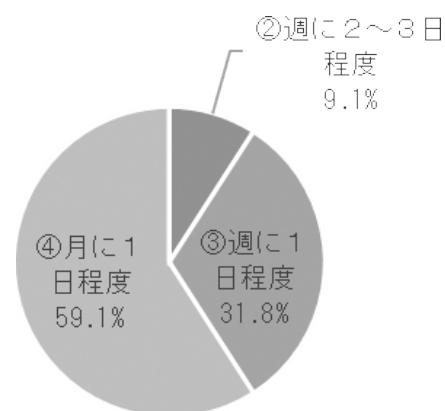
●よく訪れる公園で、「車塚公園」に回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	2	9.1
②子供（孫）のみ（小学生）	2	9.1
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	7	31.8
④家族	11	50.0
⑤無回答	22	



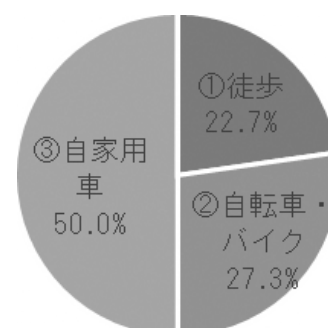
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	0	0.0
②週に 2～3 日程度	2	9.1
③週に 1 日程度	7	31.8
④月に 1 日程度	13	59.1
⑤無回答	0	0.0
合計	22	



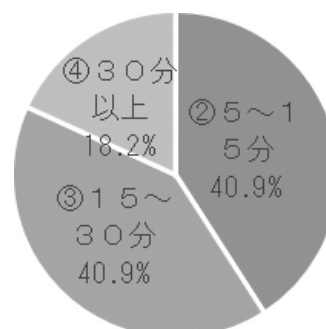
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	5	22.7
②自転車・バイク	6	27.3
③自家用車	11	50.0
④バス	0	0.0
合計	22	



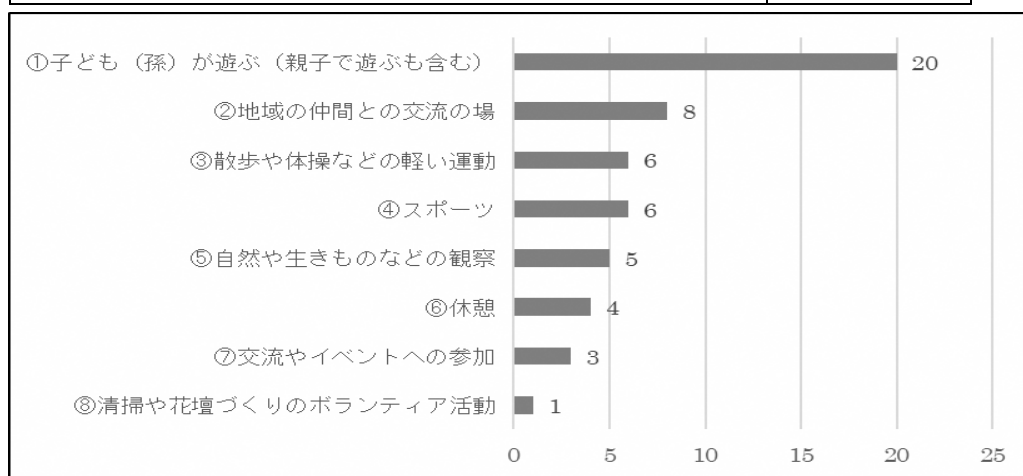
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	0	0.0
②5～15 分	9	40.9
③15～30 分	9	40.9
④30 分以上	4	18.2
合計	22	



問7. よく訪れる公園（車塚公園）では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	20
②地域の仲間との交流の場	8
③散歩や体操などの軽い運動	6
④スポーツ	6
⑤自然や生きものなどの観察	5
⑥休憩	4
⑦交流やイベントへの参加	3
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	1



【考察】

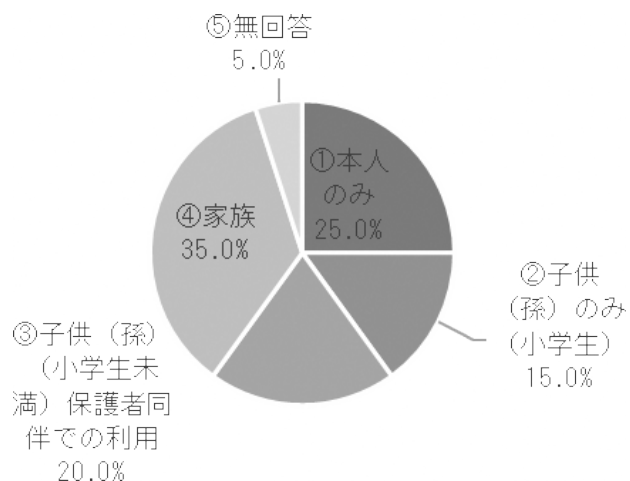
車塚公園に関する問6～問7のアンケート結果から、家族連れの利用者が多く、小さな子供連れの訪問も多いことが分かります。利用頻度は月に1日程度が最も多く、自家用車を利用する人が半数を占める一方、徒歩や自転車アクセスする利用者も見られます。移動所要時間が5～30分の範囲に集中しており、比較的近隣からの利用が多いことが推測されます。

公園内での活動としては、子供が遊ぶことが主な利用目的で、地域の交流や軽い運動、スポーツも行われていますが、ボランティア活動には参加が少ないことが分かります。このことから、車塚公園は家族向けの活動が中心であるといえます。

市としては、家族連れがより楽しめるよう、遊具の充実や親子での活動を提供するスペースの拡充が求められます。

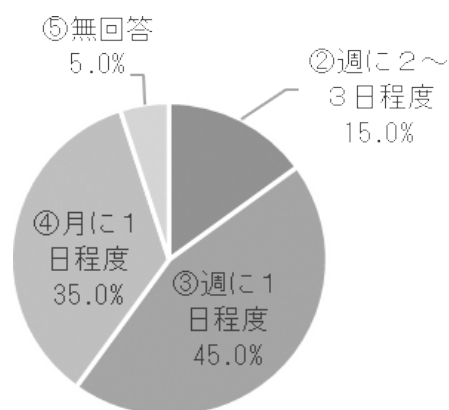
●よく訪れる公園で、「王仁公園」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	5	25.0
②子供（孫）のみ（小学生）	3	15.0
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	4	20.0
④家族	7	35.0
⑤無回答	1	5.0
合計	20	



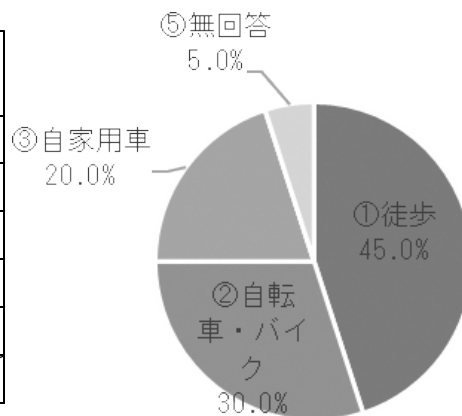
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	0	0.0
②週に 2～3 日程度	3	15.0
③週に 1 日程度	9	45.0
④月に 1 日程度	7	35.0
⑤無回答	1	5.0
合計	20	



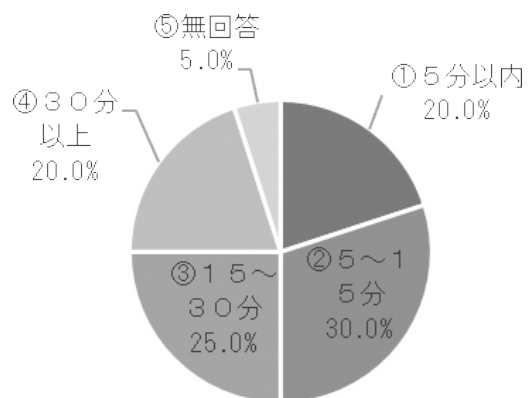
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	9	45.0
②自転車・バイク	6	30.0
③自家用車	4	20.0
④バス	0	0.0
⑤無回答	1	5.0
合計	20	



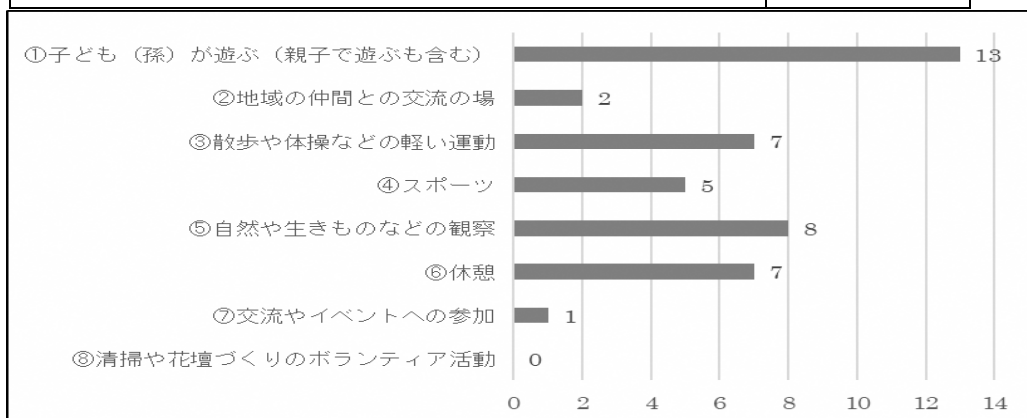
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	4	20.0
②5～15 分	6	30.0
③15～30 分	5	25.0
④30 分以上	4	20.0
⑤無回答	1	5.0
合計	20	



問7. よく訪れる公園（王仁公園）では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	13
②地域の仲間との交流の場	2
③散歩や体操などの軽い運動	7
④スポーツ	5
⑤自然や生きものなどの観察	8
⑥休憩	7
⑦交流やイベントへの参加	1
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



【考察】

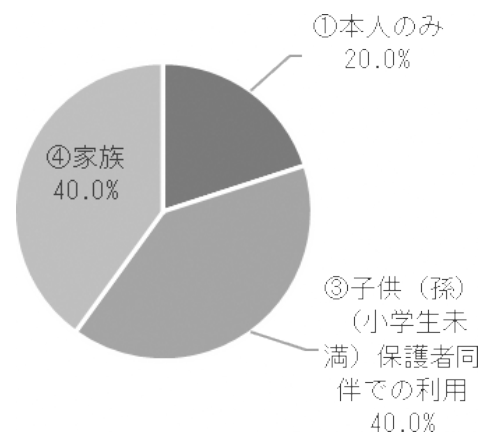
王仁公園に関する問6～問7のアンケート結果から、家族連れや子供連れの利用者が多いことが分かります。利用頻度は週に1日程度が最も高く、主に徒歩や自転車でアクセスしていることを示しています。移動所要時間は5～30分以内の範囲に集中しており、比較的近隣からの利用が多いと考えられます。

公園内では、主に子供が遊ぶことや自然観察が行われており、散歩や軽い運動も実施されていますが、スポーツやボランティア活動には参加が少ないことが分かります。これにより、王仁公園はファミリー向けのリラクゼーションと子供向けの活動が中心であることが推測されます。市としては、家族連れや子供が楽しめるよう、遊具の充実や自然環境の維持が求められます。

●よく訪れる公園で、「楠葉中央公園」と回答された方について

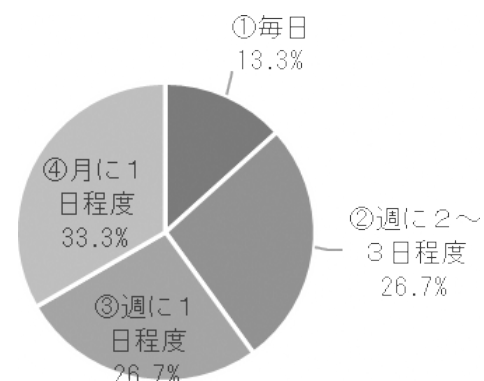
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	3	20.0
②子供（孫）のみ（小学生）	0	0.0
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	6	40.0
④家族	6	40.0
合計	15	



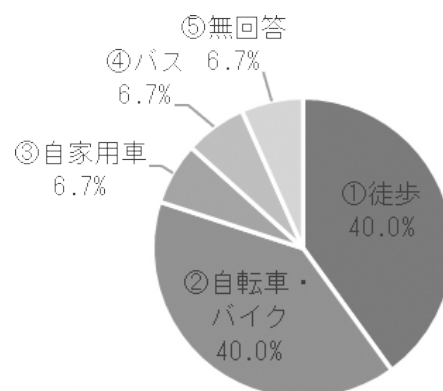
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	2	13.3
②週に 2～3 日程度	4	26.7
③週に 1 日程度	4	26.7
④月に 1 日程度	5	33.3
合計	15	



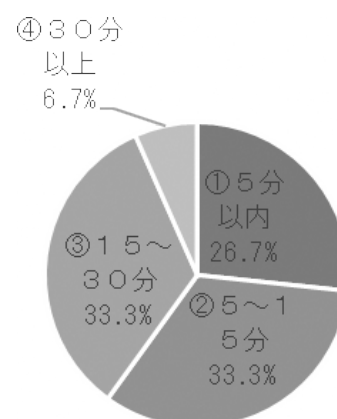
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	6	40.0
②自転車・バイク	6	40.0
③自家用車	1	6.7
④バス	1	6.7
⑤無回答	1	6.7
合計	15	



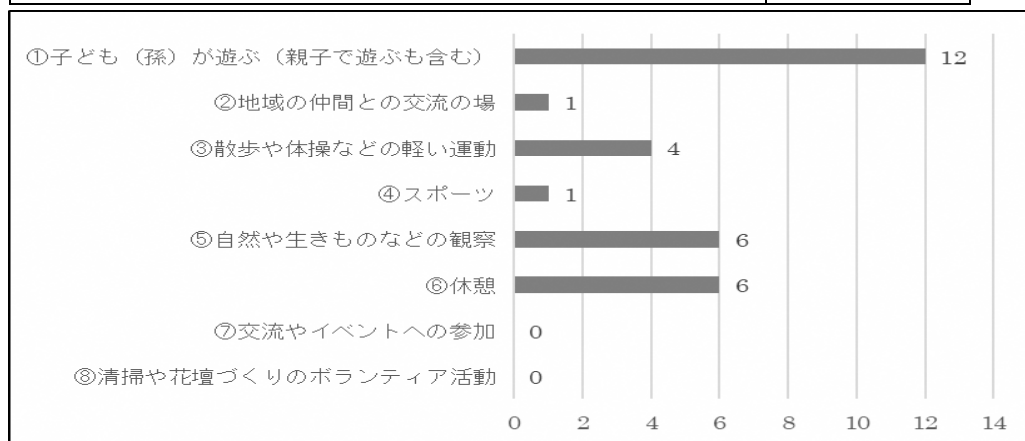
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	4	26.7
②5～15 分	5	33.3
③15～30 分	5	33.3
④30 分以上	1	6.7
合計	15	



問7. よく訪れる公園(楠葉中央公園)では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。(複数選択可)

選択項目	回答数(件)
①子供(孫)が遊ぶ(親子で遊ぶも含む)	12
②地域の仲間との交流の場	1
③散歩や体操などの軽い運動	4
④スポーツ	1
⑤自然や生きものなどの観察	6
⑥休憩	6
⑦交流やイベントへの参加	0
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



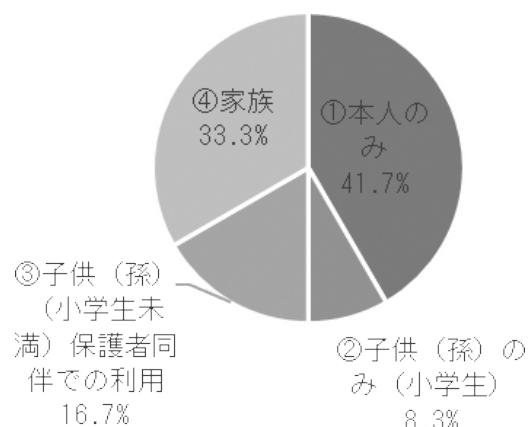
【考察】

楠葉中央公園に関する問6～問7のアンケート結果から、利用者層は主に家族連れや子供連れが多く、週に1～3日頻度で訪れる人が多いことが分かります。交通手段としては徒歩や自転車が主流であり、公園までの移動時間は5～30分以内の利用が中心です。

公園内の活動としては、子供が遊ぶことが最も多く、自然観察や休憩も行われていますが、スポーツやボランティア活動には参加が少ないことを示しています。このことから、楠葉中央公園はファミリー向けの活動やリラックスできる場として利用されていることが分かります。市としては、家族連れや子供向けの施設や遊具の充実を図ることが求められます。

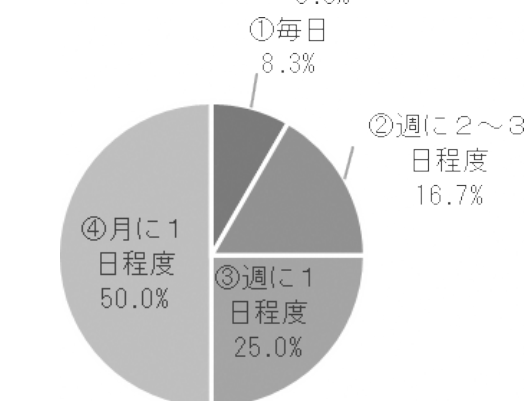
●よく訪れる公園で、「香里ヶ丘中央公園」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	5	41.7
②子供（孫）のみ（小学生）	1	8.3
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	2	16.7
④家族	4	33.3
合計	12	



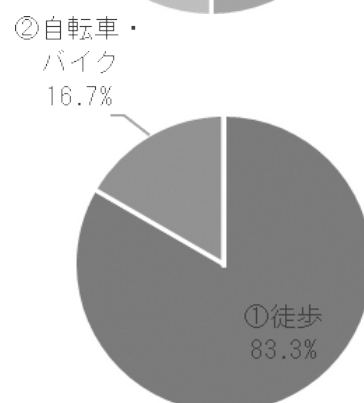
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	1	8.3
②週に 2～3 日程度	2	16.7
③週に 1 日程度	3	25.0
④月に 1 日程度	6	50.0
合計	12	



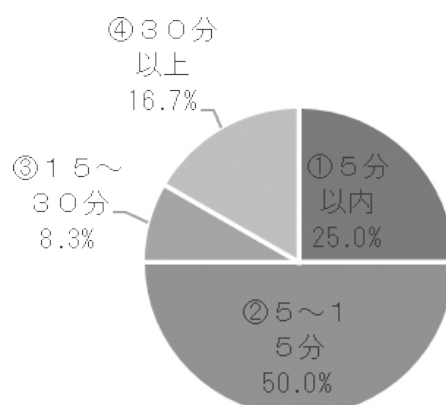
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	10	83.3
②自転車・バイク	2	16.7
③自家用車	0	0.0
④バス	0	0.0
合計	12	



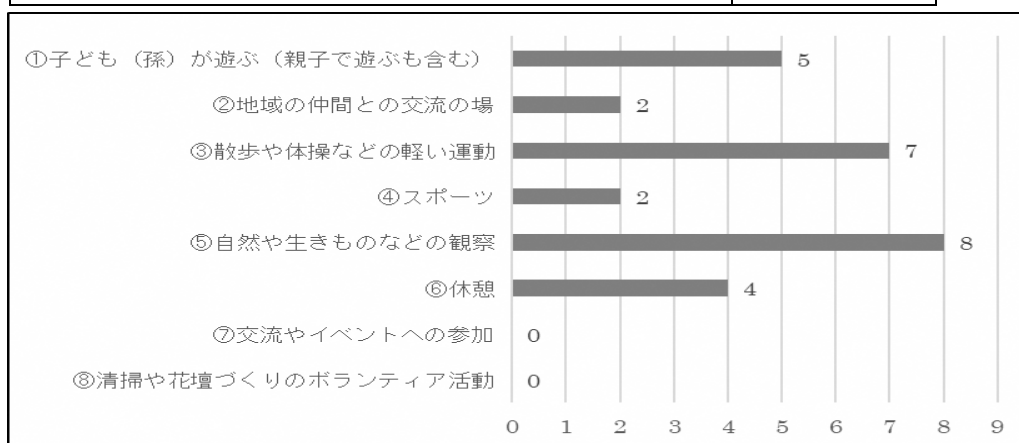
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	3	25.0
②5～15 分	6	50.0
③15～30 分	1	8.3
④30 分以上	2	16.7
合計	12	



問7. よく訪れる公園（香里ヶ丘中央公園）では、どんなことをして過ごされますか。
あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	5
②地域の仲間との交流の場	2
③散歩や体操などの軽い運動	7
④スポーツ	2
⑤自然や生きものなどの観察	8
⑥休憩	4
⑦交流やイベントへの参加	0
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



【考察】

香里ヶ丘中央公園に関する問6～問7のアンケート結果から、この公園の利用者層は主に個人利用者と散歩や体操を目的とした利用が多いことが分かりました。利用者の大多数が徒歩でアクセスしており、移動時間も比較的短いことから、地域内での利用が中心であるといえます。

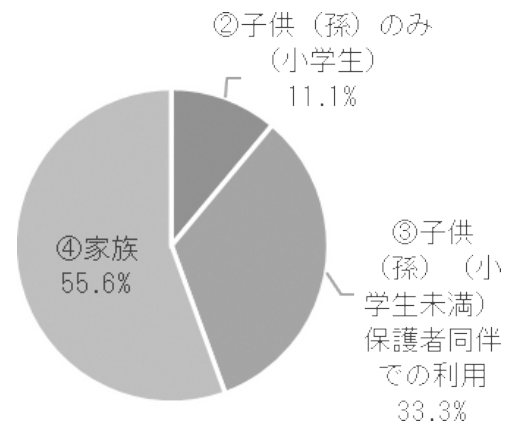
利用頻度は月に1日程度の利用が最も多く、これは公園が日常的な散歩や軽い運動の場として利用されていることを示しています。自然観察や散歩が主な活動であり、地域交流やボランティア活動にはあまり関心が寄せられていないことがわかります。

この結果から、市としては散歩や体操が快適に行えるよう、公園内のベンチ、公共設備の充実が求められます。

●よく訪れる公園で、「阪今池公園」と回答された方について

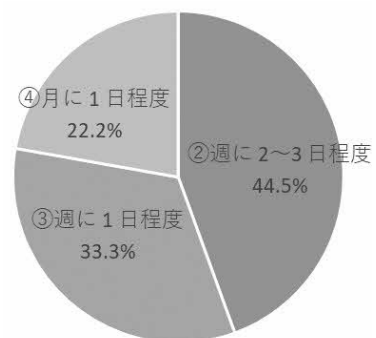
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	0	0.0
②子供（孫）のみ（小学生）	1	11.1
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	3	33.3
④家族	5	55.6
合計	9	



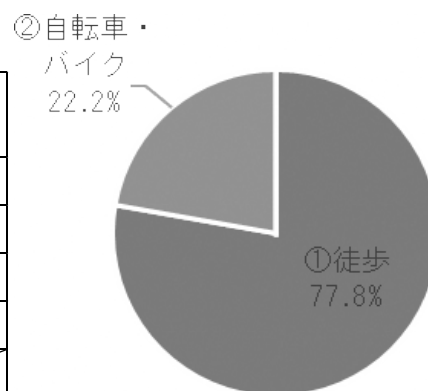
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	0	0.0
②週に 2～3 日程度	4	44.5
③週に 1 日程度	3	33.3
④月に 1 日程度	2	22.2
合計	9	



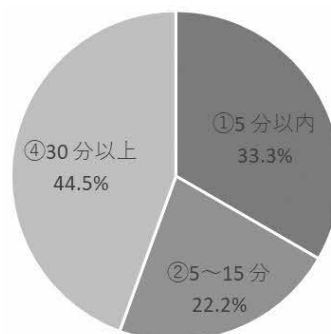
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	7	77.8
②自転車・バイク	2	22.2
③自家用車	0	0.0
④バス	0	0.0
合計	9	



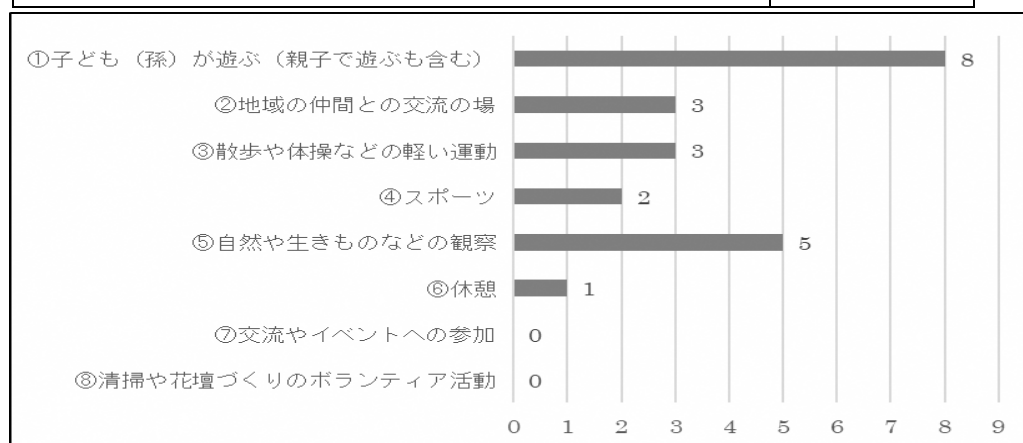
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	3	33.3
②5～15 分	2	22.2
③15～30 分	0	0.0
④30 分以上	4	44.5
合計	9	



問7. よく訪れる公園（阪今池公園）では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	8
②地域の仲間との交流の場	3
③散歩や体操などの軽い運動	3
④スポーツ	2
⑤自然や生きものなどの観察	5
⑥休憩	1
⑦交流やイベントへの参加	0
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



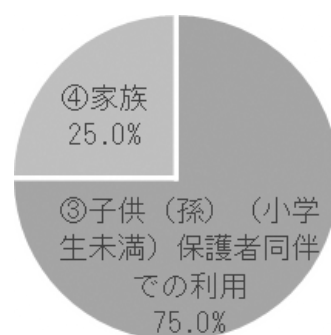
【考察】

阪今池公園に関する問6～問7のアンケート結果から、この公園は主に家族連れの利用が多く、特に小さな子供連れの家族が多いことが分かりました。利用者の多くが徒歩でアクセスしており、移動時間も比較的長めのものが多いため、地域内の利用者が中心であると考えられます。

利用頻度は週に2～3日程度が最も多く、これは公園が日常的な活動や遊び場として利用されていることを示しています。公園での活動内容としては、子供が遊ぶことが中心であり、自然観察や軽い運動も行われていますが、交流イベントやボランティア活動にはあまり利用されていないことが分かります。このことから、市としては、家族連れや子供が安全に遊べる設備の充実が求められます。

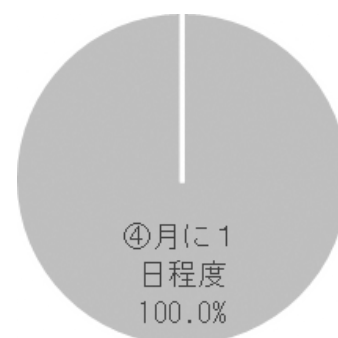
●よく訪れる公園で、「深北緑地」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	0	0.0
②子供（孫）のみ（小学生）	0	0.0
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	6	75.0
④家族	2	25.0
合計	8	



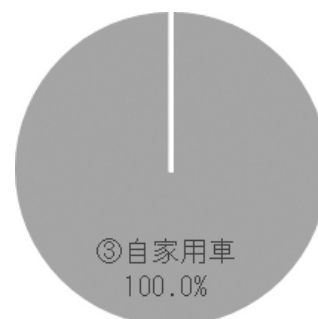
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	0	0.0
②週に 2～3 日程度	0	0.0
③週に 1 日程度	0	0.0
④月に 1 日程度	8	100.0
合計	8	



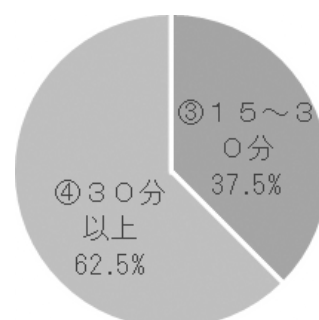
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	0	0.0
②自転車・バイク	0	0.0
③自家用車	8	100.0
④バス	0	0.0
合計	8	



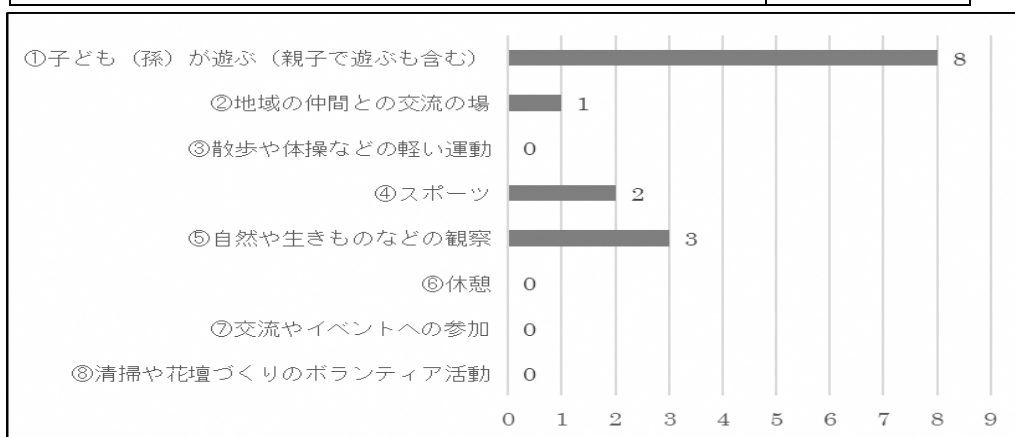
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	0	0.0
②5～15 分	0	0.0
③15～30 分	3	37.5
④30 分以上	5	62.5
合計	8	



問7. よく訪れる公園（深北緑地）では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	8
②地域の仲間との交流の場	1
③散歩や体操などの軽い運動	0
④スポーツ	2
⑤自然や生きものなどの観察	3
⑥休憩	0
⑦交流やイベントへの参加	0
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



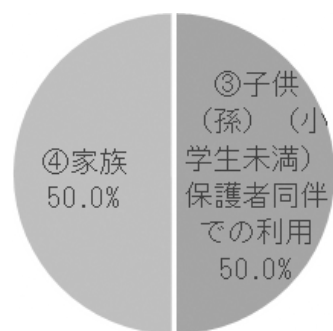
【考察】

問6～問7のアンケート結果から、この公園は主に小さな子供を連れた保護者が利用していることが分かりました。利用頻度は月に一日程度であり、アクセス手段としては主に自家用車を使用していることが見られます。また、公園までの移動時間は30分以上かかることが多く、地域外からの利用者が多いことがわかります。

公園での活動内容は、子供が遊ぶことが主であり、自然観察やスポーツも一部行われているものの、散歩や体操、交流イベントへの参加などはほとんど見られません。休憩やボランティア活動に関する利用もないため、利用者は主に遊びや自然観察を目的として訪れていると考えられます。

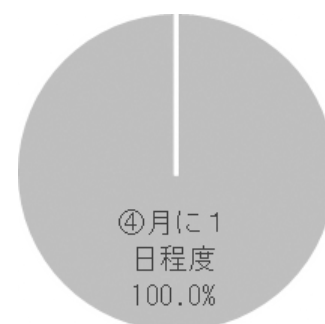
●よく訪れる公園で、「東部公園」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	0	0.0
②子供（孫）のみ（小学生）	0	0.0
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	4	50.0
④家族	4	50.0
合計	8	



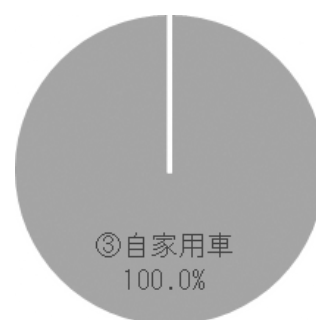
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	0	0.0
②週に 2～3 日程度	0	0.0
③週に 1 日程度	0	0.0
④月に 1 日程度	8	100.0
合計	8	



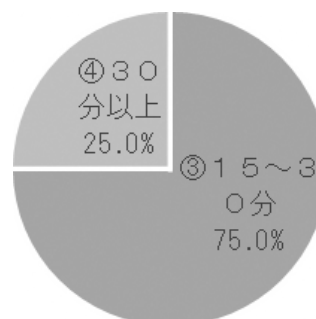
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	0	0.0
②自転車・バイク	0	0.0
③自家用車	8	100.0
④バス	0	0.0
合計	8	



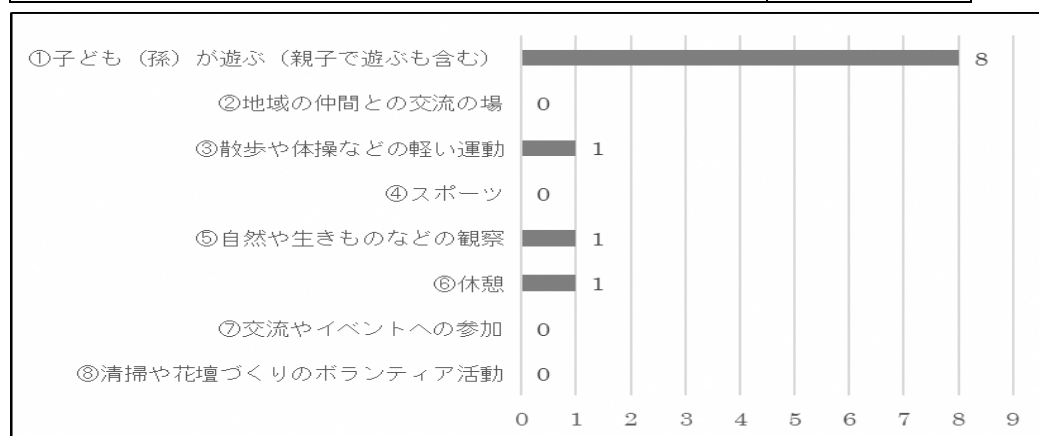
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	0	0.0
②5～15 分	0	0.0
③15～30 分	6	75.0
④30 分以上	2	25.0
合計	8	



問7. よく訪れる公園（東部公園）では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	8
②地域の仲間との交流の場	0
③散歩や体操などの軽い運動	1
④スポーツ	0
⑤自然や生きものなどの観察	1
⑥休憩	1
⑦交流やイベントへの参加	0
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



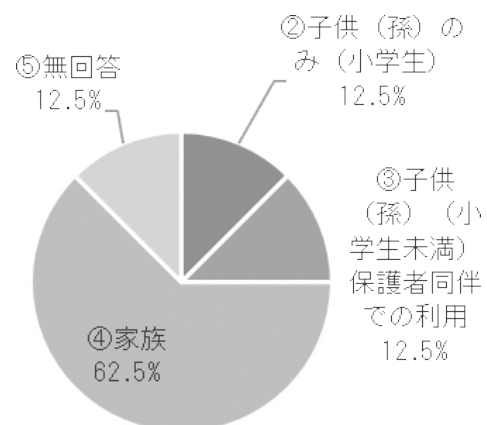
【考察】

東部公園に関する問6～問7のアンケート結果から、この公園は主に小さな子供を連れた家族が月に一日程度訪れる場所であることが分かりました。全ての利用者が自家用車を使用しており、移動時間は15分から30分の範囲が多いことから、地域外からの利用者が多いことが推測されます。

公園での活動は、主に子供が遊ぶことが中心であり、自然観察や軽い運動、休憩なども行われていますが、交流の場やスポーツ、ボランティア活動の利用はほとんど見られません。このことから、東部公園はファミリー向けの遊び場として利用されていることがわかります。これらの結果を踏まえ、市としては公園の利用者層に応じた遊具の充実や、長時間の滞在を可能にするための休憩スペースの改善が考えられます。

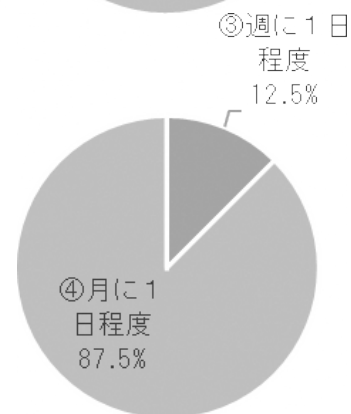
●よく訪れる公園で、「安満遺跡公園」と回答された方について
利用者

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①本人のみ	0	0.0
②子供（孫）のみ（小学生）	1	12.5
③子供（孫）（小学生未満） 保護者同伴での利用	1	12.5
④家族	5	62.5
⑤無回答	1	12.5
合計	8	



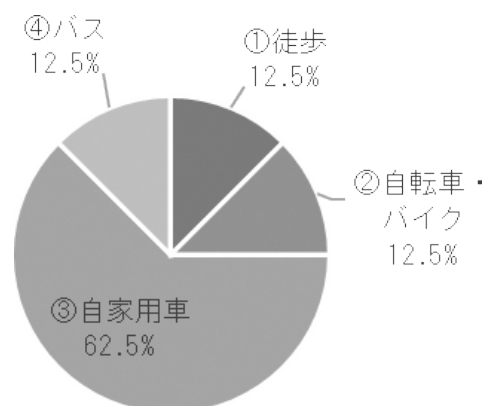
利用頻度

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①毎日	0	0.0
②週に 2～3 日程度	0	0.0
③週に 1 日程度	1	12.5
④月に 1 日程度	7	87.5
合計	8	



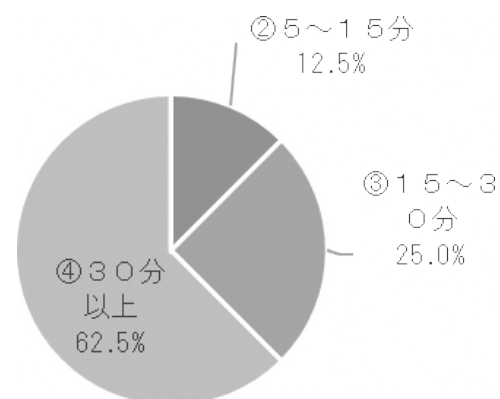
交通手段

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①徒歩	1	12.5
②自転車・バイク	1	12.5
③自家用車	5	62.5
④バス	1	12.5
合計	8	



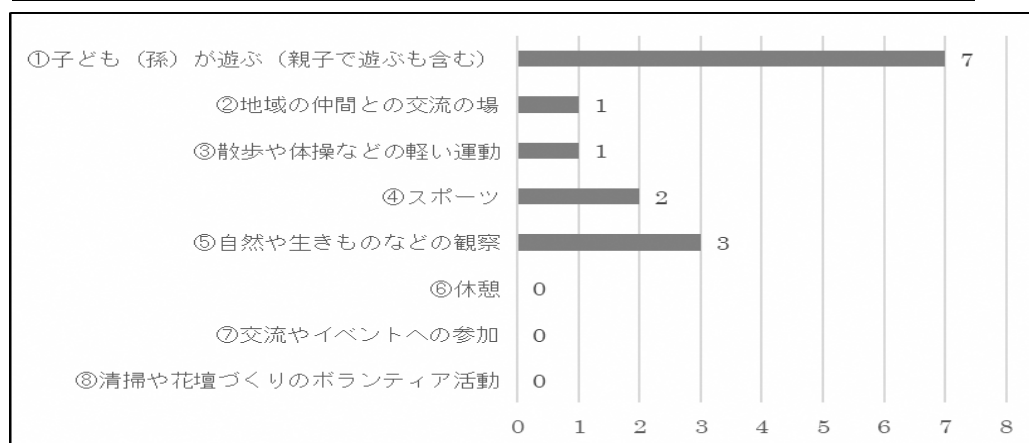
公園までの移動所要時間

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①5 分以内	0	0.0
②5～15 分	1	12.5
③15～30 分	2	25.0
④30 分以上	5	62.5
合計	8	



問7. よく訪れる公園（安満遺跡公園）では、どんなことをして過ごされますか。あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）	7
②地域の仲間との交流の場	1
③散歩や体操などの軽い運動	1
④スポーツ	2
⑤自然や生きものなどの観察	3
⑥休憩	0
⑦交流やイベントへの参加	0
⑧清掃や花壇づくりのボランティア活動	0



【考察】

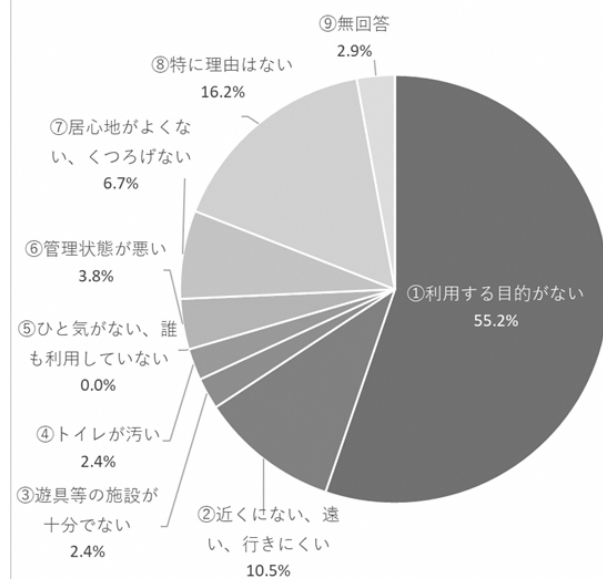
安満遺跡公園に関する問6～問7のアンケート結果から、主に家族連れが月に一日程度訪れる公園であることが分かりました。利用者の多くは自家用車を使用し、移動時間が30分以上かかるため、周辺地域からの訪問者が多いことが推測されます。

利用者の活動内容を見ると、子供が遊ぶことが主な目的であり、自然観察やスポーツも行われていますが、交流やイベント参加はほとんど見られません。このことから、安満遺跡公園は主にファミリー向けの遊び場として利用されていることが分かります。

【問 4 で②を選択された方にお伺いします。】

問 8. 公園を利用しない理由について、あてはまる番号を 1 つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①利用する目的がない	116	55.2
②近くはない、遠い、行きにくい	22	10.5
③遊具等の施設が十分でない	5	2.4
④トイレが汚い	5	2.4
⑤ひと気がない、誰も利用していない	0	0.0
⑥管理状態が悪い	8	3.8
⑦居心地がよくない、くつろげない	14	6.7
⑧特に理由はない	34	16.1
⑨無回答	6	2.9
合計	210	



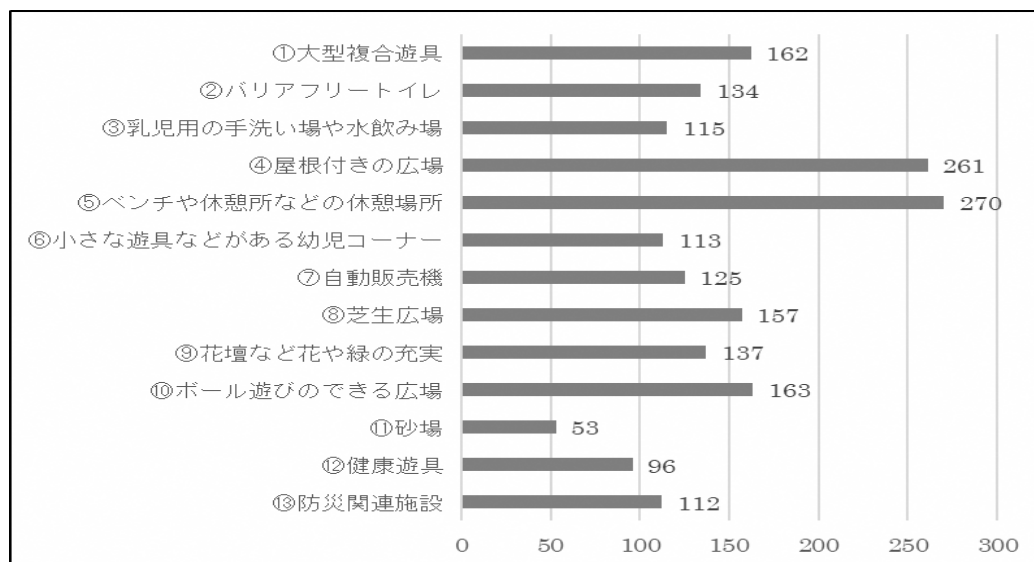
【考察】

公園を利用しない理由の中で最も多いのは「利用する目的がない」という回答であり、次に「特に理由はない」が続きます。これは、多くの人が公園に対して具体的な利用目的を持っていないことを示しています。一方で、施設の充実度やトイレの清掃状態、管理状態などの理由を選んでいる人は比較的少ないことがわかります。

これにより、公園利用の促進には、利用目的や楽しみ方の提案が有効であると考えられます。

問 9. 公園にあったらいいと思う施設は何ですか。あてはまる番号を選んでください。(複数選択可)

選択項目	回答数 (件)
①大型複合遊具	162
②バリアフリートイレ	134
③乳児用の手洗い場や水飲み場	115
④屋根付きの広場	261
⑤ベンチや休憩所などの休憩場所	270
⑥小さな遊具などがある幼児コーナー	113
⑦自動販売機	125
⑧芝生広場	157
⑨花壇など花や緑の充実	137
⑩ボール遊びのできる広場	163
⑪砂場	53
⑫健康遊具	96
⑬防災関連施設	112



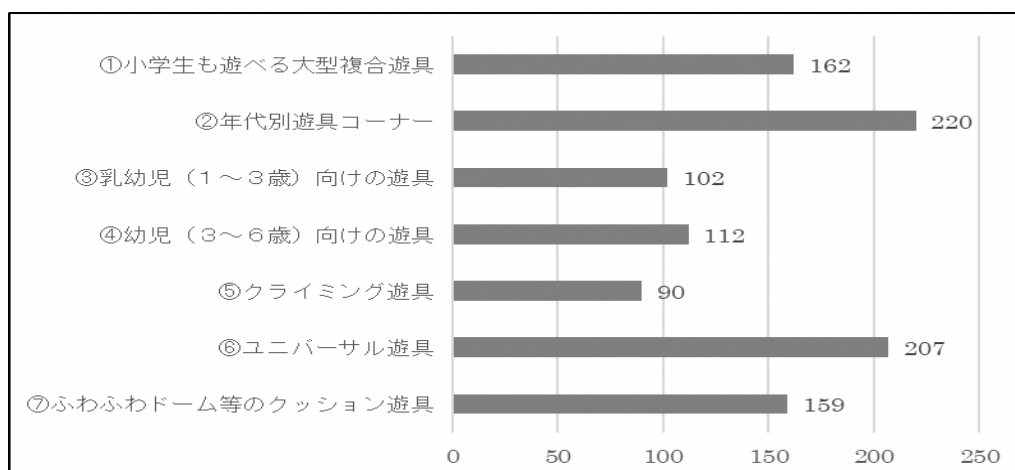
【考察】

公園に設置を望む施設として最も多いのは「ベンチや休憩所」や「屋根付きの広場」であり、多くの人が快適に過ごせる休憩スペースの充実を求めていることがわかります。これに続くのが「大型複合遊具」や「ボール遊びのできる広場」など、アクティビティの充実です。一方、「砂場」や「健康遊具」などを回答している人は比較的少ないことがわかります。

このことから、公園の改修では、まずは利用者が多く希望する休憩スペースや広場の整備を優先し、次にアクティビティの多様化を図ることが効果的と考えられます。

問 10. 公園であそびたい（あそばせたい）遊具について、あてはまる番号を選んでください。（複数選択可）

選択項目	回答数（件）
①小学生も遊べる大型複合遊具	162
②年代別遊具コーナー	220
③乳幼児（1～3 歳）向けの遊具	102
④幼児（3～6 歳）向けの遊具	112
⑤クライミング遊具	90
⑥ユニバーサル遊具	207
⑦ふわふわドーム等のクッション遊具	159



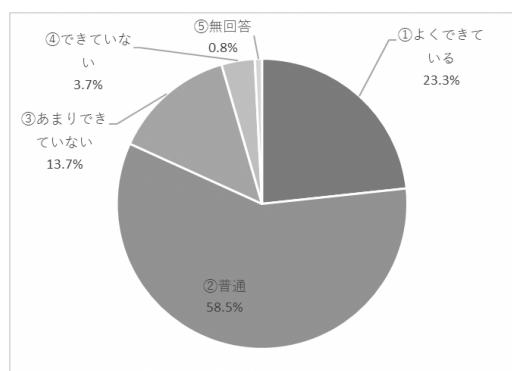
【考察】

公園で遊びたい遊具として、「年代別遊具コーナー」や「ユニバーサル遊具」の需要が高いことが分かります。これは、異なる年齢層や能力を持つ子供たちに対応できる遊具が求められていることを示しています。また、「小学生も遊べる大型複合遊具」や「ふわふわドーム」も人気がありますが、ユニバーサル遊具に対する関心が高い点は、遊具の導入を検討する上で重要です。

これにより、公園改修においては、年齢や能力などの違いにかかわらず、どんな子供でも遊べる遊具の導入を検討し、利用対象を制限しすぎない設計が求められると考えられます。

問 11. 公園の樹木の剪定や草刈りの手入れが行き届いていると感じますか。あてはまる番号を選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①よくできている	107	23.3
②普通	269	58.5
③あまりできていない	63	13.7
④できていない	17	3.7
⑤無回答	4	0.8
合計	460	



【問 11 で③④を選択された方にお伺いします。】

問12. 「あまりできていない」または「できていない」と感じるのは、こういったところですか。具体的なエピソード等をお教えてください。（自由記述）

<主なご意見>

- ・多くの公園で雑草が伸び放題で、樹木の剪定が追いついていない。特に夏場は草が大人の腰や膝まで伸びており、歩行や遊びが困難になっている。
- ・公園全体が草だらけで、手入れが行き届いていないため、見た目が悪く、利用する気にならない。
- ・草や木が生い茂っているため、ハチなどの危険生物が発生しやすく、特に子供が遊ぶのに危険と感じる。
- ・草が茂ることで虫が増え、泥が溜まりやすくなっている。これにより、ベビーカーの通行や子供の遊びに支障が出ている。
- ・草が生い茂りすぎているため、利用されていない公園が多く、人が入りづらい状況が続いている。

【考察】

問 11～問12の公園の樹木の剪定や草刈りについて、多くの利用者が「普通」と回答している一方で、「あまりできていない」または「できていない」と感じている利用者も一定数存在することが分かりました。特に、雑草が伸び放題であることや樹木の剪定が不十分であるといった問題が多く指摘されています。

これらのご意見を踏まえ、公園の手入れの頻度や方法についての見直しが必要であると考えます。

問13. リニューアルして欲しい公園とその理由をお教えてください。（自由記述）

例 ○○公園：～だから。

<主なご意見>

- ・山田池公園：大型の複合遊具が少なく、移動が不便だから。
- ・ニッペパーク岡東中央：遊具が少なく、自転車が入りにくいから。
- ・鏡伝池緑地（市民の森）：川がヘドロで汚れているから。
- ・車塚公園：日陰が少なく、歩行者道の整備が必要だから。
- ・王仁公園：トイレが綺麗でなく、日陰が少ないから。
- ・樟葉中央公園：ボール遊びができないから。トイレが汚く、遊具が少ないから。
- ・香里ヶ丘中央公園：赤ちゃん向けの遊具が不足しているから。
- ・東部公園：遊具が少なすぎるから。
- ・桜公園：日陰が少ないから。
- ・東公園：公園の周りの違法駐車が多く、事故にもなりかねないから。
- ・淀川河川公園：大型遊具やバスケコートが不足しているから。
- ・楠葉台場跡史跡公園：子供が遊べる遊具がないから。
- ・香里ヶ丘南公園：崖での遊びが危険だから。
- ・北山公園：水が汚くなっているから。
- ・東中振西公園：滑り台が急傾斜で危険だから。
- ・翠香園ふれあい公園：日陰が少なく、屋根付き施設が欲しいから。
- ・宇山東公園：砂場が猫の糞で使えないから。
- ・南中振公園：遊具が少ないから。
- ・須山中央公園：滑り台が安全でないから。
- ・二宮公園：トイレが汚く、全体的に寂しい印象があるから。
- ・星ヶ丘公園：暗くて閉鎖的だから。
- ・笠谷公園：殺風景で遊具が少ないから。
- ・長尾台ふたかけ公園：トイレがなく、ボール遊びが禁止されているから。

【考察】

リニューアルして欲しい公園について、回答結果から多くの公園で遊具の不足やトイレの清潔さに関する不満があることが分かりました。また、日陰の少なさや危険箇所が存在など、安全性や快適性に対する課題も浮き彫りとなりました。

これらの意見を踏まえ、今後は公園の利用者がより快適に過ごせるよう、遊具の充実化、トイレの清掃強化、日陰の確保、安全対策などについて検討を進める必要があると考えます。

問14. その他、公園についてのご意見・ご要望があれば、ご記入ください。（自由記述）
＜主なご意見＞

- ・ボール遊びができる専用エリアを設け、高いフェンスやネットで囲むことで、近隣への配慮と安全性も確保して欲しい。
- ・外から丸見えになるトイレには目隠しを設置し、清潔で使いやすいトイレを整備して欲しい。
- ・日除けや屋根付きの休憩所を増設し、夏の暑さ対策を施して欲しい。
- ・古くなった遊具の点検と交換を行い、安全で楽しい遊具を提供して欲しい。
- ・公園内での自転車やバイクの通行を制限し、特に子供が遊ぶエリアでは対策を施して欲しい。
- ・公園の照明を増設し、夜間の安全対策を考えて欲しい。
- ・公園内にゴミ箱を設置し、ゴミの放置を防いで欲しい。
- ・公園へのアクセスを改善し、バスの本数を増やすなどの対策を検討して欲しい。
- ・子供向けの遊具だけでなく、高齢者も楽しめる花壇や休憩スペースを整備し、全世代に対応して欲しい。

【まとめ】

公園についてのご意見・ご要望として様々な内容が上がっていることが分かり、今後、これらのご意見を反映させるための具体的な取り組みを進めていく必要があると考えます。特に、公園を利用する目的としてはいずれの公園も「子供（孫）が遊ぶ（親子で遊ぶも含む）」が多い傾向にあり、こどもの遊び場の確保や、親同士・地域住民の交流機会の創出に資する都市公園の整備が今後必要であると考えます。

また、遊具の点検と交換、ボール遊び専用エリアの設置、トイレの改善、日除けや屋根付きの休憩所の増設などの課題に優先的に取り組む必要があります。加えて、アクセスの改善や全世代対応の施設の整備についても検討を進める必要があると考えます。

2. 市民意識に関するアンケート

枚方市では、「めざすまちの姿」として「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方」を掲げており、市民の皆さまをはじめ、あらゆる主体と連携・協力しながらまちづくりに取り組んでいます。

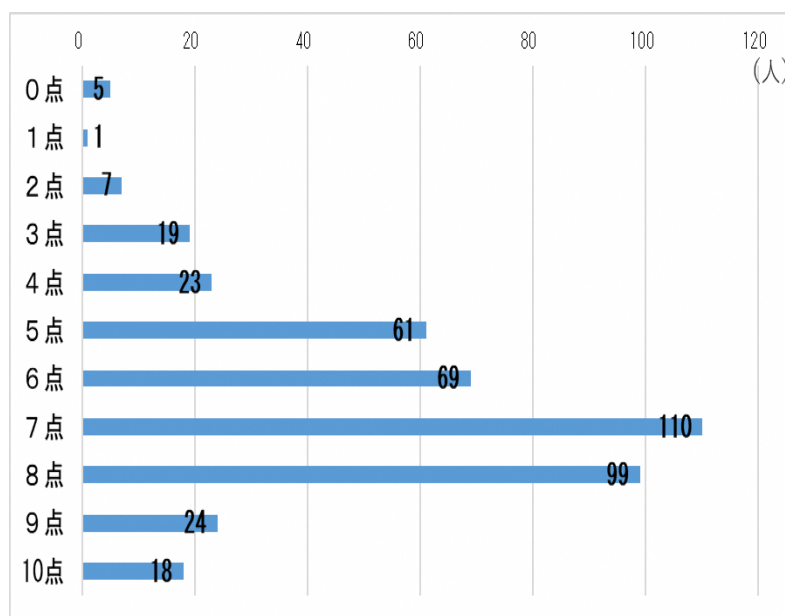
本アンケートは、今後の市政運営への活用を目的に、市政に対する満足度などを調査したものです。

《あなたの生活における満足度について、おたずねします。》

問 1. 2. の設問は、国の「満足度・生活の質に関する調査（内閣府）」に準拠しています。「全く満足していない」を 0 点、「非常に満足している」を 10 点とすると、何点くらいになると思いますか。

問 1. あなたは全体として現在の生活にどの程度満足していますか。あてはまる点数を選んでください。

選択項目	回答数	割合
0 点	5	1.2%
1 点	1	0.2%
2 点	7	1.6%
3 点	19	4.4%
4 点	23	5.3%
5 点	61	14.0%
6 点	69	15.8%
7 点	110	25.2%
8 点	99	22.7%
9 点	24	5.5%
10 点	18	4.1%
合計	436	
平均点	6.52	



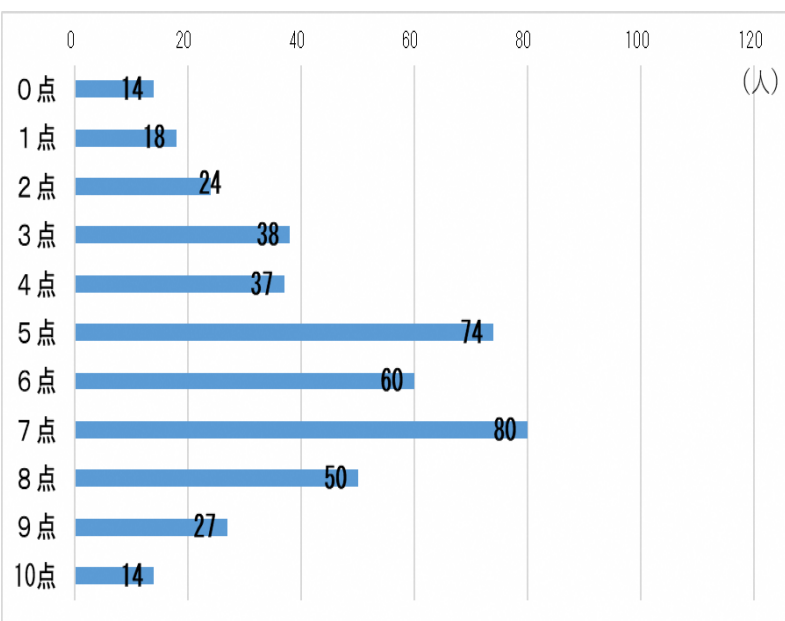
【考察】

全体としての生活満足度は、平均点が 6.52 となりました。「7 点」が 25.2%で最も高く、次いで「8 点」が 22.7%と続いています。

問 2. 生活に関する様々な分野における満足の度合いについて、あてはまる点数を選んでください。

問 2-1. 家計と資産

選択項目	回答数	割合
0 点	14	3.2%
1 点	18	4.1%
2 点	24	5.5%
3 点	38	8.7%
4 点	37	8.5%
5 点	74	17.0%
6 点	60	13.8%
7 点	80	18.3%
8 点	50	11.5%
9 点	27	6.2%
10 点	14	3.2%
合計	436	
平均点	5.51	

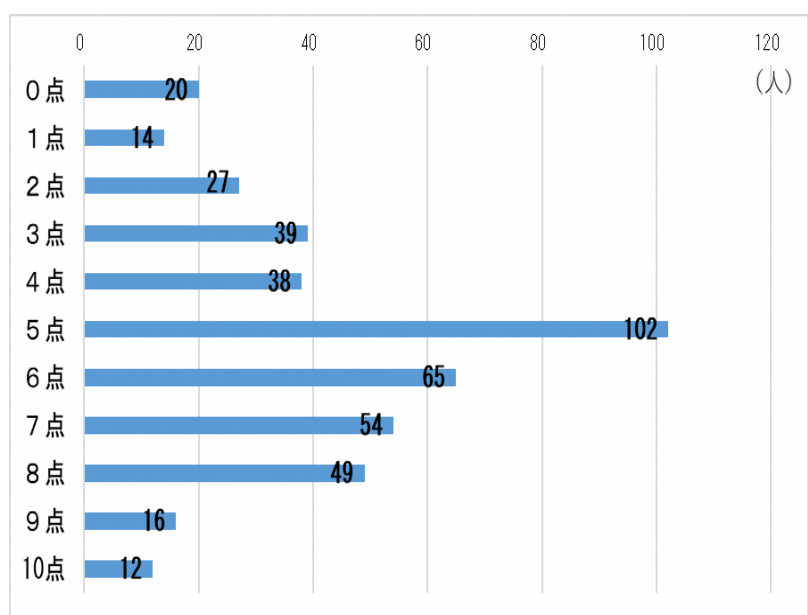


【考察】

家計と資産の満足度は、平均点が 5.51 となりました。「7 点」が 18.3%で最も高く、次いで「5 点」が 17.0%と続いています。

問 2-2. 雇用環境と賃金

選択項目	回答数	割合
0 点	20	4.6%
1 点	14	3.2%
2 点	27	6.2%
3 点	39	8.9%
4 点	38	8.7%
5 点	102	23.4%
6 点	65	14.9%
7 点	54	12.4%
8 点	49	11.2%
9 点	16	3.7%
10 点	12	2.8%
合計	436	
平均点	5.21	

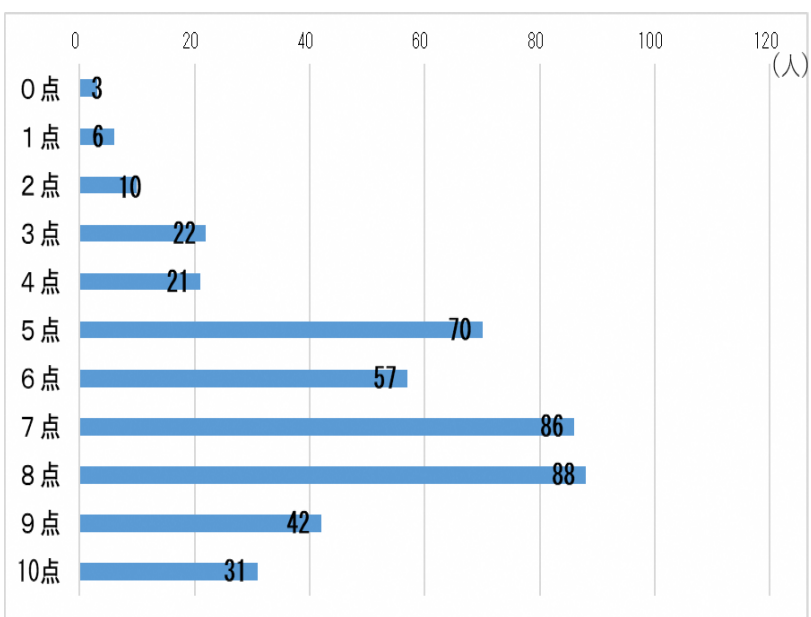


【考察】

雇用環境と賃金の満足度は、平均点が 5.21 となりました。「5 点」が 23.4%で最も高く、次いで「6 点」が 14.9%と続いています。

問 2-3. 住宅

選択項目	回答数	割合
0 点	3	0.7%
1 点	6	1.4%
2 点	10	2.3%
3 点	22	5.0%
4 点	21	4.8%
5 点	70	16.1%
6 点	57	13.1%
7 点	86	19.7%
8 点	88	20.2%
9 点	42	9.6%
10 点	31	7.1%
合計	436	
平均点	6.56	

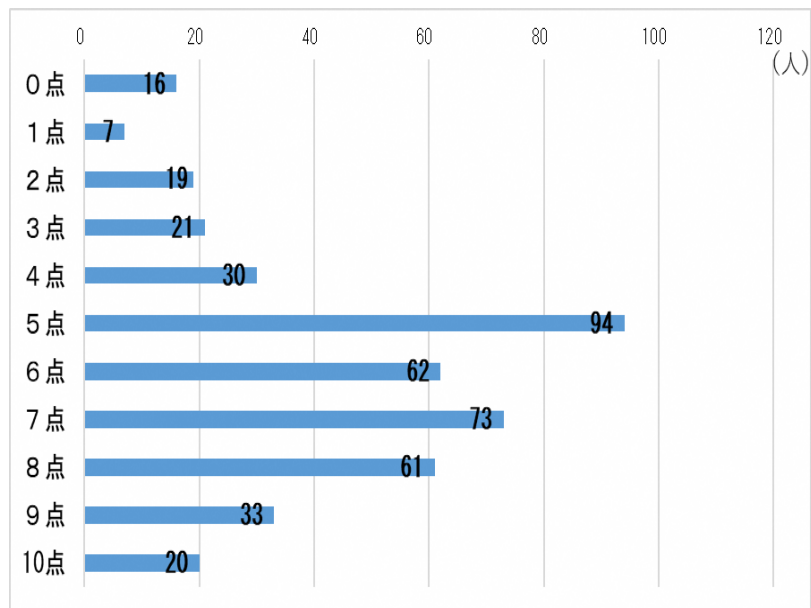


【考察】

住宅の満足度は、平均点が 6.56 となりました。「8 点」が 20.2%で最も高く、次いで「7 点」が 19.7%と続いています。

問 2-4. 仕事と生活（ワーク・ライフ・バランス）

選択項目	回答数	割合
0 点	16	3.7%
1 点	7	1.6%
2 点	19	4.3%
3 点	21	4.8%
4 点	30	6.9%
5 点	94	21.6%
6 点	62	14.2%
7 点	73	16.7%
8 点	61	14.0%
9 点	33	7.6%
10 点	20	4.6%
合計	436	
平均点	5.89	

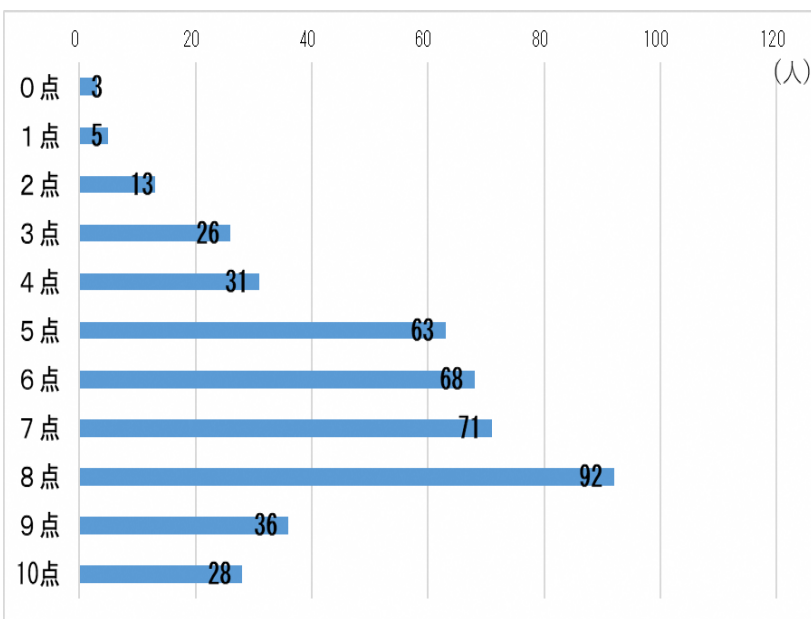


【考察】

仕事と生活（ワーク・ライフ・バランス）の満足度は、平均点が 5.89 となりました。「5 点」が 21.6%で最も高く、次いで「7 点」が 16.7%と続いています。

問 2-5. 健康状態

選択項目	回答数	割合
0 点	3	0.7%
1 点	5	1.1%
2 点	13	3.0%
3 点	26	6.0%
4 点	31	7.1%
5 点	63	14.4%
6 点	68	15.6%
7 点	71	16.3%
8 点	92	21.1%
9 点	36	8.3%
10 点	28	6.4%
合計	436	
平均点	6.41	

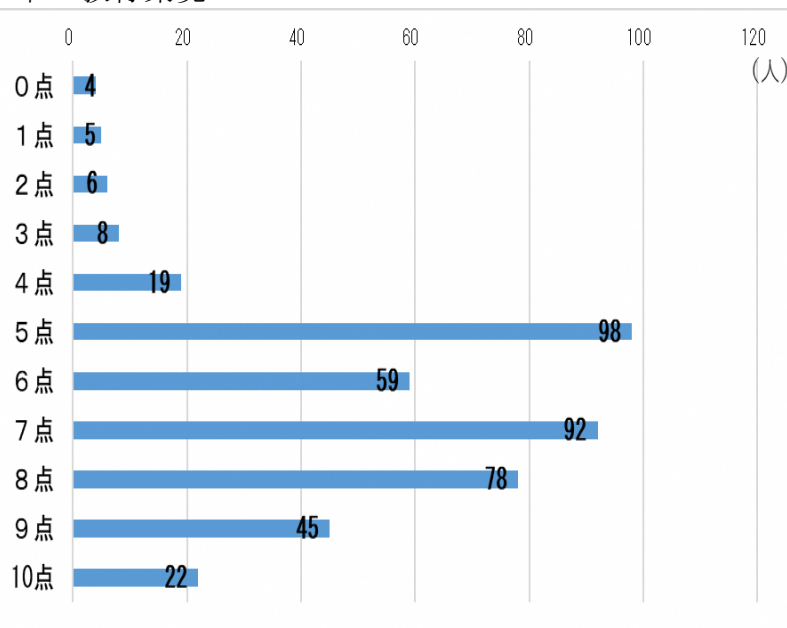


【考察】

健康状態の満足度は、平均点が 6.41 となりました。「8 点」が 21.1%で最も高く、次いで「7 点」が 16.3%と続いています。

問 2-6. あなたご自身の教育水準・教育環境

選択項目	回答数	割合
0 点	4	0.9%
1 点	5	1.1%
2 点	6	1.5%
3 点	8	1.8%
4 点	19	4.4%
5 点	98	22.5%
6 点	59	13.5%
7 点	92	21.1%
8 点	78	17.9%
9 点	45	10.3%
10 点	22	5.0%
合計	436	
平均点	6.55	

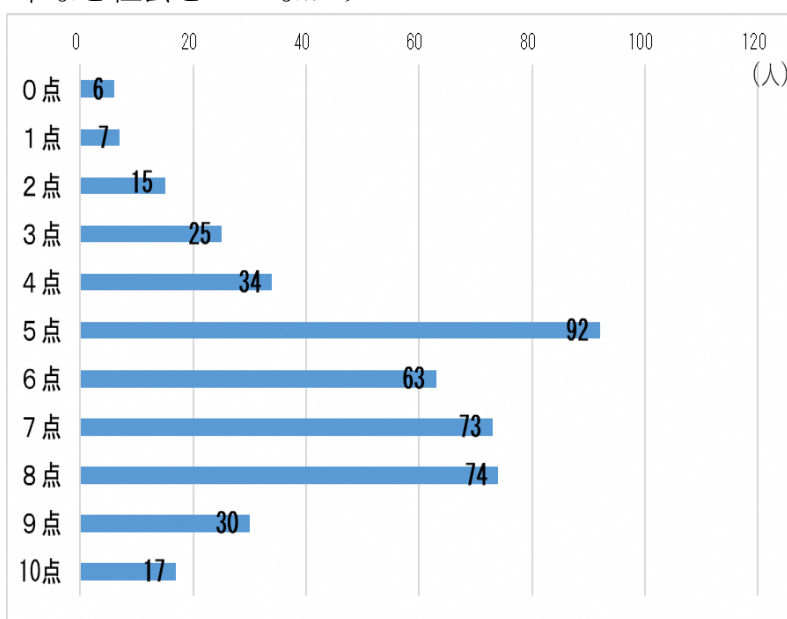


【考察】

あなたご自身の教育水準・教育環境の満足度は、平均点が 6.55 となりました。「5 点」が 22.5%で最も高く、次いで「7 点」が 21.1%と続いています。

問 2-7. 交友関係やコミュニティなど社会とのつながり

選択項目	回答数	割合
0 点	6	1.4%
1 点	7	1.6%
2 点	15	3.4%
3 点	25	5.7%
4 点	34	7.8%
5 点	92	21.1%
6 点	63	14.5%
7 点	73	16.7%
8 点	74	17.0%
9 点	30	6.9%
10 点	17	3.9%
合計	436	
平均点	6.03	

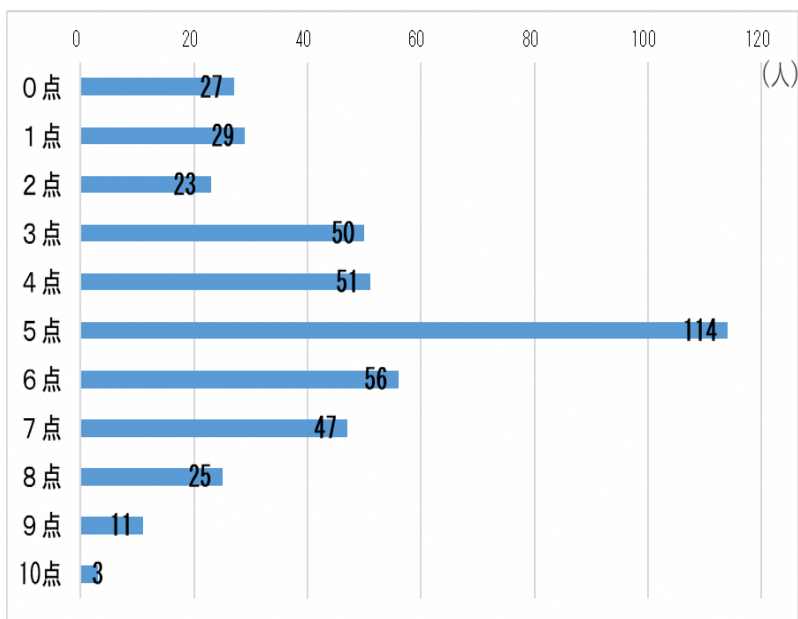


【考察】

交友関係やコミュニティなど社会とのつながりの満足度は、平均点が 6.03 となりました。「5 点」が 21.1%で最も高く、次いで「8 点」が 17.0%と続いています。

問 2-8. 政治・行政・裁判所への信頼性

選択項目	回答数	割合
0 点	27	6.2%
1 点	29	6.7%
2 点	23	5.3%
3 点	50	11.5%
4 点	51	11.7%
5 点	114	26.1%
6 点	56	12.8%
7 点	47	10.8%
8 点	25	5.7%
9 点	11	2.5%
10 点	3	0.7%
合計	436	
平均点	4.57	

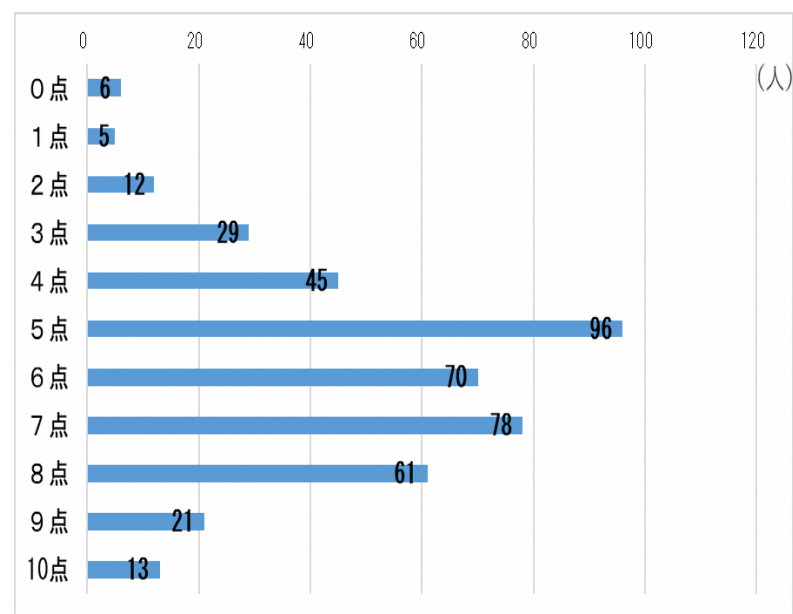


【考察】

政治・行政・裁判所への信頼性の満足度は、平均点が 4.57 となりました。「5 点」が 26.1% で最も高く、次いで「6 点」が 12.8%と続いています。

問 2-9. 生活を取り巻く空気や水などの自然環境

選択項目	回答数	割合
0 点	6	1.4%
1 点	5	1.1%
2 点	12	2.8%
3 点	29	6.6%
4 点	45	10.3%
5 点	96	22.0%
6 点	70	16.1%
7 点	78	17.9%
8 点	61	14.0%
9 点	21	4.8%
10 点	13	3.0%
合計	436	
平均点	5.85	

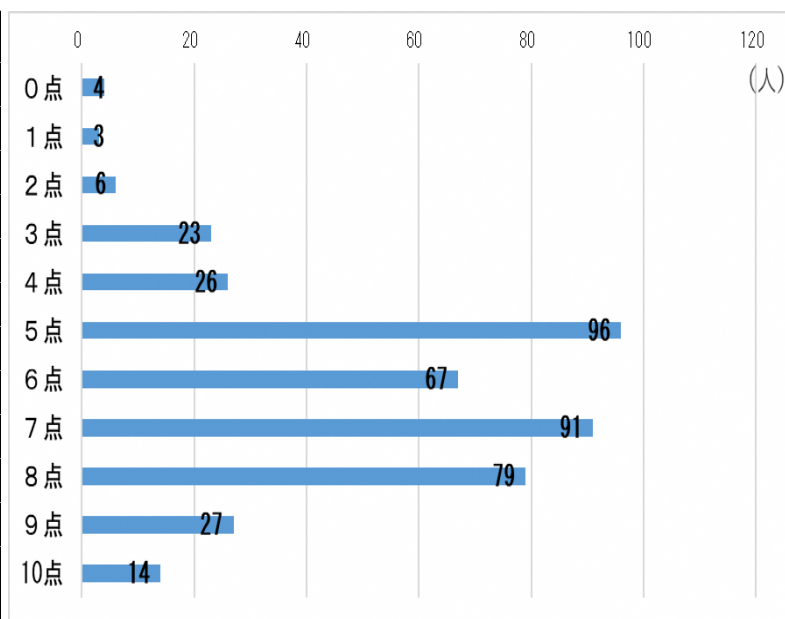


【考察】

生活を取り巻く空気や水などの自然環境の満足度は、平均点が 5.85 となりました。「5 点」が 22.0%で最も高く、次いで「7 点」が 17.9%と続いています。

問 2-10. 身の周りの安全

選択項目	回答数	割合
0 点	4	0.9%
1 点	3	0.7%
2 点	6	1.4%
3 点	23	5.3%
4 点	26	5.9%
5 点	96	22.0%
6 点	67	15.4%
7 点	91	20.9%
8 点	79	18.1%
9 点	27	6.2%
10 点	14	3.2%
合計	436	
平均点	6.24	

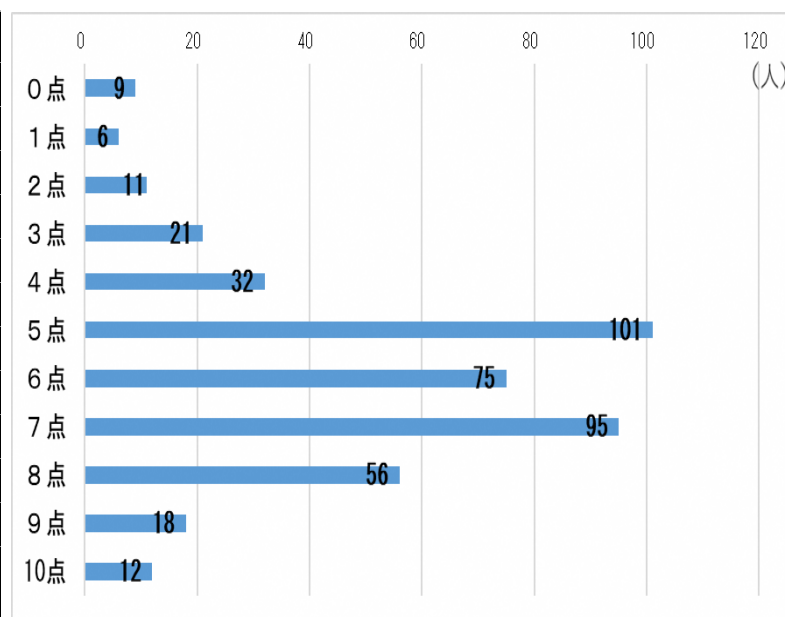


【考察】

身の周りの安全の満足度は、平均点が 6.24 となりました。「5 点」が 22.0%で最も高く、次いで「7 点」が 20.9%と続いています。

問 2-11. 子育てのしやすさ

選択項目	回答数	割合
0 点	9	2.1%
1 点	6	1.4%
2 点	11	2.5%
3 点	21	4.8%
4 点	32	7.3%
5 点	101	23.2%
6 点	75	17.2%
7 点	95	21.8%
8 点	56	12.8%
9 点	18	4.1%
10 点	12	2.8%
合計	436	
平均点	5.89	

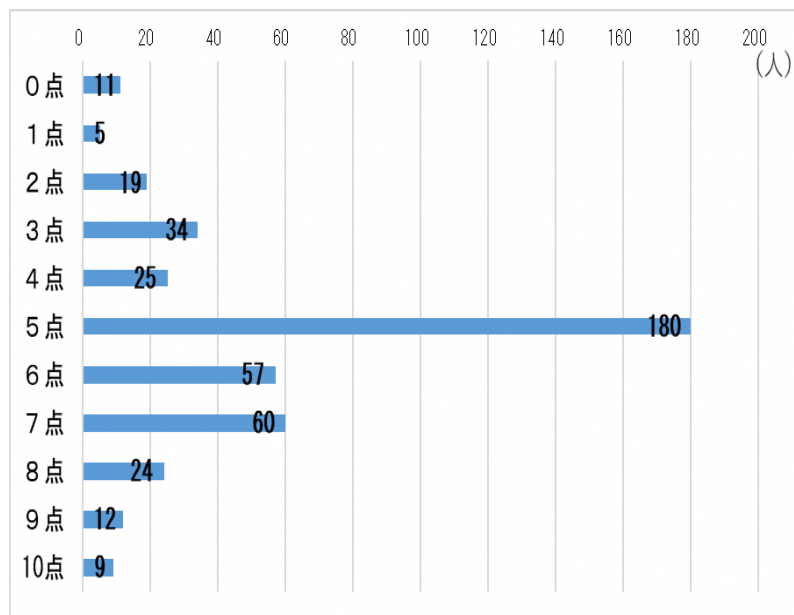


【考察】

子育てのしやすさの満足度は、平均点が 5.89 となりました。「5 点」が 23.2%で最も高く、次いで「7 点」が 21.8%と続いています。

問 2-12. 介護のしやすさ・されやすさ

選択項目	回答数	割合
0 点	11	2.5%
1 点	5	1.1%
2 点	19	4.4%
3 点	34	7.8%
4 点	25	5.7%
5 点	180	41.3%
6 点	57	13.1%
7 点	60	13.8%
8 点	24	5.5%
9 点	12	2.7%
10 点	9	2.1%
合計	436	
平均点	5.27	

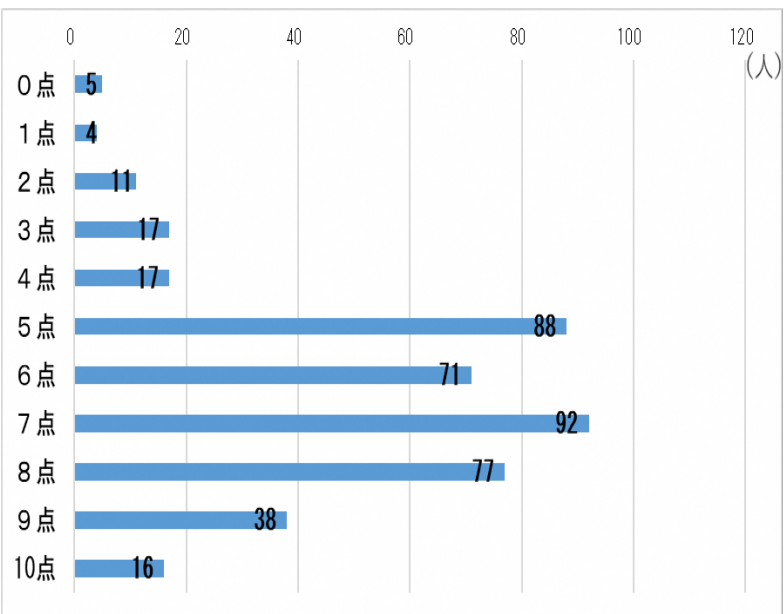


【考察】

介護のしやすさ・されやすさの満足度は、平均点が 5.27 となりました。「5 点」が 41.3% で最も高く、次いで「7 点」が 13.8%と続いています。

問 2-13. 生活の楽しさ・面白さ

選択項目	回答数	割合
0 点	5	1.1%
1 点	4	0.9%
2 点	11	2.5%
3 点	17	3.9%
4 点	17	3.9%
5 点	88	20.2%
6 点	71	16.3%
7 点	92	21.1%
8 点	77	17.7%
9 点	38	8.7%
10 点	16	3.7%
合計	436	
平均点	6.36	



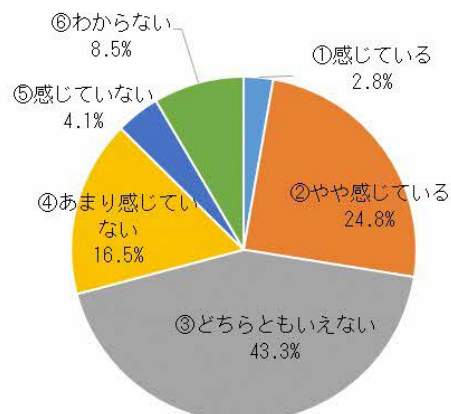
【考察】

生活の楽しさ・面白さの満足度は、平均点が 6.36 となりました。「7 点」が 21.1%で最も高く、次いで「5 点」が 20.2%と続いています。

《枚方市の取り組みに関して感じていることについて、あてはまる番号を選んでください。》

問 3. 防災体制が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	12	2.8%
②やや感じている	108	24.8%
③どちらともいえない	189	43.3%
④あまり感じていない	72	16.5%
⑤感じていない	18	4.1%
⑥わからない	37	8.5%
合計	436	



【問 3 考察】

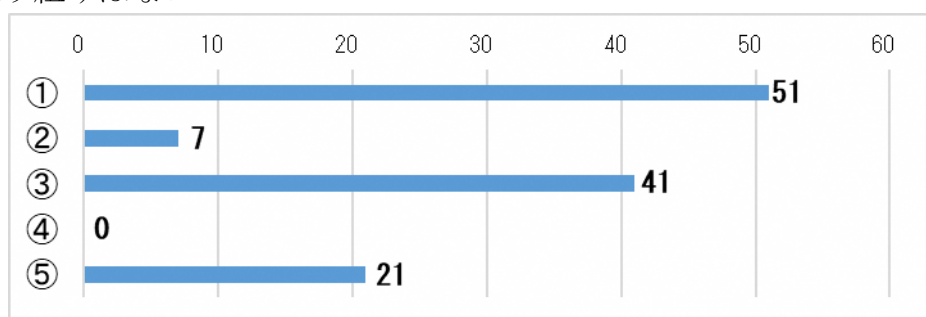
防災体制が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、27.6%となりました。「どちらともいえない」が 43.3%で最も高く、次いで「やや感じている」が 24.8%と続いています。

【問 3 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 3-1. 問 3 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 地区防災計画の策定支援（44 校区中 23 校区）、自主防災訓練の実施（44 校区中 35 校区）。
- ② 個人所有の木造住宅の耐震化支援（耐震改修事業補助等）。
- ③ 浸水被害の軽減のため、雨水管渠や水路、雨水貯留施設を整備。（楠葉雨水貯留管）
- ④ 枚方市の取り組み以外の自由記述
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	51
②	7
③	41
④	0
⑤	21
合計	120



【問 3 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

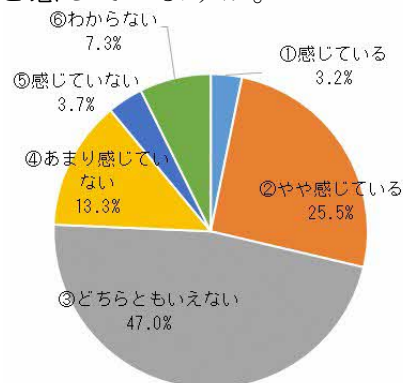
問 3-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・避難場所の設備や備蓄品に対して不安がある
- ・実際に大きな災害が起こらないと防災体制の重要性を感じることがない
- ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない

問 4. 防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	14	3.2%
②やや感じている	111	25.5%
③どちらともいえない	205	47.0%
④あまり感じていない	58	13.3%
⑤感じていない	16	3.7%
⑥わからない	32	7.3%
合計	436	



【問 4 考察】

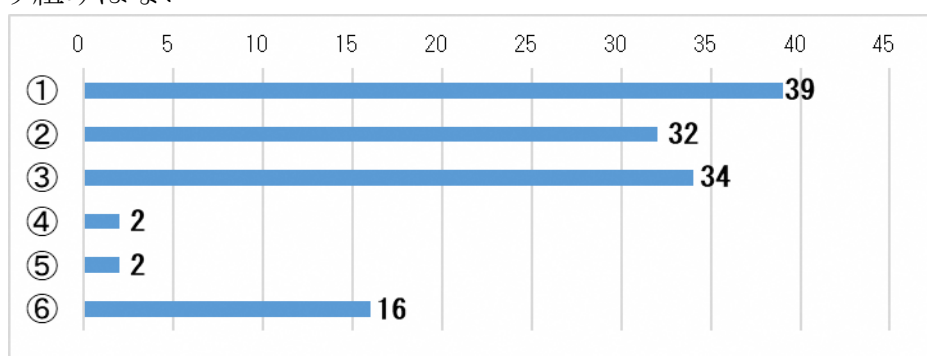
防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、28.7%となりました。「どちらともいえない」が 47.0%で最も高く、次いで「やや感じている」が 25.5%と続いています。

【問 4 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 4-1. 問 4 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 街頭犯罪の抑止を目的として、通学路を中心に、防犯カメラ 1,034 台を設置・運用。
- ② 防犯キャンペーンや青色防犯パトロール等を延べ約 270 回実施。枚方市公式 LINE 等を用いた防犯情報の発信。
- ③ 各自治会等の LED 防犯灯の設置・維持管理を支援。
- ④ 消費生活にかかわる市民の相談に対する助言・あっせん、消費者教育・啓発として消費生活セミナーの開催。
- ⑤ 枚方市の取り組み以外
- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	39
②	32
③	34
④	2
⑤	2
⑥	16
合計	125



【問 4 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

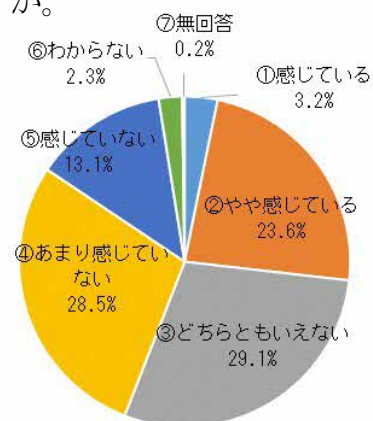
問 4-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・実際に事件などを見聞きしたり、危ない目に遭ったりしている
- ・防犯カメラの数が少ない・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない

問 5. 安全で快適な道路環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	14	3.2%
②やや感じている	103	23.6%
③どちらともいえない	127	29.1%
④あまり感じていない	124	28.5%
⑤感じていない	57	13.1%
⑥わからない	10	2.3%
⑦無回答	1	0.2%
合計	436	



【問 5 考察】

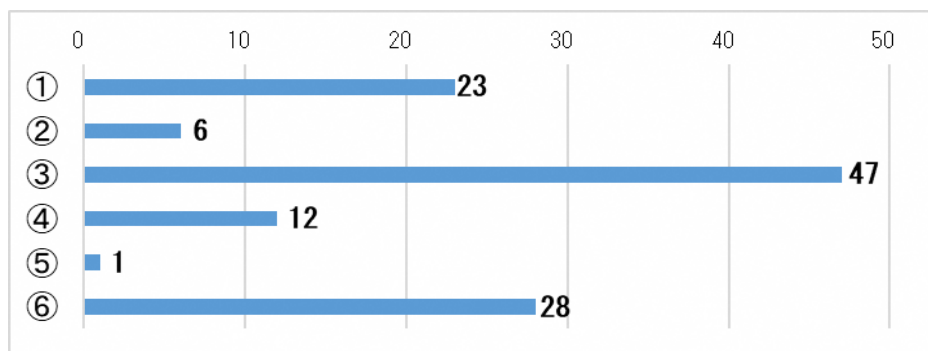
安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、26.8%となりました。「どちらともいえない」が29.1%で最も高く、次いで「あまり感じていない」が28.5%と続いています。

【問 5 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 5-1. 問 5 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 市内の渋滞緩和や安全な交通環境を構築するため、長尾杉線などの幹線道路を整備。
- ② 通学路の安全対策として、中振新香里線の歩道拡幅に伴う予備設計を実施。
- ③ 京阪本線の連続立体交差化に向けた取り組みとして、高架化工事に着手し、関連する工事、設計に取り組んでいる。
- ④ 新名神高速道路及びアクセス道路の早期完成。アクセス道路と接続する北山通線を整備。
- ⑤ 枚方市の取り組み以外
- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	23
②	6
③	47
④	12
⑤	1
⑥	28
合計	117



【問 5 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

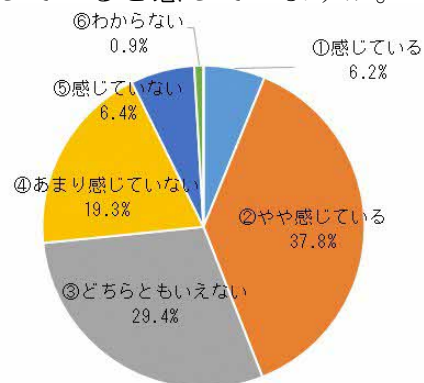
問 5-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・ 自転車専用レーンへの不満（狭い、そもそも整備されていないなど）
- ・ 道幅が狭いところが多い ・ 交通量、渋滞が多い ・ 交通マナーの悪さ
- ・ 歩道への不満（狭い、でこぼこなど）

問 6. 公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	27	6.2%
②やや感じている	165	37.8%
③どちらともいえない	128	29.4%
④あまり感じていない	84	19.3%
⑤感じていない	28	6.4%
⑥わからない	4	0.9%
合計	436	



【問 6 考察】

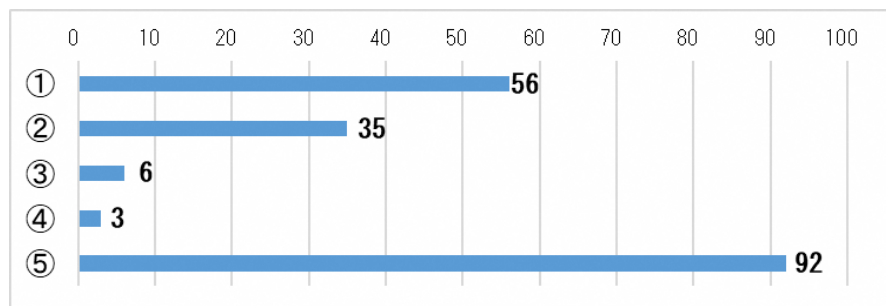
公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、44.0%となりました。「やや感じている」が 37.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 29.4%と続いています。

【問 6 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 6-1. 問 6 を選択した決め手となった施策はありますか。（主なもの 1 つ）

- ① バスや鉄道路線をわかりやすく表示した「ひらかた交通タウンマップ」の作成・配布、バスイベントの実施。コロナ禍やガソリン代高騰におけるバス・タクシーへの運行継続支援金補助を実施。
- ② 歩行者の安全や、バス・タクシーの快適で安全な走行を確保するための道路改良を実施。大阪府の森林環境税を活用してバス待ち環境を改善（猛暑対策）。
- ③ 空き家や空き地発生の未然防止や増加抑制。若者世代空き家活用補助制度による若者世代の転入・定住に向けた空き家の活用。
- ④ 枚方市の取り組み以外
 - 主な取り組みなど（自由記述）
 - ・電車、バスの路線が充実している
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	56
②	35
③	6
④	3
⑤	92
合計	192



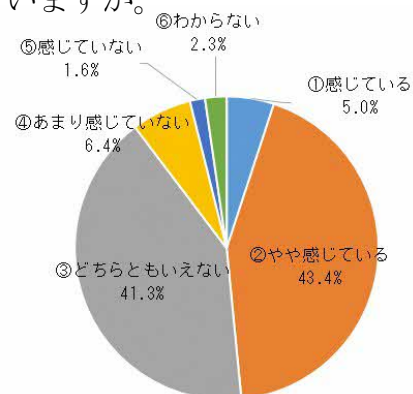
【問 6 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

問 6-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

- 主な理由（自由記述）
 - ・バスの便数が少ない（減った）
 - ・公共交通機関の担い手が少ない
 - ・路線間の接続が悪い

問 7. 心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	22	5.0%
②やや感じている	189	43.4%
③どちらともいえない	180	41.3%
④あまり感じていない	28	6.4%
⑤感じていない	7	1.6%
⑥わからない	10	2.3%
合計	436	



【問 7 考察】

心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、48.4%となりました。「やや感じている」が 43.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 41.3%と続いています。

【問 7 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 7-1. 問 7 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

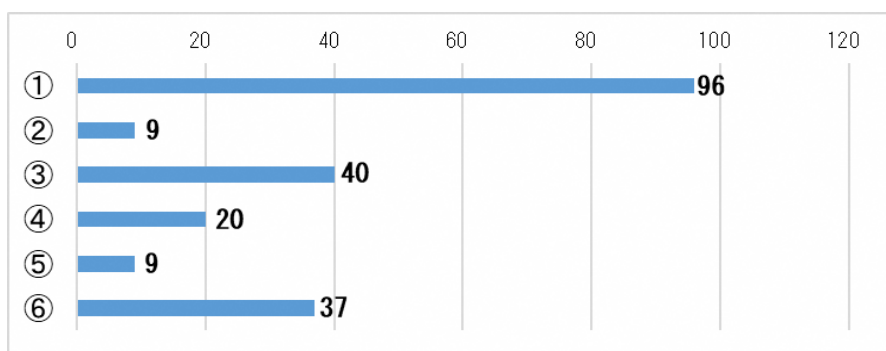
- ① がんの早期発見・治療につなげる各種がん検診の実施、一部対象者に無料クーポン券を配付。抗がん剤等の影響による脱毛や外見の変化したがん罹患者に対し、社会参加の不安や精神的なストレスの軽減を図れるよう、ウィッグ等の補整具の購入費用の一部を助成。
- ② 市内事業者へのさらなる健康経営の普及啓発、従業員の健康づくりの支援など、働く世代の生活習慣病の発症及び重症化予防のための取り組み
- ③ ひらかたポイントを活用した市民の健康維持・増進に向けた取り組み
- ④ 健康、福祉、介護、子育てなどの総合相談窓口を市役所別館 1 階に加え、北部支所（健康福祉相談センター北部リーフ）に設置。（令和 6 年 4 月より市役所別館に集約。）
- ⑤ 枚方市の取り組み以外

●主な取り組みなど（自由記述）

- ・自分自身での健康的な身体づくり

- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	96
②	9
③	40
④	20
⑤	9
⑥	37
合計	211



【問 7 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

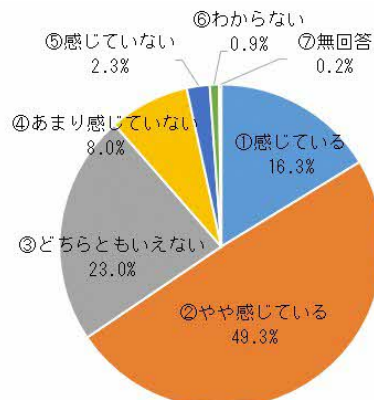
問 7-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください

●主な理由（自由記述）

- ・実際に診察を受ける際の病院の立地などの問題がある
- ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない

問 8. 安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	71	16.3%
②やや感じている	215	49.3%
③どちらともいえない	100	23.0%
④あまり感じていない	35	8.0%
⑤感じていない	10	2.3%
⑥わからない	4	0.9%
⑦無回答	1	0.2%
合計	436	



【問 8 考察】

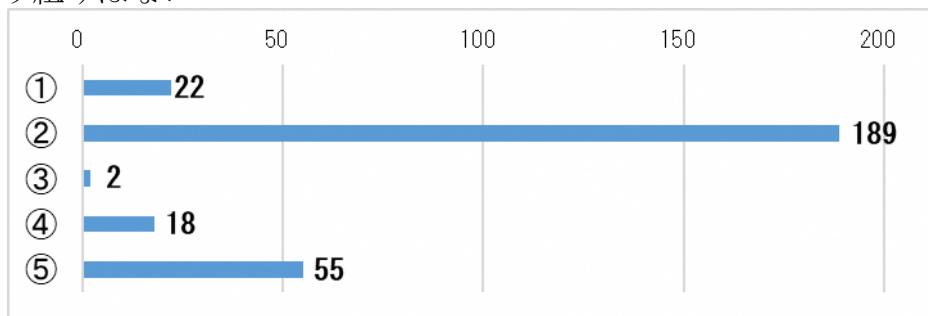
安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、65.6%となりました。「やや感じている」が49.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が23.0%と続いています。

【問 8 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 8-1. 問 8 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 市内公共施設や 24 時間営業のコンビニエンスストア 95 箇所に AED を設置、常時使用できる環境の整備。
- ② 初期救急医療機関の拠点として、医師会館において枚方休日急病診療所、北河内こども夜間救急センター、枚方休日歯科急病診療所を運営。
- ③ 外国人や聴覚障害者の市内医療機関利用に係る医療通訳士の養成、派遣。（派遣実績 310 件）
- ④ 枚方市の取り組み以外
 - 主な取り組みなど（自由記述）
 - ・病院の数が多い
 - ・近隣の休日診療が充実
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	22
②	189
③	2
④	18
⑤	55
合計	286



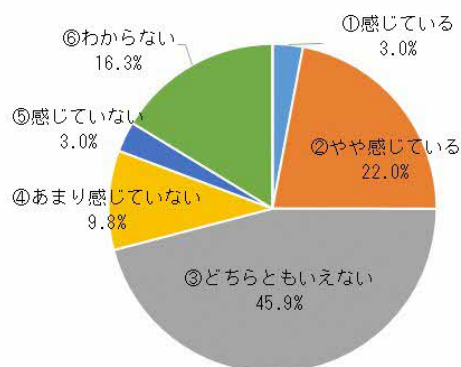
【問 8 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

問 8-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

- 主な理由（自由記述）
 - ・夜間、救急診療への不安
 - ・病院（医師含む）が不足している
 - ・医療費が高い

問 9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	13	3.0%
②やや感じている	96	22.0%
③どちらともいえない	200	45.9%
④あまり感じていない	43	9.8%
⑤感じていない	13	3.0%
⑥わからない	71	16.3%
合計	436	



【問 9 考察】

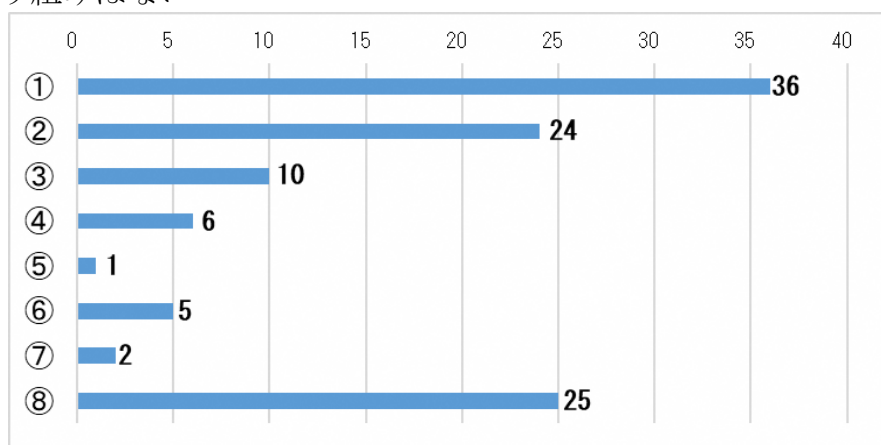
高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、25.0%となりました。「どちらともいえない」が 45.9%で最も高く、次いで「やや感じている」が 22.0%と続いています。

【問 9 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 9-1. 問 9 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 高齢者のフレイル（介護の前段階）予防につながる運動の習慣化や栄養改善、口腔機能の向上などの介護予防の知識の普及・啓発。
- ② 高齢者居場所を 13 の日常生活圏域に、合計 100 箇所設置。
- ③ ノルディックウォーキングを取り入れた外出支援を実施。（実施団体数：172 団体）
- ④ 大阪精神医療センターなどと連携した認知症予防プログラムの実施、認知症を正しく理解し見守る認知症サポーターの養成。
- ⑤ 権利擁護に関する相談・支援窓口として、「ひらかた権利擁護成年後見センター」を設置。
- ⑥ 小学生を対象に、職業体験を通じ介護職への理解を深め、魅力を感じてもらえる取り組みを実施。
- ⑦ 枚方市の取り組み以外
- ⑧ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	36
②	24
③	10
④	6
⑤	1
⑥	5
⑦	2
⑧	25
合計	109



【問 9 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

問 9-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

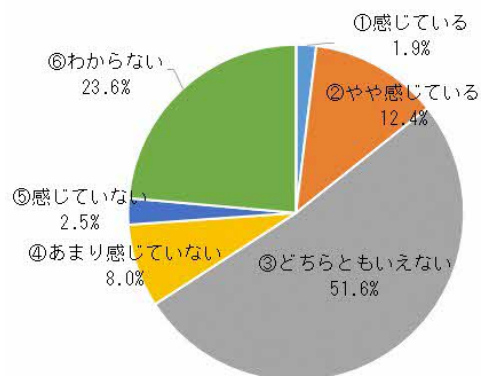
●主な理由（自由記述）

- ・高齢者が参加できる行事、イベント、施設が少ない

- ・道路環境が良くない（バリアフリー等）
- ・バスや電車等、交通の便が悪い

問 10. 障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	8	1.9%
②やや感じている	54	12.4%
③どちらともいえない	225	51.6%
④あまり感じていない	35	8.0%
⑤感じていない	11	2.5%
⑥わからない	103	23.6%
合計	436	



【問 10 考察】

障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、14.3%となりました。「どちらともいえない」が51.6%で最も高く、次いで「わからない」が23.6%と続いています。

【問 10 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 10-1. 問 10 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

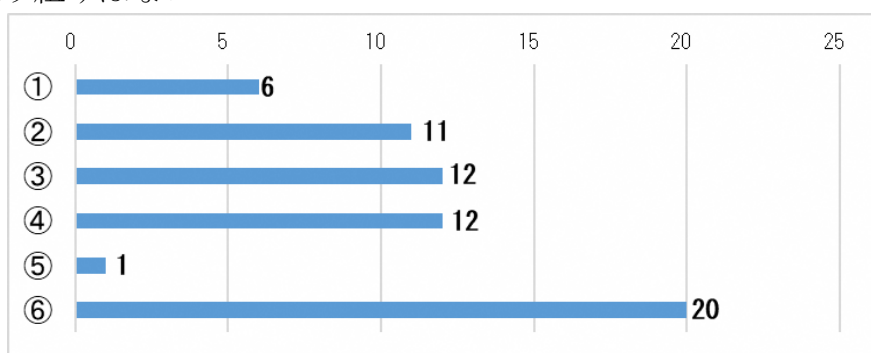
- ① 高度難聴児の人工内耳装置等の買い替えに係る費用を助成。
- ② 「手話でつむぐ住みよいまち枚方市手話言語条例」制定、手話への理解・普及の促進。
- ③ 公的機関に対する相談や医療機関での受診時に、端末を用いた非接触での遠隔手話通訳を活用できる環境の整備。
- ④ 障害者スポーツの振興を促進。
- ⑤ 枚方市の取り組み以外

●主な取り組みなど（自由記述）

- ・民間の障害施設、就労支援施設

- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	6
②	11
③	12
④	12
⑤	1
⑥	20
合計	62



【問 10 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

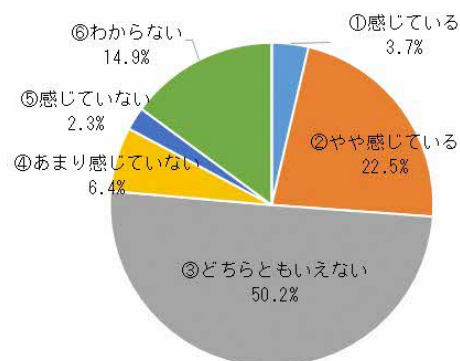
問 10-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・道路整備の不十分などバリアフリー化が進んでいない
- ・障害者の方との接触機会がない

問 11. 一人ひとりが人権を尊重し合えていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	16	3.7%
②やや感じている	98	22.5%
③どちらともいえない	219	50.2%
④あまり感じていない	28	6.4%
⑤感じていない	10	2.3%
⑥わからない	65	14.9%
合計	436	



【問 11 考察】

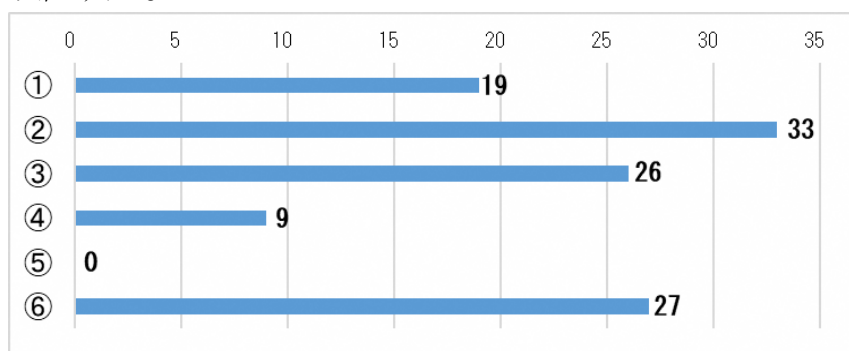
一人ひとりが人権を尊重し合えていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、26.2%となりました。「どちらともいえない」が 50.2%で最も高く、次いで「やや感じている」が 22.5%と続いています。

【問 11 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 11-1. 問 11 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 性の多様性への理解促進に向けた啓発、LGBTQ+相談及びコミュニティスペースの実施。「パートナーシップ宣誓制度」の運用。
- ② 多様化・複雑化する人権問題について、市民啓発や相談窓口の案内などを実施。
- ③ 市内の市立小・中学校全校で児童、生徒及び保護者向けに啓発。
- ④ 枚方市配偶者暴力相談支援センター「ひらかた DV相談室」に専門相談員を配置、被害者の自立支援、緊急時の安全確保、法的手続の支援等の実施。
- ⑤ 枚方市の取り組み以外
- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	19
②	33
③	26
④	9
⑤	0
⑥	27
合計	114



【問 11 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

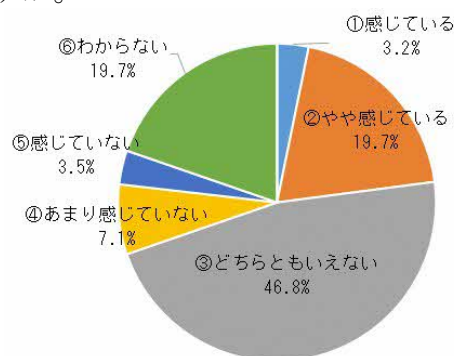
問 11-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・個人間でコミュニケーションがとれる機会や場所が不足している
- ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない

問 12. 男女共同参画社会が実現していると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	14	3.2%
②やや感じている	86	19.7%
③どちらともいえない	204	46.8%
④あまり感じていない	31	7.1%
⑤感じていない	15	3.5%
⑥わからない	86	19.7%
合計	436	



【問 12 考察】

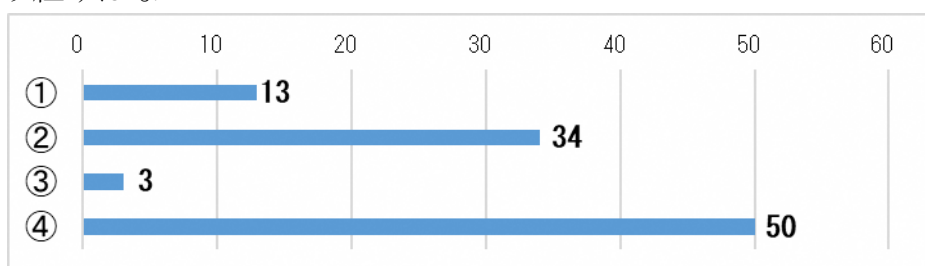
男女共同参画社会が実現していると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、22.9%となりました。「どちらともいえない」が 46.8%で最も高く、次いで「やや感じている」と「わからない」が 19.7%と続いています。

【問 12 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 12-1. 問 12 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 「男女共生フロア・ウィル」において、女性のための面接・電話・法律相談、男性のための電話相談を実施。（実施回数：1,048 回）
- ② 男女共生フロア・ウィルを拠点として、あらゆる分野への男女共同参画推進のため、多面的な講座を実施。
- ③ 枚方市の取り組み以外
- ④ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	13
②	34
③	3
④	50
合計	100



【問 12 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

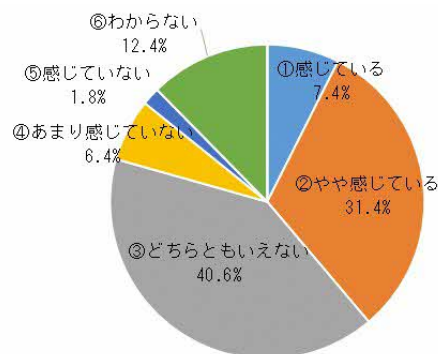
問 12-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない
- ・市内企業の役職者等の女性比率が低い

問 13. 平和の大切さが継承されていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	32	7.4%
②やや感じている	137	31.4%
③どちらともいえない	177	40.6%
④あまり感じていない	28	6.4%
⑤感じていない	8	1.8%
⑥わからない	54	12.4%
合計	436	



【問 13 考察】

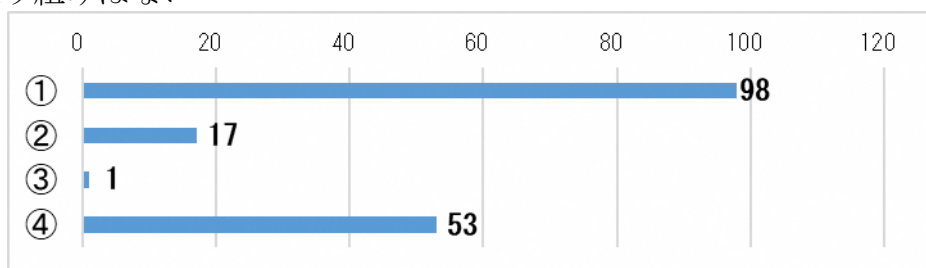
平和の大切さが継承されていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、38.8%となりました。「どちらともいえない」が 40.6%で最も高く、次いで「やや感じている」が 31.4%と続いています。

【問 13 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 13-1. 問 13 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 3月の平和月間に「ひらかた平和フォーラム」や「平和の燈火（あかり）」などの「枚方市平和の日」記念事業を実施。
- ② 妙見山の煙突見学会や平和資料室特別展の開催、平和啓発冊子の発行など平和に関する啓発を実施。（実施回数：11回）
- ③ 枚方市の取り組み以外
 - 主な取り組みなど（自由記述）
 - ・学校での平和教育
- ④ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	98
②	17
③	1
④	53
合計	169



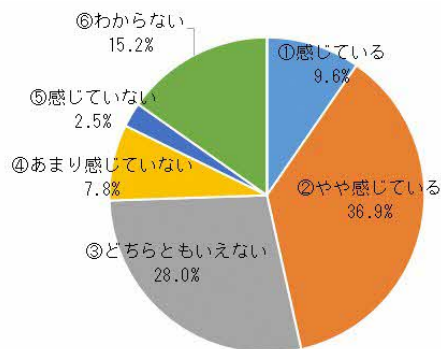
【問 13 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

問 13-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

- 主な理由（自由記述）
 - ・世界情勢や国内の事件、犯罪等の状況をみると平和と感じない
 - ・平和に関する取り組みが不十分で子どもたちへ平和の大切さが継承されていない

問 14. 安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	42	9.6%
②やや感じている	161	36.9%
③どちらともいえない	122	28.0%
④あまり感じていない	34	7.8%
⑤感じていない	11	2.5%
⑥わからない	66	15.2%
合計	436	



【問 14 考察】

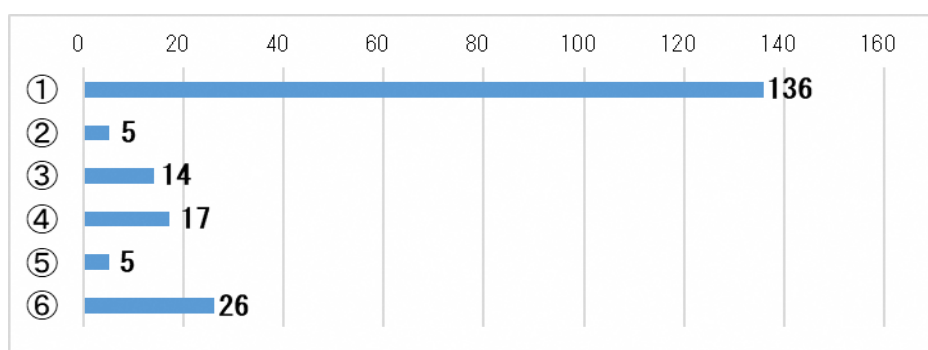
安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、46.5%となりました。「やや感じている」が 36.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 28.0%と続いています。

【問 14 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 14-1. 問 14 を選択した決め手となった施策はありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 妊産婦健康診査や妊産婦歯科健康診査にかかる費用を助成。妊娠・育児に関する知識の普及、産後ケア事業、相談支援などの実施。
 - ② 不育症の原因検索検査及び不育症治療の費用の一部を助成。
 - ③ 妊娠・出産から子育て期の切れ目のない支援を提供する相談支援拠点「健康福祉相談センター北部リーフ」を設置・運営。令和 6 年 4 月より、まるっとこどもセンターに改変。
 - ④ 結婚等に伴い本市で新たに生活を始める新婚夫婦等に対し、住宅の賃借・購入費用や所有住宅のリフォーム費用、引越費用を助成。
 - ⑤ 枚方市の取り組み以外
- 主な取り組みなど（自由記述）
- ・産科、小児科が充実している
- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	136
②	5
③	14
④	17
⑤	5
⑥	26
合計	203



【問 14 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

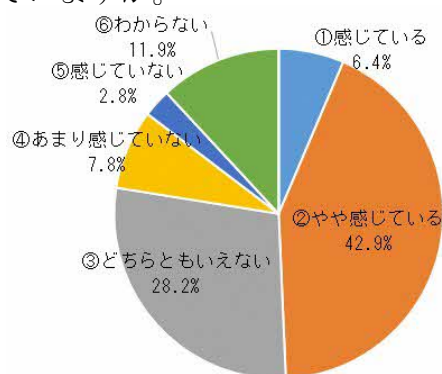
問 14-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・産院（産科医）が少ない
- ・出産費用等の経済的な問題がある

問 15. 安心して子育てできる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	28	6.4%
②やや感じている	187	42.9%
③どちらともいえない	123	28.2%
④あまり感じていない	34	7.8%
⑤感じていない	12	2.8%
⑥わからない	52	11.9%
合計	436	



【問 15 考察】

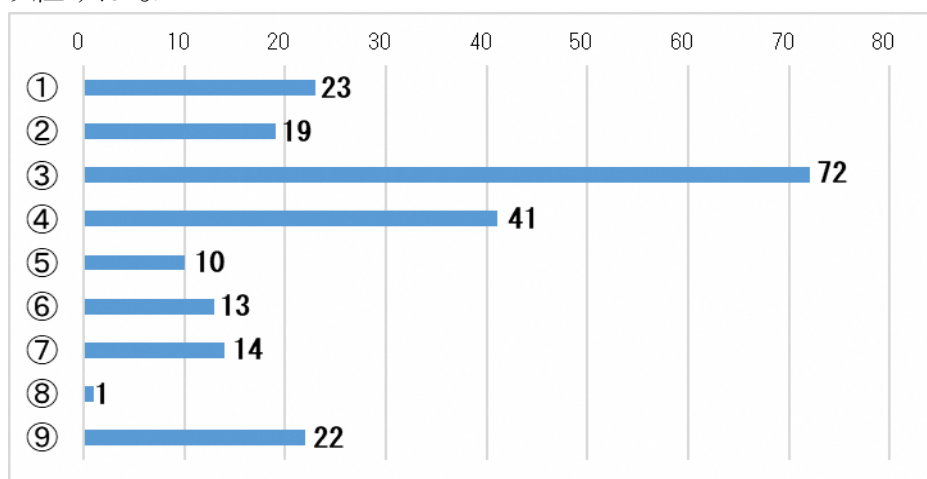
安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、49.3%となりました。「やや感じている」が42.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.2%と続いています。

【問 15 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 15-1. 問 15 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの1つ）

- ① 各分野が持つ子どもの情報を共有する「子ども見守りシステム」を整備し、効果的で切れ目のない支援体制を構築。
- ② 管理の難しい予防接種のスケジュールを自動で作成してくれるなど、子育て世代が気軽にかつ必要な情報をタイムリーに入手できる、子育て応援アプリを運用。
- ③ 国の基準では無償化の対象外となる第2子以降の保育料や副食費について、市独自の取り組みとして無償化を実施。
- ④ 放課後の安全な居場所づくりのため、市内小学校全校で放課後オープンスクエアを実施。
- ⑤ 就学前の障害児や発達上支援の必要な子どもが通う市立ひらかた子ども発達支援センターを運営し、子どもの発達状況や障害特性に合わせた専門的な保育・療育を提供。
- ⑥ 「子ども食堂」に取り組む団体への支援。（開設箇所：20箇所）
- ⑦ 19歳から22歳までの若者に対して入院費の自己負担の一部助成を実施。令和5年度実績：77件 5,845,579円
- ⑧ 枚方市の取り組み以外
- ⑨ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	23
②	19
③	72
④	41
⑤	10
⑥	13
⑦	14
⑧	1
⑨	22
合計	215



【問 15 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

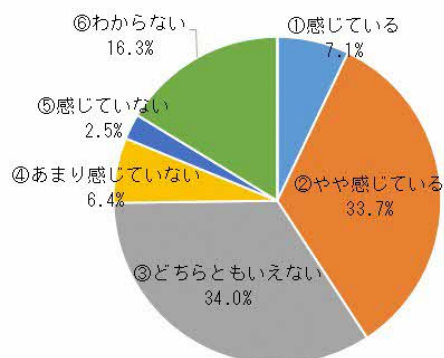
問 15-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・行政として必要な体制や取り組み、支援体制が整っていない
- ・保育所（園）の待機児童の課題
- ・子育て世帯の経済的な負担が大きい（物価高騰など）

問 16. 子どもたちへの教育環境が充実していると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	31	7.1%
②やや感じている	147	33.7%
③どちらともいえない	148	34.0%
④あまり感じていない	28	6.4%
⑤感じていない	11	2.5%
⑥わからない	71	16.3%
合計	436	



【問 16 考察】

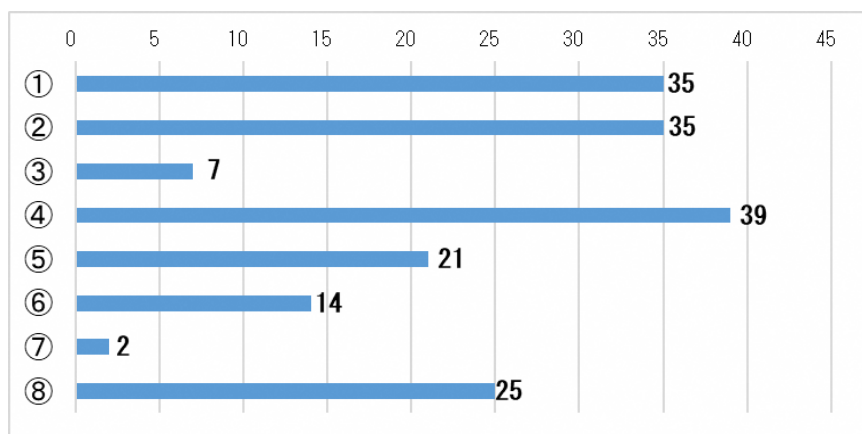
子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、40.8%となりました。「どちらともいえない」が 34.0%で最も高く、次いで「やや感じている」が 33.7%と続いています。

【問 16 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 16-1. 問 16 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 全小中学校へ英語教育指導助手（NET・JTE）を配置し、小中一貫英語教育を実施。
- ② 各中学校区の特色を活かした小中一貫教育の推進、小学 1 年生から 5 年生までは、35 人学級編制、小学 5・6 年生は、一部教科担任制や習熟度別指導、ティーム・ティーチング等の少人数指導、中学生は、習熟度別指導等を含む少人数指導など、9 年間における児童・生徒の発達段階に応じた指導体制を構築。
- ③ スクールロイヤー、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家との連携など、学校で子どもたちが抱える課題に対する総合的な支援体制を確立。
- ④ LTE モデルの 1 人 1 台端末を活用した教育活動。
- ⑤ 登校・下校時間帯の必要となる箇所交通専従員・指導員を配置し、見守りを実施。
- ⑥ 全小中学校のトイレの洋式化工事を完了。
- ⑦ 枚方市の取り組み以外
- ⑧ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	35
②	35
③	7
④	39
⑤	21
⑥	14
⑦	2
⑧	25
合計	178



【問 16 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

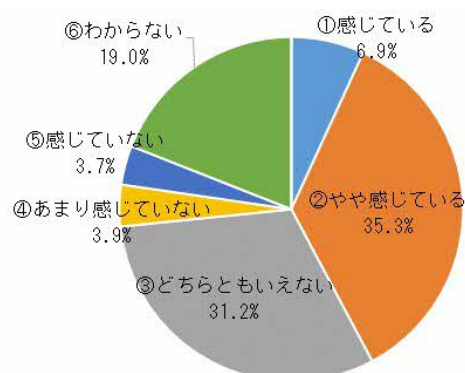
問 16-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・子どもの習熟度や学力に応じた教育環境が整備されていない
- ・学校施設、設備、備品等に問題がある

問 17. 子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	30	6.9%
②やや感じている	154	35.3%
③どちらともいえない	136	31.2%
④あまり感じていない	17	3.9%
⑤感じていない	16	3.7%
⑥わからない	83	19.0%
合計	436	



【問 17 考察】

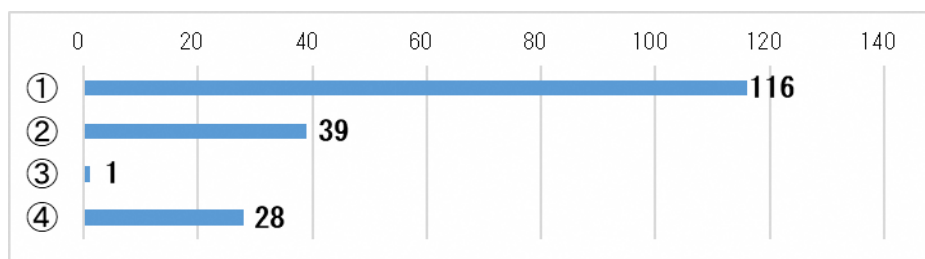
子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、42.2%となりました。「やや感じている」が 35.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.2%と続いています。

【問 17 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 17-1. 問 17 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 登校・下校時間帯の必要となる箇所に交通専従員・指導員を配置し、見守りを実施。
- ② 全小中学校のトイレの洋式化工事を完了。
- ③ 枚方市の取り組み以外
- ④ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	116
②	39
③	1
④	28
合計	184



【問 17 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

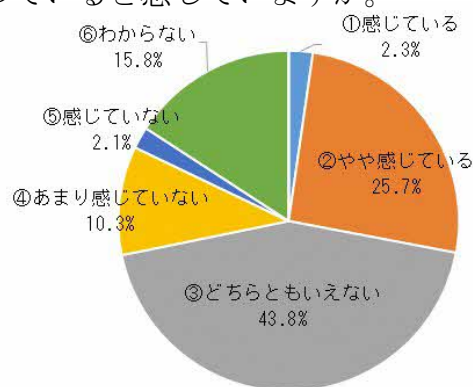
問 17-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・通学路など登下校時の安全性に不安がある
- ・体育館空調など学校の設備が不足している

問 18. 生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	10	2.3%
②やや感じている	112	25.7%
③どちらともいえない	191	43.8%
④あまり感じていない	45	10.3%
⑤感じていない	9	2.1%
⑥わからない	69	15.8%
合計	436	



【問 18 考察】

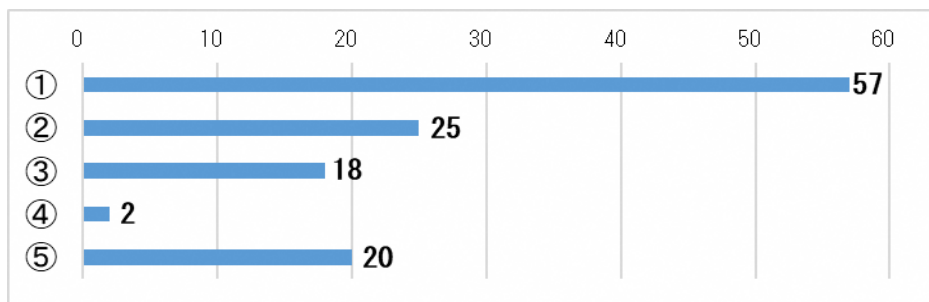
生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、28.0%となりました。「どちらともいえない」が 43.8% で最も高く、次いで「やや感じている」が 25.7%と続いています。

【問 18 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 18-1. 問 18 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 図書館サービスとして、電子書籍の貸し出しを実施。（貸し出し実績：39,410 件）
- ② 社会教育基礎講座や家庭教育支援事業、社会教育（人権）講座などを通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を学習する機会を提供。
- ③ 市内 5 大学との連携・協力により特色ある各大学の専門的な知識・情報を生かして学習できる「ひらかた市民大学」を開催。
- ④ 枚方市の取り組み以外
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	57
②	25
③	18
④	2
⑤	20
合計	122



【問 18 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

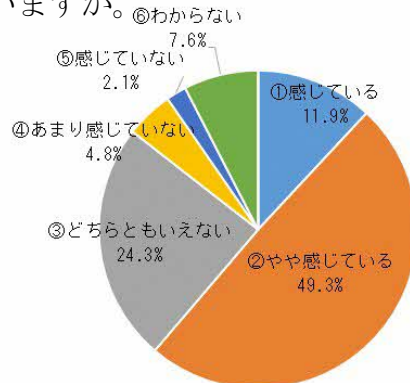
問 18-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・周辺に施設等の環境整備が整っていない
- ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない

問 19. 文化芸術に親しめる環境が整っていると感じていますか。⑥わからない

選択項目	回答数	割合
①感じている	52	11.9%
②やや感じている	215	49.3%
③どちらともいえない	106	24.3%
④あまり感じていない	21	4.8%
⑤感じていない	9	2.1%
⑥わからない	33	7.6%
合計	436	



【問 19 考察】

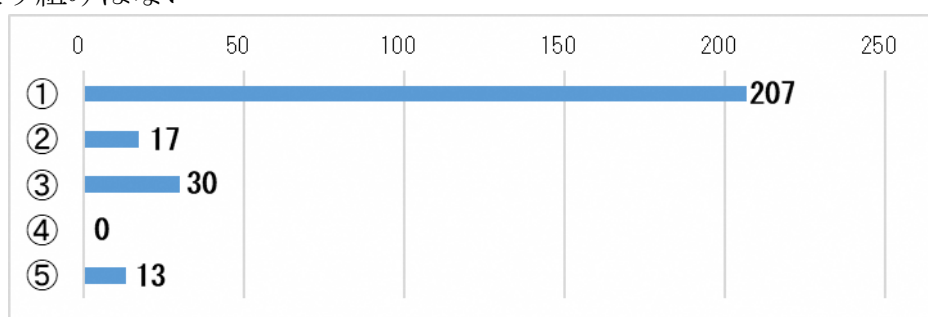
文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、61.2%となりました。「やや感じている」が 49.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 24.3%と続いています。

【問 19 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 19-1. 問 19 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。(主なもの 1 つ)

- ① 令和 3 年 8 月、新たな文化芸術の拠点となる「総合文化芸術センター」を開館。
- ② 市内外の人形劇団が集まり、「ひらかた人形劇フェスティバル」を開催。
- ③ 市立小学校に市アーティストバンクに登録している若手アーティストを派遣し、生の文化芸術を体験するアウトリーチ事業を実施。市立中学校 1 年生を対象にフルオーケストラの演奏を体験するオーケストラ鑑賞事業や、市民の文化芸術活動の発表機会の提供として「市民総合文化祭」を総合文化芸術センターで開催。
- ④ 枚方市の取り組み以外
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	207
②	17
③	30
④	0
⑤	13
合計	267



【問 19 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

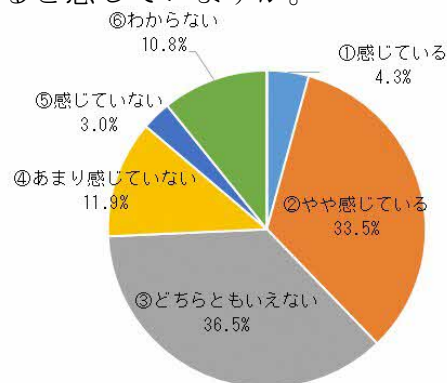
問 19-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・総合文化芸術センター以外での取り組みがもっと必要
- ・文化芸術に触れる機会が少ない

問 20. 気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	19	4.3%
②やや感じている	146	33.5%
③どちらともいえない	159	36.5%
④あまり感じていない	52	11.9%
⑤感じていない	13	3.0%
⑥わからない	47	10.8%
合計	436	



【問 20 考察】

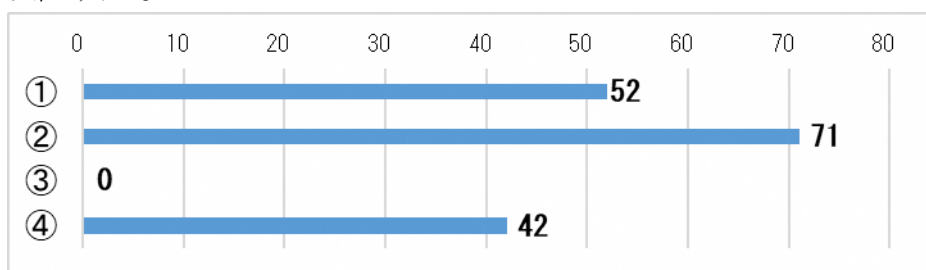
気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、37.8%となりました。「どちらともいえない」が 36.5%で最も高く、次いで「やや感じている」が 33.5%と続いています。

【問 20 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 20-1. 問 20 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 子どもたちがトップアスリートとふれあったり、トップレベルのプレーを間近に見る機会を創出。（参加人数 400 人）
- ② 総合体育大会など各種競技大会の開催、各種レクリエーション等の開催。（参加人数 20,000 人）
- ③ 枚方市の取り組み以外
- ④ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	52
②	71
③	0
④	42
合計	165



【問 20 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

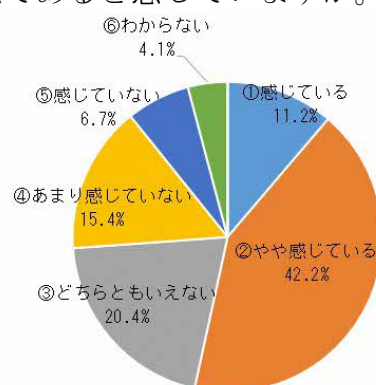
問 20-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・スポーツができる環境が少ない、近くにない
- ・ボールを使う競技ができるような公園がなく、子どもたちの遊び場が少ない

問 21. 枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	49	11.2%
②やや感じている	184	42.2%
③どちらともいえない	89	20.4%
④あまり感じていない	67	15.4%
⑤感じていない	29	6.7%
⑥わからない	18	4.1%
合計	436	



【問 21 考察】

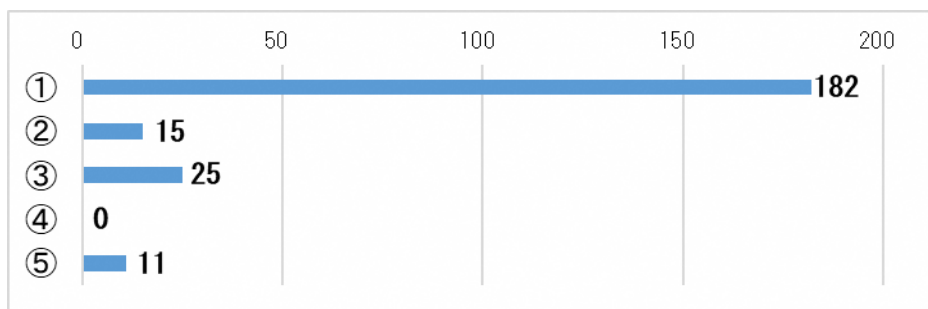
枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、53.4%となりました。「やや感じている」が 42.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 20.4%と続いています。

【問 21 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 21-1. 問 21 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 枚方市駅の北・東側の整備（令和 6 年度中にホテル・商業施設・図書館などがオープン予定）に向けた取り組みなど、枚方市駅周辺再整備を推進。
- ② 市駅周辺における公共空間の日常活用について、ニッペパーク岡東中央などを活用した社会実験（ストリートピアノ、ミニバスケットボール、キッチンカー、滞在空間の設置等）を実施。（3/4 から 3/14）
- ③ 枚方市駅周辺の賑わいを創出、ニッペパーク岡東中央で行われるイベントを支援。（参加人数約 39,900 人）
- ④ 枚方市の取り組み以外
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	182
②	15
③	25
④	0
⑤	11
合計	233



【問 21 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

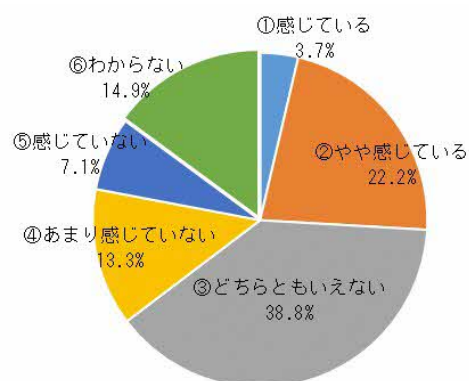
問 21-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・再開発中であり、現時点では実感がない
- ・樟葉駅の方がにぎわっている

問 22. 枚方市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	16	3.7%
②やや感じている	97	22.2%
③どちらともいえない	169	38.8%
④あまり感じていない	58	13.3%
⑤感じていない	31	7.1%
⑥わからない	65	14.9%
合計	436	



【問 22 考察】

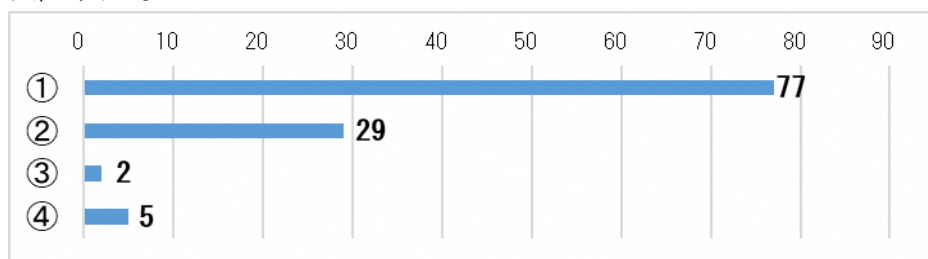
枚方市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、25.9%となりました。「どちらともいえない」が 38.8%で最も高く、次いで「やや感じている」が 22.2%と続いています。

【問 22 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 22-1. 問 22 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 枚方宿などの観光情報の発信や淀川河川公園での大型イベントなど活性化に向けた取り組みを実施。
- ② 地域資源の一つである「七夕」をテーマに、夏のイベントを開催。（参加人数約 4,710 人）
- ③ 枚方市の取り組み以外
- ④ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	77
②	29
③	2
④	5
合計	113



【問 22 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

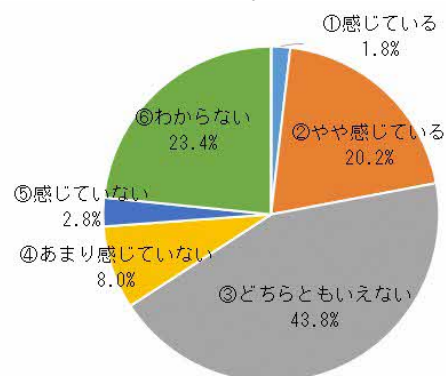
問 22-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・観光資源が少ない
- ・観光が PR されていない

問 23. 枚方市内での産業活動が活発に行われていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	8	1.8%
②やや感じている	88	20.2%
③どちらともいえない	191	43.8%
④あまり感じていない	35	8.0%
⑤感じていない	12	2.8%
⑥わからない	102	23.4%
合計	436	



【問 23 考察】

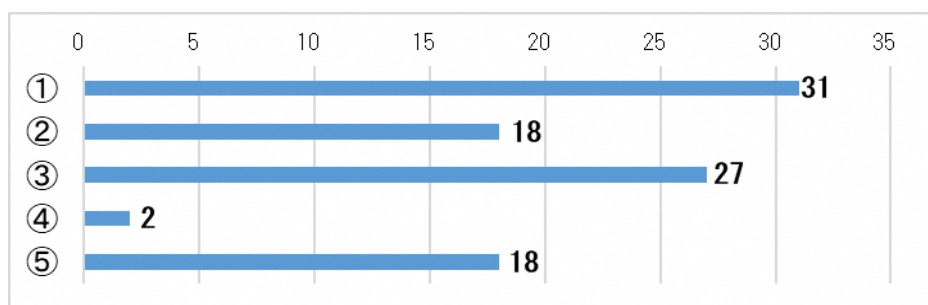
枚方市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、22.0%となりました。「どちらともいえない」が 43.8%で最も高く、次いで「わからない」が 23.4%と続いています。

【問 23 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 23-1. 問 23 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 市内の中小企業が参加する合同面接会等の開催。就労支援コーディネーターによる就労相談、求職者ニーズに合わせた能力開発研修・講座の開催。
（合同面接会参加者数：138 人、各種講座参加者数：延べ 118 人）
 - ② 創業・企業支援に関するセミナーの開催、専門家による相談、インキュベートルームの貸出し、補助金の交付など、地域活性化支援センターを拠点とした創業者の支援。（地域活性化支援センターの支援を受けた開業者数：25 件）
 - ③ 市内の商業活性化を目指し「商業まつり」や「ひらかたまちゼミ」を支援。やる気のある商店街事業者に対する 6 つの補助事業による多角的な支援。
 - ④ 枚方市の取り組み以外
- 主な取り組みなど（自由記述）
- ・多くの企業の工場が存在
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	31
②	18
③	27
④	2
⑤	18
合計	96



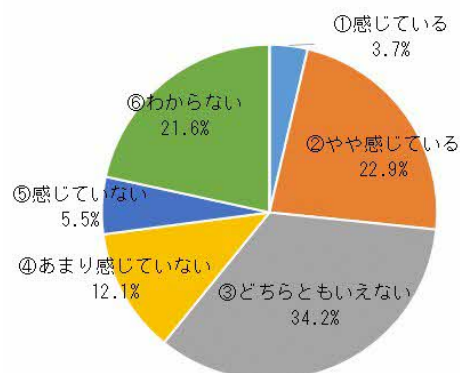
【問 23 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

問 23-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

- 主な理由（自由記述）
- ・市内の産業活動を実感できる場が少ない
 - ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない

問 24. 農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	16	3.7%
②やや感じている	100	22.9%
③どちらともいえない	149	34.2%
④あまり感じていない	53	12.1%
⑤感じていない	24	5.5%
⑥わからない	94	21.6%
合計	436	



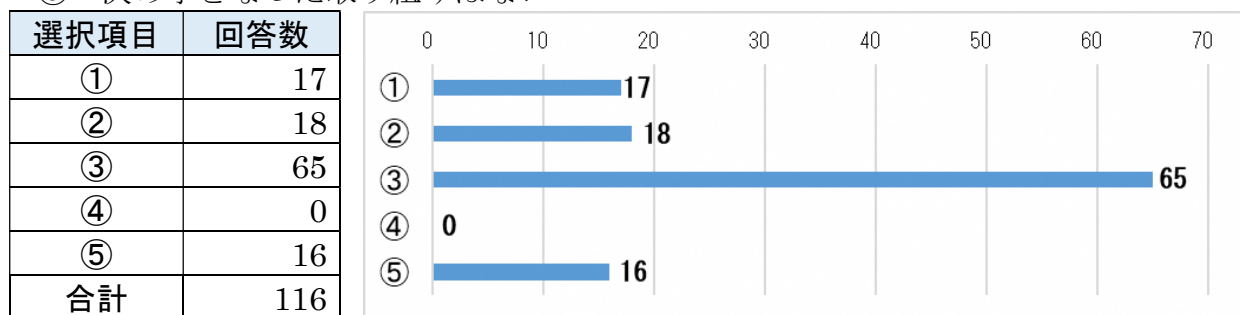
【問 24 考察】

農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、26.6%となりました。「どちらともいえない」が34.2%で最も高く、次いで「やや感じている」が22.9%と続いています。

【問 24 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 24-1. 問 24 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。(主なもの 1 つ)

- ① 摂南大学と農に関する協定を締結し、「すももサイダー」等を商品化するなど、市内農業の 6 次産業化への取り組み。
- ② 子どもたちが農作業体験から「いのちのつながり」「食の大切さ」を学ぶ食農体験学習の実施。
- ③ 農作物の収穫体験ができる「農業ふれあいツアー」の実施、新鮮な地元農産物を生産者が市民に直接対面販売する「ふれあい朝市」の開催支援。
- ④ 枚方市の取り組み以外
- ⑤ 決め手となった取り組みはない



【問 24 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

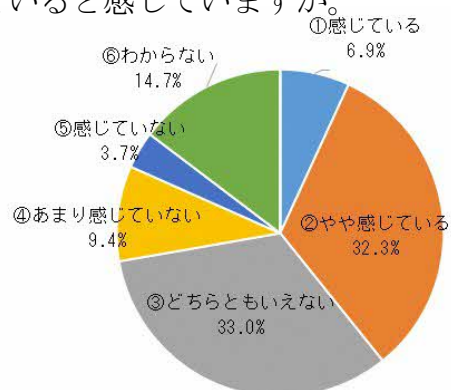
問 24-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・農地が宅地などにかわり、減少してきている。
- ・農地が農地として活用されず、荒れ地となっている。

問 25. 里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	30	6.9%
②やや感じている	141	32.3%
③どちらともいえない	144	33.0%
④あまり感じていない	41	9.4%
⑤感じていない	16	3.7%
⑥わからない	64	14.7%
合計	436	



【問 25 考察】

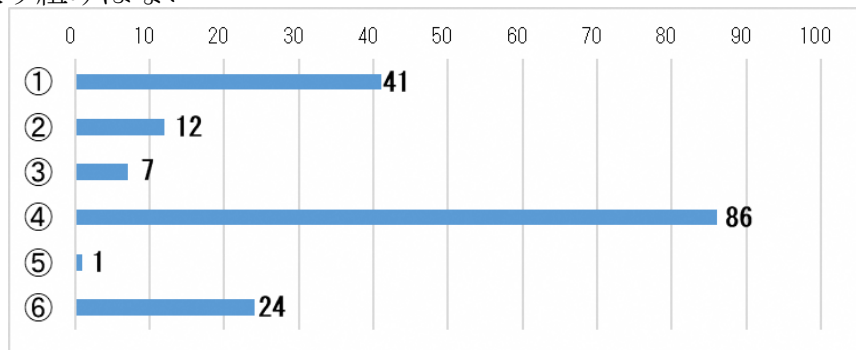
里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、39.2%となりました。「どちらともいえない」が33.0%で最も高く、次いで「やや感じている」が32.3%と続いています。

【問 25 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 25-1. 問 25 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。(主なもの 1 つ)

- ① 自然とふれあい自然環境について考えるきっかけとして「水辺の楽校」などの自然観察会や「自然環境を考える講演会」を開催。
- ② 森林ボランティア育成のため、植物や森林に関する講義や指導を通じて里山の魅力を体感できる講座を開催。
- ③ 健全な森林環境を維持するため、竹林整備や竹チップの活用検討。
- ④ 穂谷地区の豊かな自然環境や農を生かした地域活性化の推進。
- ⑤ 枚方市の取り組み以外
- 主な取り組みなど（自由記述）
・穂谷地区での各種イベント
- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	41
②	12
③	7
④	86
⑤	1
⑥	24
合計	171



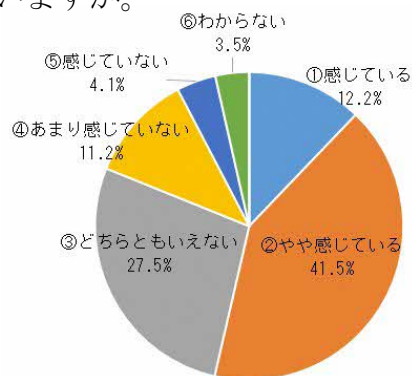
【問 25 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

問 25-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

- 主な理由（自由記述）
・宅地開発が進み自然が減少している

問 26. 普段の生活の中でみどりとふれあえると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	53	12.2%
②やや感じている	181	41.5%
③どちらともいえない	120	27.5%
④あまり感じていない	49	11.2%
⑤感じていない	18	4.1%
⑥わからない	15	3.5%
合計	436	



【問 26 考察】

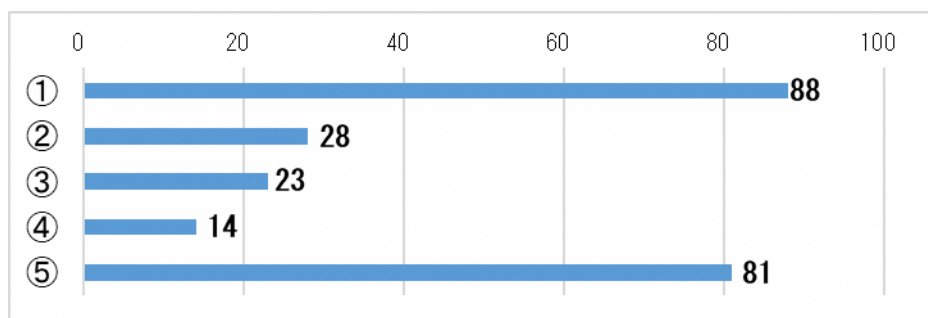
普段の生活の中でみどりとふれあえると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、53.7%となりました。「やや感じている」が 41.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 27.5%と続いています。

【問 26 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 26-1. 問 26 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。(主なもの 1 つ)

- ① 緑化フェスティバルの開催、新生児誕生記念苗木の配付、緑化講習会の開催等、みどりに親しむ機会やみどりに関わる市民を増やし、まちなか緑化を推進。
- ② 王仁公園への民間活力の導入や、新たな公園施設の整備や既存施設のさらなる活用を実施。
- ③ 香里ヶ丘地区の斜面緑地を活かし、子どもが自ら考え創意工夫する冒険遊び場としてプレーパークを設置。地域からの希望に対応して出張型プレーパークを実施。
- ④ 枚方市の取り組み以外
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	88
②	28
③	23
④	14
⑤	81
合計	234



【問 26 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

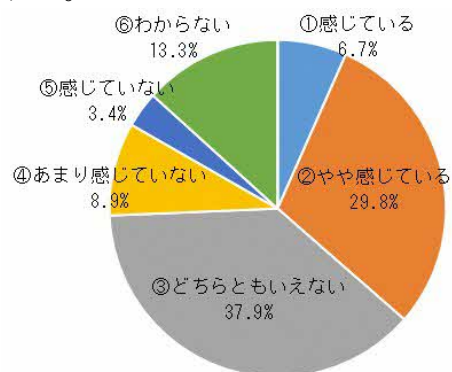
問 26-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・みどりとふれあえる場所が少ない

問 27. ごみ減量や資源循環が進んでいると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	29	6.7%
②やや感じている	130	29.8%
③どちらともいえない	165	37.9%
④あまり感じていない	39	8.9%
⑤感じていない	15	3.4%
⑥わからない	58	13.3%
合計	436	



【問 27 考察】

ごみ減量や資源循環が進んでいると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、36.5%となりました。「どちらともいえない」が 37.9%で最も高く、次いで「やや感じている」が 29.8%と続いています。

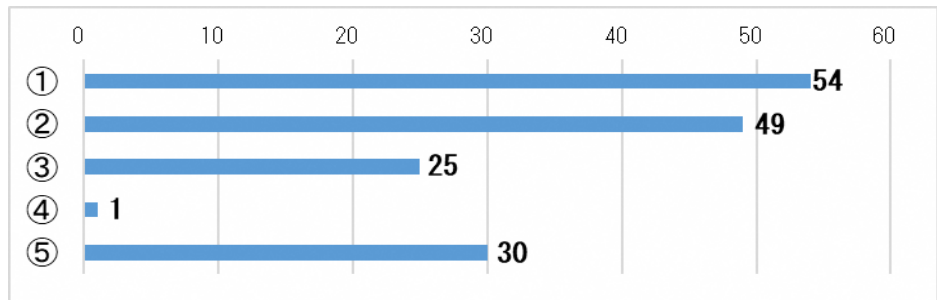
【問 27 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 27-1. 問 27 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。(主なもの 1 つ)

- ① 4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の推進・啓発、保育園・幼稚園・小学生向けの環境教育。（実施回数 64 回）
- ② 「プラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言」を行うなど、プラスチックの使用削減に向けた取り組み。（令和 5 年度 3 月末日までの宣言人数：10,179 人）
- ③ 京田辺市との広域連携による新たなごみ処理施設の整備。

- ④ 枚方市の取り組み以外
⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	54
②	49
③	25
④	1
⑤	30
合計	159



【問 27 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

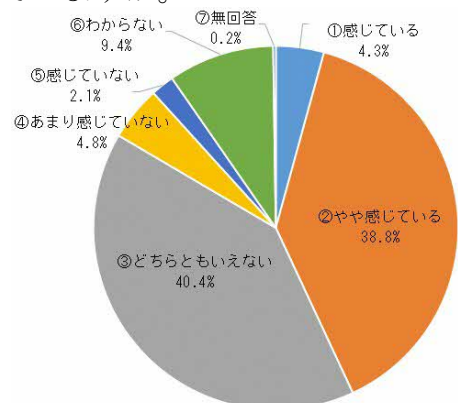
問 27-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください

●主な理由（自由記述）

- ・ごみの分別ができていない
- ・市でのリサイクルやごみの減量の状況がわからない（情報発信が足りていない）
- ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない

問 28. 安全で良好な生活環境が確保されていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	19	4.3%
②やや感じている	169	38.8%
③どちらともいえない	176	40.4%
④あまり感じていない	21	4.8%
⑤感じていない	9	2.1%
⑥わからない	41	9.4%
⑦無回答	1	0.2%
合計	436	



【問 28 考察】

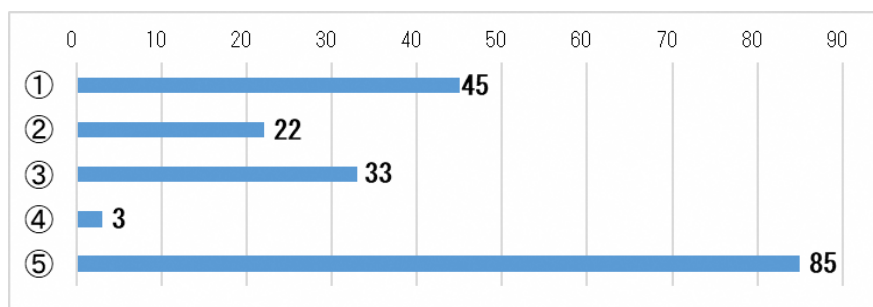
安全で良好な生活環境が確保されていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、43.1%となりました。「どちらともいえない」が 40.4%で最も高く、次いで「やや感じている」が 38.8%と続いています。

【問 28 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 28-1. 問 28 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① ボランティアによる河川の清掃活動「枚方クリーンリバー」を実施。
- ② 窒素酸化物・微小粒子状物質（PM2.5）等の測定、河川の水質調査や地下水調査、騒音振動調査の実施。
- ③ 産業廃棄物の適正処理のため、不法投棄や野焼き等防止に向けたパトロール等の実施、産業廃棄物処理業などの許可・登録および指導。
- ④ 枚方市の取り組み以外
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	45
②	22
③	33
④	3
⑤	85
合計	188



【問 28 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

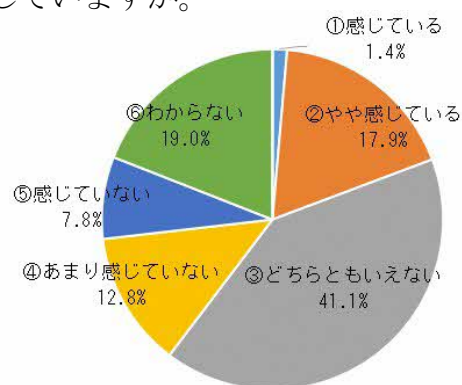
問 28-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・治安の悪さなど生活環境における安全面での不安や騒音などの環境面での不安を感じる

問 29. 地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	6	1.4%
②やや感じている	78	17.9%
③どちらともいえない	179	41.1%
④あまり感じていない	56	12.8%
⑤感じていない	34	7.8%
⑥わからない	83	19.0%
合計	436	



【問 29 考察】

地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、19.3%となりました。「どちらともいえない」が 41.1%で最も高く、次いで「わからない」が 19.0%と続いています。

【問 29 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

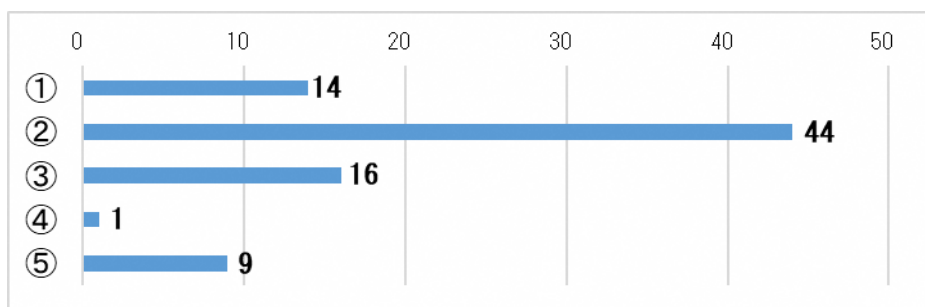
問 29-1. 問 29 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 「2050 年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」に基づき、大阪府と連携し再エネ電力を共同購入。
- ② 緑のカーテン、緑道等での打ち水の実施、エコライフキャンペーンなど参加型の普及啓発イベントの実施。（令和 5 年度緑のカーテン（ゴーヤ）160 人）
- ③ 「枚方市役所 CO2 削減プラン」に基づく省エネルギー行動の実施、省エネルギー型機器への更新、公共施設への太陽光発電設備の導入に向けた取り組み。
- ④ 枚方市の取り組み以外

●主な取り組みなど（自由記述）

- ・緑の領域が多い
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	14
②	44
③	16
④	1
⑤	9
合計	84



【問 29 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

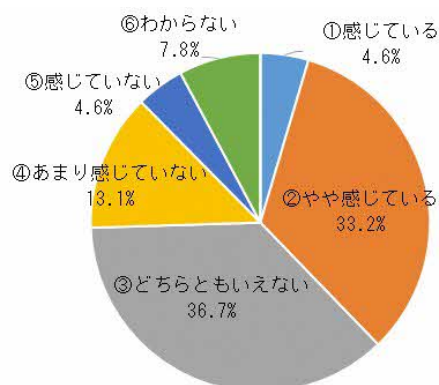
問 29-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・行政として具体的な取り組みの周知が十分されていない
- ・年々、気温が上昇しているから

問 30. まちの美化が進んでいると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	20	4.6%
②やや感じている	145	33.2%
③どちらともいえない	160	36.7%
④あまり感じていない	57	13.1%
⑤感じていない	20	4.6%
⑥わからない	34	7.8%
合計	436	



【問 30 考察】

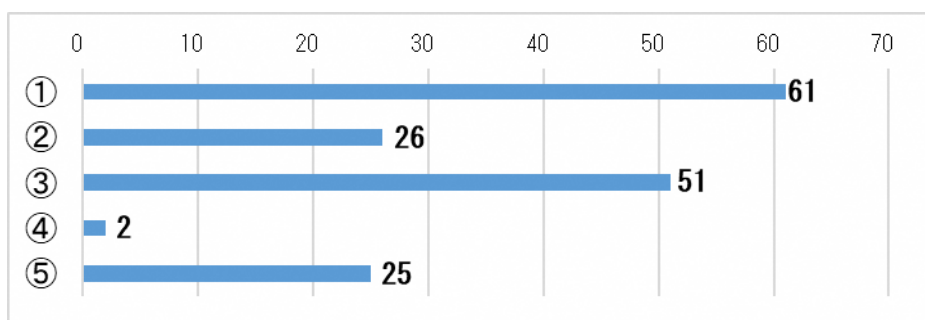
まちの美化が進んでいると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、37.8%となりました。「どちらともいえない」が36.7%で最も高く、次いで「やや感じている」が33.2%と続いています。

【問 30 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 30-1. 問 30 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの1つ）

- ① 枚方市が管理している道路や公園などの公共の場所について、市民グループや地元企業などによる継続的な美化活動である「枚方市アダプトプログラム」を実施。
- ② 景観計画及び景観条例に沿った良好な景観形成、枚方宿街道沿いの修景助成の実施。
- ③ 「ポイ捨て等防止条例」や「路上喫煙制限条例」の周知、迷惑行為等の防止に向けた啓発。
- ④ 枚方市の取り組み以外
- ⑤ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	61
②	26
③	51
④	2
⑤	25
合計	165



【問 30 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

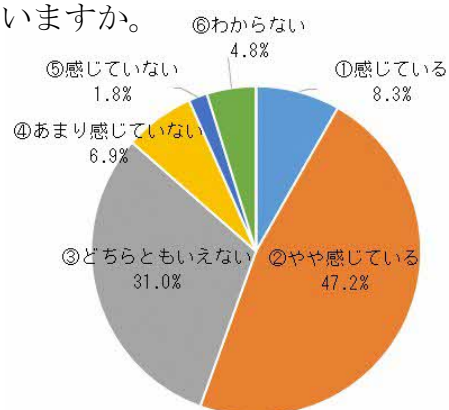
問 30-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

・たばこの吸いながらゴミが落ちているのをよく見る ・まちにゴミ箱が少ない

問 31. 行政からの情報発信が充実していると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	36	8.3%
②やや感じている	206	47.2%
③どちらともいえない	135	31.0%
④あまり感じていない	30	6.9%
⑤感じていない	8	1.8%
⑥わからない	21	4.8%
合計	436	



【問 31 考察】

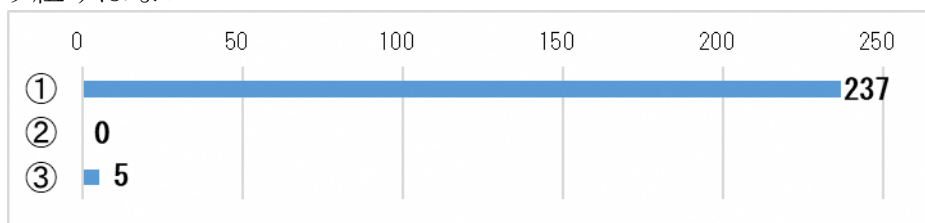
行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、55.5%となりました。「やや感じている」が 47.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 31.0%と続いています。

【問 31 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 31-1. 問 31 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 広報紙やホームページ、LINE・ツイッター等のソーシャルメディアを活用した市の魅力などの情報発信。
- ② 枚方市の取り組み以外
- ③ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	237
②	0
③	5
合計	242



【問 31 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

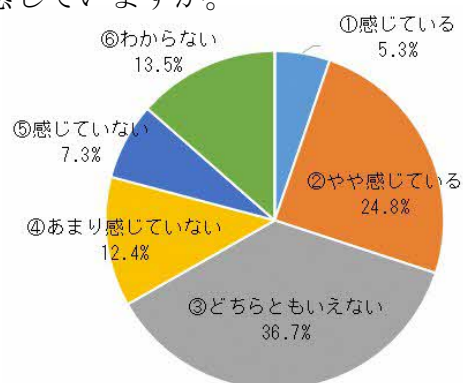
問 31-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・広報紙以外で情報の発信量が少ない

問 32. 行政に対し意見を言う場が確保されていると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	23	5.3%
②やや感じている	108	24.8%
③どちらともいえない	160	36.7%
④あまり感じていない	54	12.4%
⑤感じていない	32	7.3%
⑥わからない	59	13.5%
合計	436	



【問 32 考察】

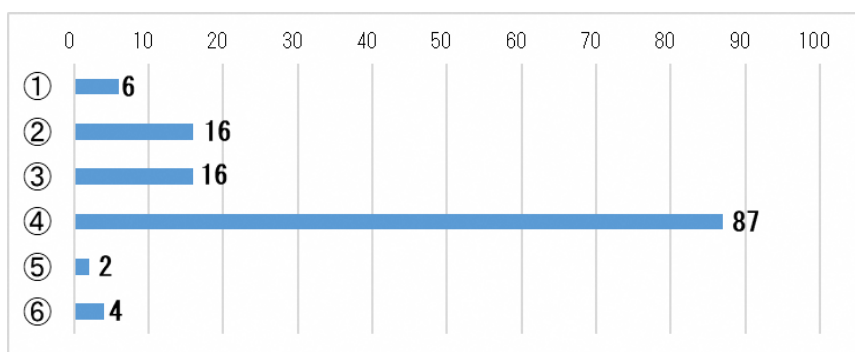
行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、30.1%となりました。「どちらともいえない」が 36.7%で最も高く、次いで「やや感じている」が 24.8%と続いています。

【問 32 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 32-1. 問 32 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 令和 6 年 3 月、非接触で都市計画や建築等の不動産情報を調査できる窓口閲覧・交付サービスを開始。
- ② 市民からの問い合わせへのワンストップ回答のため、総合コールセンターを設置。
- ③ 市長への提言として、市政について市民からのご意見・ご要望等を専用フォームや郵便にて受け付け。
- ④ 市政モニターアンケート、インターネットアンケート、スマホアンケートにより、市政の様々な分野における市民の意見を調査。
- ⑤ 枚方市の取り組み以外
- ⑥ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	6
②	16
③	16
④	87
⑤	2
⑥	4
合計	131



【問 32 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

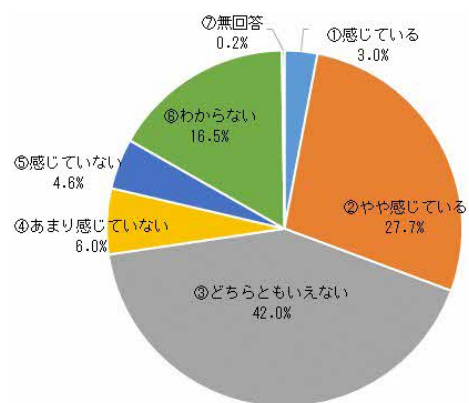
問 32-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・行政に意見する場所（方法）がわからない

問 33. 市民によるまちづくり活動が活発であると感じていますか。

選択項目	回答数	割合
①感じている	13	3.0%
②やや感じている	121	27.7%
③どちらともいえない	183	42.0%
④あまり感じていない	26	6.0%
⑤感じていない	20	4.6%
⑥わからない	72	16.5%
⑦無回答	1	0.2%
合計	436	



【問 33 考察】

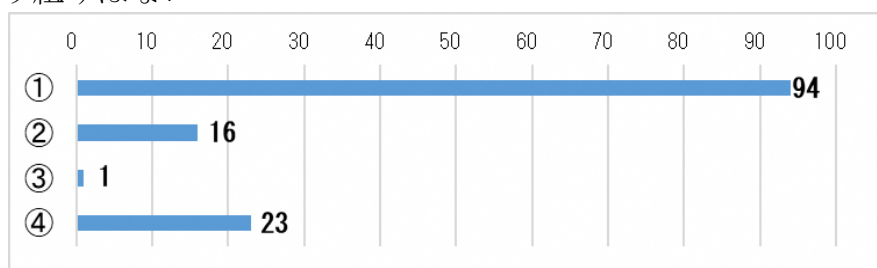
市民によるまちづくり活動が活発であると感じている市民の割合（「感じている」「やや感じている」の合計）は、30.7%となりました。「どちらともいえない」が 42.0%で最も高く、次いで「やや感じている」が 27.7%と続いています。

【問 33 で①「感じている」または②「やや感じている」を選択した方におたずねします。】

問 33-1. 問 33 を選択した決め手となった枚方市の取り組みはありますか。（主なもの 1 つ）

- ① 市が実施する事業等への参加や検診等の受診に対しポイントを付与し、市内協力店などで利用できる「ひらかたポイント制度」を運用。
- ② 自治会館の建設等助成制度を創設。（土地賃借 1 件：240 千円、改修 6 件 9,756 円、耐震改修 3 件：3,000 千円の助成を実施）
- ③ 枚方市の取り組み以外
- ④ 決め手となった取り組みはない

選択項目	回答数
①	94
②	16
③	1
④	23
合計	134



【問 33 で④「あまり感じていない」または⑤「感じていない」を選択した方におたずねします。】

問 33-2. 選択した理由などがあれば、お聞かせください。

●主な理由（自由記述）

- ・まちづくり活動そのものがわからない、知らない
- ・自治会加入率の減少など、自治会や地域の活動が少なくなっている

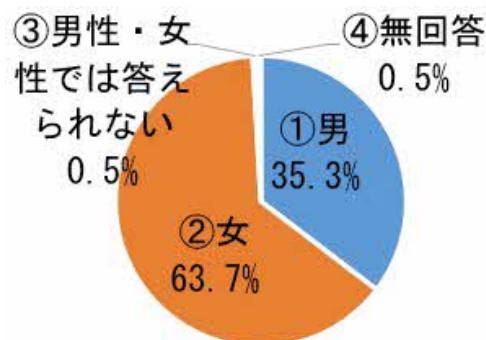
《あなたご自身のことについて、あてはまる番号を選んでください。》

問 34. 性別について

選択項目	回答数	割合
①男	154	35.3%
②女	278	63.7%
③男性・女性では答えられない	2	0.5%
④無回答	2	0.5%
合計	436	

【考察】

性別は、「女性」が 63.7%、「男性」が 35.3%となっています。

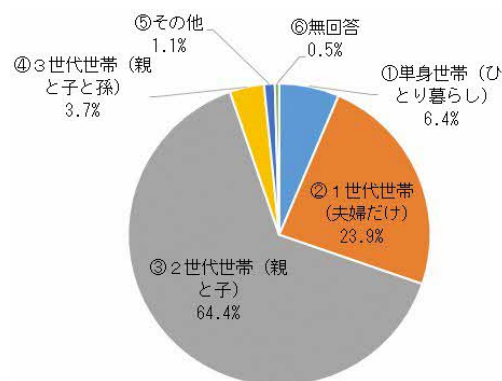


問 35. 同居されている家族の構成

選択項目	回答数	割合
①単身世帯（ひとり暮らし）	28	6.4%
②1世代世帯（夫婦だけ）	104	23.9%
③2世代世帯（親と子）	281	64.4%
④3世代世帯（親と子と孫）	16	3.7%
⑤その他	5	1.1%
⑥無回答	2	0.5%
合計	436	

【考察】

同居されている家族の構成では、「2世代世帯（親と子）」が 64.4%で最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」が 23.9%と続いています。

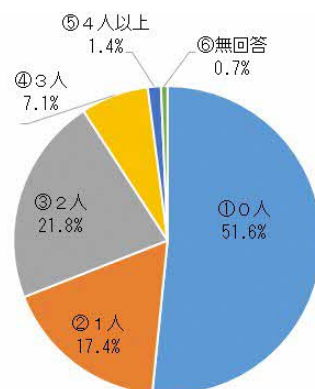


問 36. 18歳未満の子どもの人数

選択項目	回答数	割合
①0人	225	51.6%
②1人	76	17.4%
③2人	95	21.8%
④3人	31	7.1%
⑤4人以上	6	1.4%
⑥無回答	3	0.7%
合計	436	

【考察】

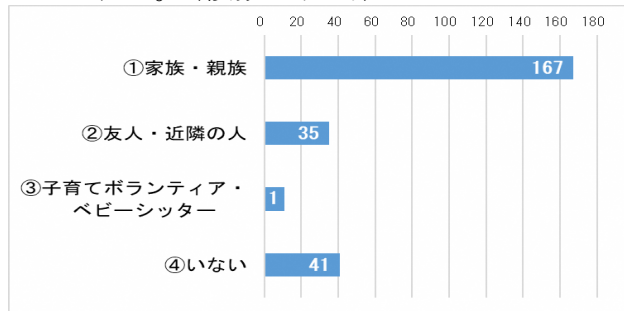
18歳未満の子どもの人数では、「0人」が 51.6%で最も高く、次いで「2人」が 21.8%と続いています。



【問 36 で 1 人以上を選択した方におたずねします。】

問 37. 子育てを気軽にお願いできる人がいますか。(複数選択可)

選択項目	回答数
①家族・親族	167
②友人・近隣の人	35
③子育てボランティア・ベビーシッター	11
④いない	41
合計	254

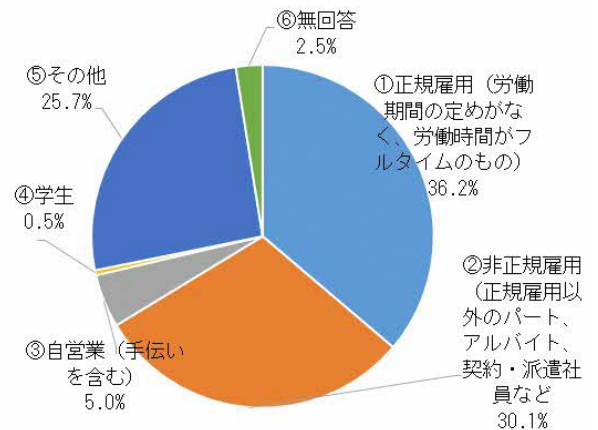


【考察】

子育てを気軽にお願いできる人がいますかでは、「家族・親族」の回答が 167 で最も多く、次いで「いない」の回答が 41 と続いています。

問 38. 就業状況

選択項目	回答数	割合
①正規雇用（労働期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）	158	36.2%
②非正規雇用（正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員など）	131	30.1%
③自営業（手伝いを含む）	22	5.0%
④学生	2	0.5%
⑤その他	112	25.7%
⑥無回答	11	2.5%
合計	436	

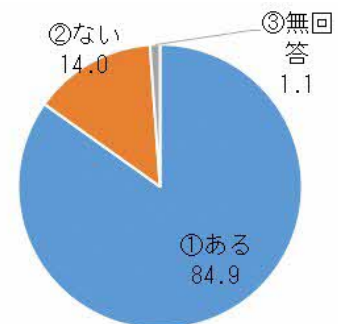


【考察】

就業状況では、「正規雇用（労働期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）」が 36.2%で最も高く、次いで「非正規雇用（正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員など）」が 30.1%と続いています。

問 39. 趣味やいきがい

選択項目	回答数	割合
①ある	370	84.9
②ない	61	14.0
③無回答	5	1.1
合計	436	

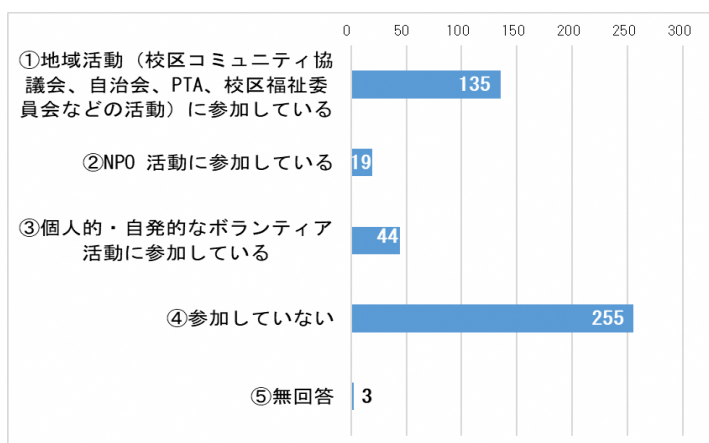


【考察】

趣味やいきがいでは、「ある」が 84.9%で、次いで「ない」が 14.0%となっています。

問 40. まちづくりの活動への参加状況（複数選択可）

選択項目	回答数
①地域活動（校区コミュニティ協議会、自治会、PTA、校区福祉委員会などの活動）に参加している	135
②NPO 活動に参加している	19
③個人的・自発的なボランティア活動に参加している	44
④参加していない	255
⑤無回答	3
合計（複数回答可）	456

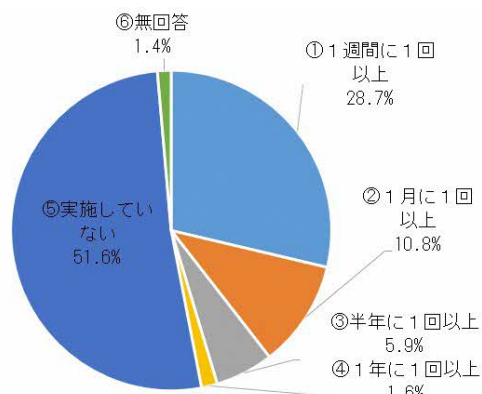


【考察】

まちづくりの活動への参加状況では、「参加していない」の回答が 255 で最も多く、次いで「地域活動（校区コミュニティ協議会、自治会、PTA、校区福祉委員会などの活動）に参加している」の回答が 135 と続いています。

問 41. スポーツをどのくらい実施していますか。

選択項目	回答数	割合
① 1 週間に 1 回以上	125	28.7%
② 1 月に 1 回以上	47	10.8%
③半年に 1 回以上	26	5.9%
④ 1 年に 1 回以上	7	1.6%
⑤実施していない	225	51.6%
⑥無回答	6	1.4%
合計	436	

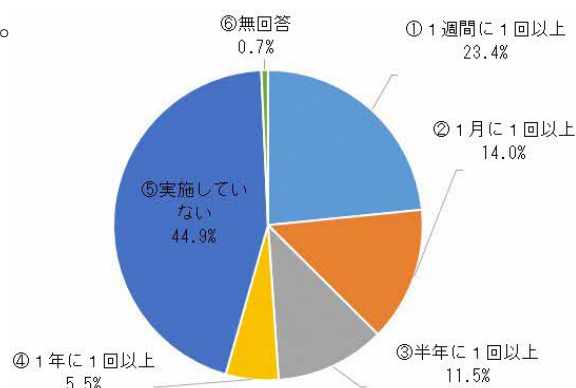


【考察】

スポーツの活動状況では、「実施していない」が 51.6%で最も高く、次いで「1 週間に 1 回以上」が 28.7%と続いています。

問 42. スポーツをどのくらい鑑賞していますか。

選択項目	回答数	割合
① 1 週間に 1 回以上	102	23.4%
② 1 月に 1 回以上	61	14.0%
③半年に 1 回以上	50	11.5%
④ 1 年に 1 回以上	24	5.5%
⑤実施していない	196	44.9%
⑥無回答	3	0.7%
合計	436	



【考察】

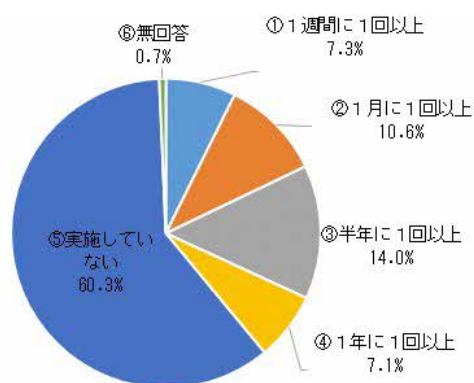
スポーツの鑑賞状況では、「実施していない」が 44.9%で最も高く、次いで「1 週間に 1 回以上」が 23.4%と続いています。

問 43. 文化芸術の活動をどのくらい実施していますか。

選択項目	回答数	割合
① 1週間に1回以上	32	7.3%
② 1月に1回以上	46	10.6%
③ 半年に1回以上	61	14.0%
④ 1年に1回以上	31	7.1%
⑤ 実施していない	263	60.3%
⑥ 無回答	3	0.7%
合計	436	

【考察】

文化芸術の活動状況では、「実施していない」が 60.3%で最も高く、次いで「半年に1回以上」が 14.0%と続いています。

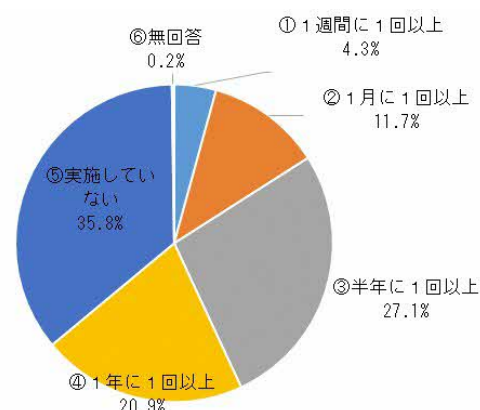


問 44. 文化芸術をどのくらい鑑賞していますか。

選択項目	回答数	割合
① 1週間に1回以上	19	4.3%
② 1月に1回以上	51	11.7%
③ 半年に1回以上	118	27.1%
④ 1年に1回以上	91	20.9%
⑤ 実施していない	156	35.8%
⑥ 無回答	1	0.2%
合計	436	

【考察】

文化芸術の鑑賞状況では、「実施していない」が 35.8%で最も高く、次いで「半年に1回以上」が 27.1%と続いています。

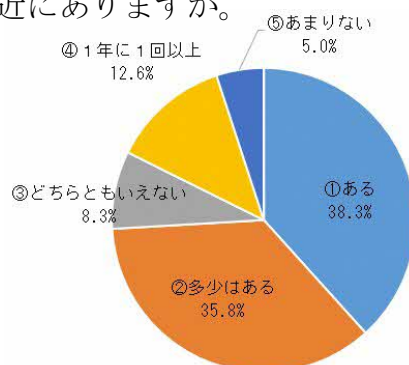


問 45. 「みどり」とふれあえる公園や緑道などが身近にありますか。

選択項目	回答数	割合
① ある	167	38.3%
② 多少はある	156	35.8%
③ どちらともいえない	36	8.3%
④ あまりない	55	12.6%
⑤ ない	22	5.0%
合計	436	

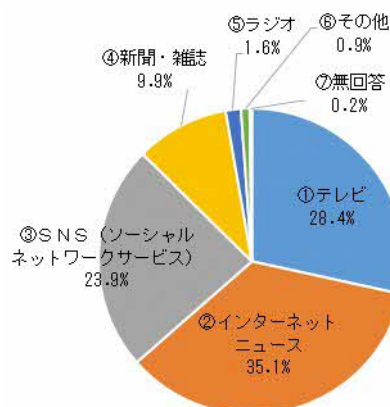
【考察】

「みどり」とふれあえる環境では、「ある」が 38.3%で最も高く、次いで「多少はある」が 35.8%と続いています。



問 46. 主にどのメディアから情報を得ていますか。(主なものを1つ)

選択項目	回答数	割合
①テレビ	124	28.4%
②インターネットニュース	153	35.1%
③SNS（ソーシャルネットワークサービス）	104	23.9%
④新聞・雑誌	43	9.9%
⑤ラジオ	7	1.6%
⑥その他	4	0.9%
⑦無回答	1	0.2%
合計	436	



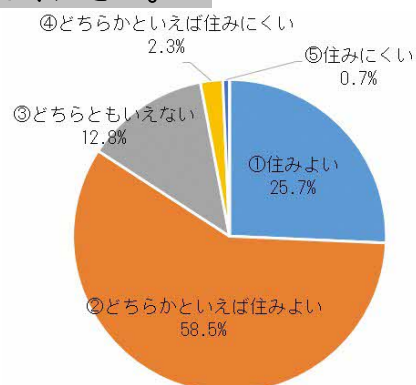
【考察】

主にどのメディアから情報を得ていますかでは、「インターネットニュース」が 35.1%で最も高く、次いで「テレビ」が 28.4%と続いています。

《枚方市の印象などについて、あてはまる番号を選んでください。》

問 47. 枚方市を住みよいまちだと思われませんか。

選択項目	回答数	割合
①住みよい	112	25.7%
②どちらかといえば住みよい	255	58.5%
③どちらともいえない	56	12.8%
④どちらかといえば住みにくい	10	2.3%
⑤住みにくい	3	0.7%
合計	436	

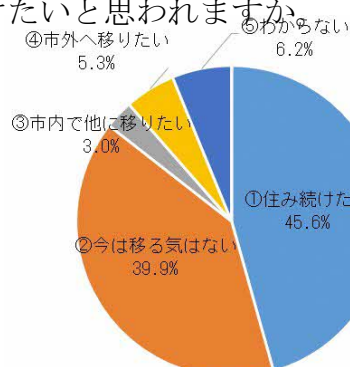


【考察】

住みよさでは、「どちらかといえば住みよい」が 58.5%で最も高く、次いで「住みよい」が 25.7%と続いています。

問 48. 現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思われませんか。

選択項目	回答数	割合
①住み続けたい	199	45.6%
②今は移る気はない	174	39.9%
③市内で他に移りたい	13	3.0%
④市外へ移りたい	23	5.3%
⑤わからない	27	6.2%
合計	436	



【考察】

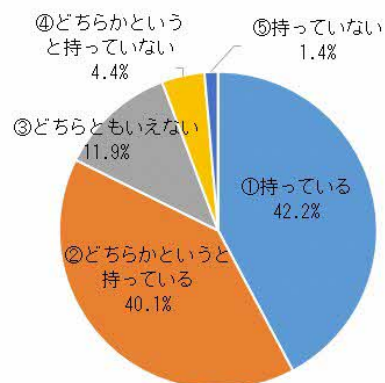
定住意向では、「住み続けたい」が 45.6%で最も高く、次いで「今は移る気はない」が 39.9%と続いています。

問 49. 枚方市に愛着をお持ちですか。

選択項目	回答数	割合
①持っている	184	42.2%
②どちらかというを持っている	175	40.1%
③どちらともいえない	52	11.9%
④どちらかというを持っていない	19	4.4%
⑤持っていない	6	1.4%
合計	436	

【考察】

愛着では、「持っている」が 42.2%で最も高く、次いで「どちらかというを持っている」が 40.1%と続いています。

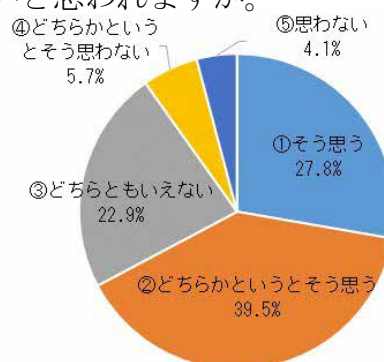


問 50. 枚方市が住みよいと友人・知人におすすめしたいと思われませんか。

選択項目	回答数	割合
①そう思う	121	27.8%
②どちらかというと思う	172	39.5%
③どちらともいえない	100	22.9%
④どちらかというと思わない	25	5.7%
⑤思わない	18	4.1%
合計	436	

【考察】

枚方市の住みよさを友人・知人におすすめしたいでは、「どちらかというと思う」が 39.5%で最も高く、次いで「そう思う」が 27.8%と続いています。

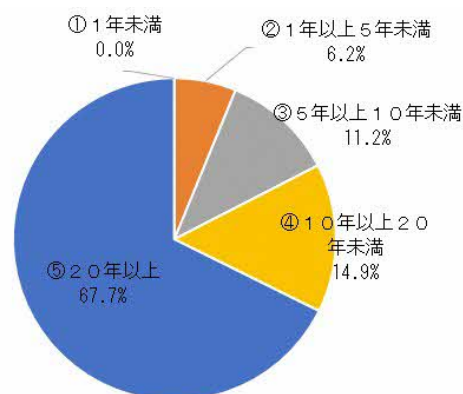


問 51. 枚方市での居住年数

選択項目	回答数	割合
①1年未満	0	0.0%
②1年以上5年未満	27	6.2%
③5年以上10年未満	49	11.2%
④10年以上20年未満	65	14.9%
⑤20年以上	295	67.7%
合計	436	

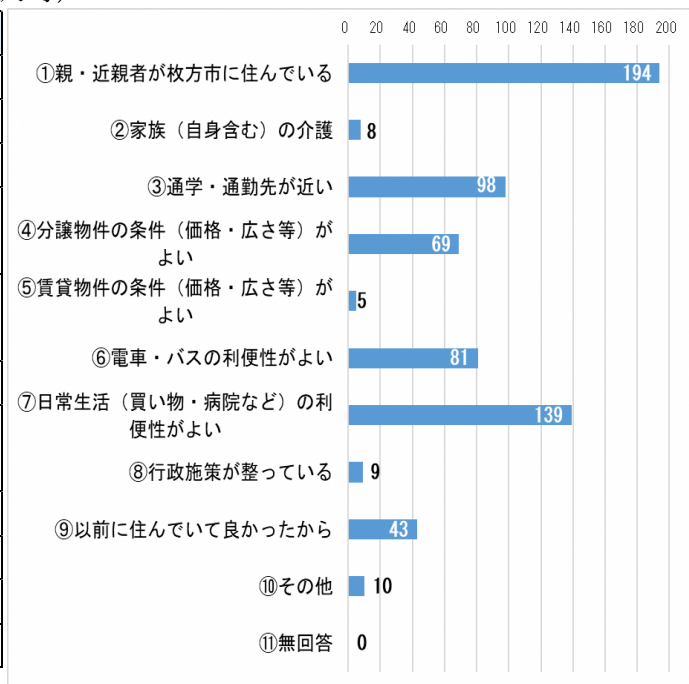
【考察】

枚方市での居住年数では、「20年以上」が 67.7%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」が 14.9%と続いています。



問 52. 枚方市にお住まいの理由（2つまで選択可）

選択項目	回答数
①親・近親者が枚方市に住んでいる	194
②家族（自身含む）の介護	8
③通学・通勤先が近い	98
④分譲物件の条件（価格・広さ等）がよい	69
⑤賃貸物件の条件（価格・広さ等）がよい	5
⑥電車・バスの利便性がよい	81
⑦日常生活（買い物・病院など）の利便性がよい	139
⑧行政施策が整っている	9
⑨以前に住んでいて良かったから	43
⑩その他	10
合計（複数回答可）	656



【考察】

枚方市にお住まいの理由では、「親・近親者が枚方市に住んでいる」の回答が 194 で最も多く、次いで「日常生活（買い物・病院など）の利便性がよい」の回答が 139 と続いています。

【まとめ】

枚方市での暮らしやまちに対する率直な意見を数多くいただきました。得られた結果は、今後の市の施策の推進・新たな施策の検討を行うための基礎データとして活用していきたいと考えております。

3. 新しい市役所本庁舎の整備に関するアンケート

枚方市役所本庁舎は、本館を昭和 35 年、別館を昭和 44 年に建設し、建物の老朽化や狭あい化、全国で多発する大規模災害への更なる備えの強化など、様々な課題への対応が必要となっています。

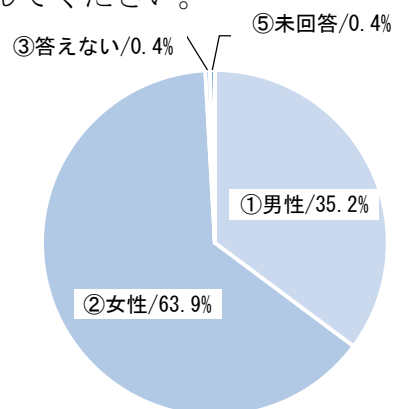
そのため、市では、令和 3 年 3 月に、新しい市役所本庁舎整備の指針として、理念や導入する機能、施設規模などをとりまとめた「枚方市新庁舎整備基本構想」を策定しました。

現在、この基本構想に基づき、新しい市役所本庁舎に導入する機能や規模などの具体的な検討を進めており、令和 7 年度中の「(仮称)枚方市新庁舎整備基本計画」の策定に向けて取り組んでいます。

本アンケートは、基本計画の策定に当たり、市民の皆様のご意見をお伺いし、今後の検討に活かしていくことを目的に実施したものです。

問 1. あなた自身のことについて、あてはまる番号を選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合 (n=449)
① 男性	158	35.2%
② 女性	287	63.9%
③ 答えない	2	0.4%
④ 男性・女性では答えられない	0	0.0%
⑤ 未回答	2	0.4%
合計	449	

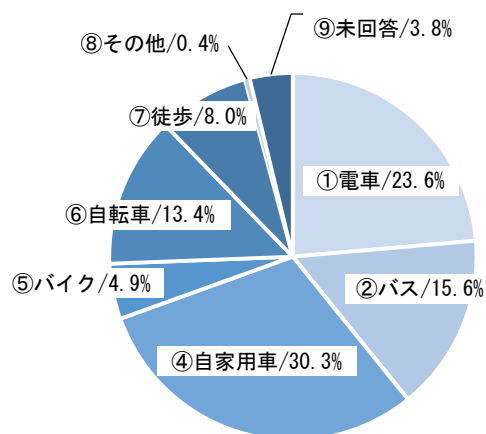


【考察】

「男性」が 35.2%、「女性」63.9%、「答えない」が 0.4%でした。

問 2-1. 現在の市役所本庁舎に訪れる場合の主な交通手段について、あてはまる番号を選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合 (n=449)
① 電車	106	23.6%
② バス	70	15.6%
③ タクシー	0	0.0%
④ 自家用車	136	30.3%
⑤ バイク	22	4.9%
⑥ 自転車	60	13.4%
⑦ 徒歩	36	8.0%
⑧ その他	2	0.4%
⑨ 未回答※	17	3.8%
合計	449	



【考察】

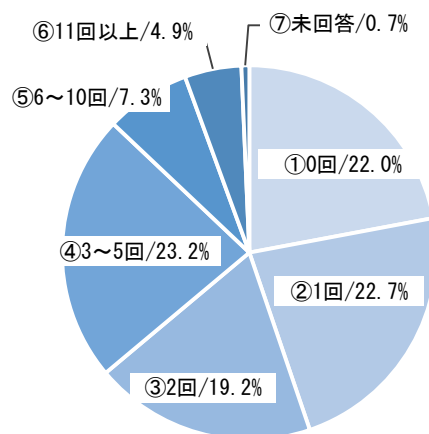
「自家用車」が 30.3%で、次いで「電車」が 23.6%、「バス」が 15.6%でした。

「その他」では、「天候や季節によって主な交通手段を使い分けている」という回答がありました。

※ なお、複数選択された回答については集計上、主な交通手段として特定できないため、未回答に含んでいます。

問 2-2. 過去 1 年間に、現在の市役所本庁舎を訪れた回数について、あてはまる番号を選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合 (n=449)
① 0 回	99	22.0%
② 1 回	102	22.7%
③ 2 回	86	19.2%
④ 3～5 回	104	23.2%
⑤ 6～10 回	33	7.3%
⑥ 11 回以上	22	4.9%
⑦ 未回答	3	0.7%
合計	449	



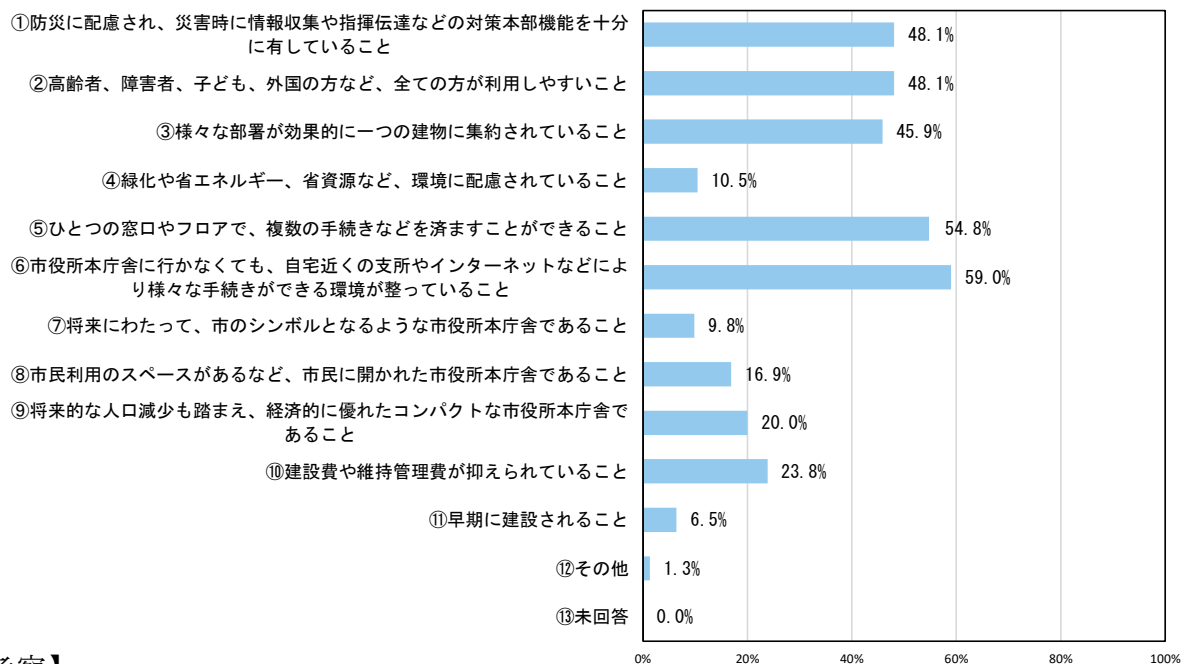
【考察】

「6 回以上」の訪問は少なく、過半数が「2 回以内」という結果でした。

問 3. 新しい市役所本庁舎整備で優先すべきこととして、あなたの考えに近いものについて、あてはまる番号を 4 つ以内で選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合※ (n=449)
① 防災に配慮され、災害時に情報収集や指揮伝達などの対策本部機能を十分に有していること	216	48.1%
② 高齢者、障害者、子ども、外国の方など、全ての方が利用しやすいこと	216	48.1%
③ 様々な部署が効果的に一つの建物に集約されていること	206	45.9%
④ 緑化や省エネルギー、省資源など、環境に配慮されていること	47	10.5%
⑤ ひとつの窓口やフロアで、複数の手続きなどを済ませることができること	246	54.8%
⑥ 市役所本庁舎に行かなくても、自宅近くの支所やインターネットなどにより様々な手続きができる環境が整っていること	265	59.0%
⑦ 将来にわたって、市のシンボルとなるような市役所本庁舎であること	44	9.8%
⑧ 市民利用のスペースがあるなど、市民に開かれた市役所本庁舎であること	76	16.9%
⑨ 将来的な人口減少も踏まえ、経済的に優れたコンパクトな市役所本庁舎であること	90	20.0%
⑩ 建設費や維持管理費が抑えられていること	107	23.8%
⑪ 早期に建設されること	29	6.5%
⑫ その他	6	1.3%
⑬ 未回答	0	0.0%
合計	1,548	

※ 割合は回答者数（449 人）を基数としているため、合計は 100%にはなりません。



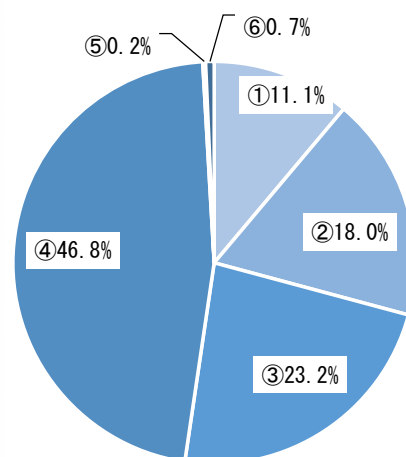
【考察】

「市役所本庁舎に行かなくても手続きができる環境の整備」が 59.0%で、次いで「ひとつの窓口やフロアで複数の手続きを済ませることができる」が 54.8%、「防災への配慮・対策本部機能を十分に有していること」と「全ての方が利用しやすいこと」がそれぞれ 48.1%でした。「その他」では、「利用しやすい駐車場の整備」などの回答がありました。

問 4. デジタル技術の進展により、今後ますます、インターネットを通じた「行政手続き」（各種申請など）が可能となることが想定される中、あなたの考えに近いものについて、あてはまる番号を 1 つ選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合 (n=449)
① 技術的に可能であっても、市役所本庁舎で、市職員と対面で必要な行政手続きを完了したい	50	11.1%
② 自宅近くの支所や枚方市駅直結の市民窓口で、必要な行政手続きを完了したい	81	18.0%
③ パソコンやスマートフォンなどによりインターネットを通じて、市役所本庁舎や支所などに行かずに行政手続きを完了したい	104	23.2%
④ パソコンやスマートフォンなどによりインターネットを通じて、市役所本庁舎や支所などに行かずに行政手続きを完了したいが、分からないときの問い合わせ窓口(電話やビデオ通話、チャット対応など)が必要	210	46.8%
⑤ その他	1	0.2%
⑥ 未回答	3	0.7%
合計	449	

- ① 技術的に可能であっても、市役所本庁舎で、市職員と対面で必要な行政手続きを完了したい
- ② 自宅近くの支所や枚方市駅直結の市民窓口で、必要な行政手続きを完了したい
- ③ パソコンやスマートフォンなどによりインターネットを通じて、市役所本庁舎や支所などに行かずに行政手続きを完了したい
- ④ パソコンやスマートフォンなどによりインターネットを通じて、市役所本庁舎や支所などに行かずに行政手続きを完了したいが、分からないときの問い合わせ窓口(電話やビデオ通話、チャット対応など)が必要
- ⑤ その他
- ⑥ 未回答



【考察】

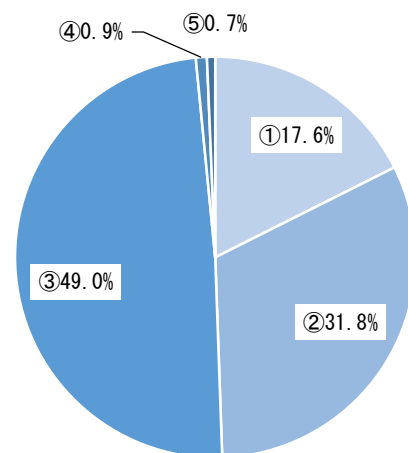
「パソコンやスマートフォンなどによりインターネットを通じて、市役所本庁舎や支所などに行かずに行政手続きを完了したい」割合は、問い合わせ窓口機能も必要との回答を含めて合計 70.0%で、「自宅近くの支所や枚方市駅直結の市民窓口で、必要な手続きをしたい」が 18.0%、「技術的に可能でも本庁舎で対面の窓口での手続きをしたい」が 11.1%でした。

「その他」では、「インターネットを通じて手続きを完了したいが、対面での対応が必要な内容もあるため、現在の本庁舎や支所の体制は可能な限り維持継続して欲しい」という意見がありました。

問 5. デジタル技術の進展により、今後ますます、インターネットを通じた「各種相談」(福祉や子育ての相談など)が可能となることが想定される中、あなたの考えに近いものについて、あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合 (n=449)
① 技術的に可能であっても、市役所本庁舎で、市職員と対面で相談をしたい	79	17.6%
② 自宅近くの支所や枚方市駅直結の市民窓口で、必要な相談をしたい	143	31.8%
③ パソコンやスマートフォンなどによりインターネットを通じて、市役所本庁舎や支所などに行かずにビデオ通話、チャットなどのオンラインで相談をしたい	220	49.0%
④ その他	4	0.9%
⑤ 未回答	3	0.7%
合計	449	

- ① 技術的に可能であっても、市役所本庁舎で、市職員と対面で相談をしたい
- ② 自宅近くの支所や枚方市駅直結の市民窓口で、必要な相談をしたい
- ③ パソコンやスマートフォンなどによりインターネットを通じて、市役所本庁舎や支所などに行かずにビデオ通話、チャットなどのオンラインで相談をしたい
- ④ その他
- ⑤ 未回答



【考察】

「インターネットを通じて相談したい」が 49.0%で、次いで「自宅近くの支所や枚方市駅直結の市民窓口で相談をしたい」が 31.8%、「技術的に可能でも、本庁舎で対面で相談をしたい」が 17.6%でした。

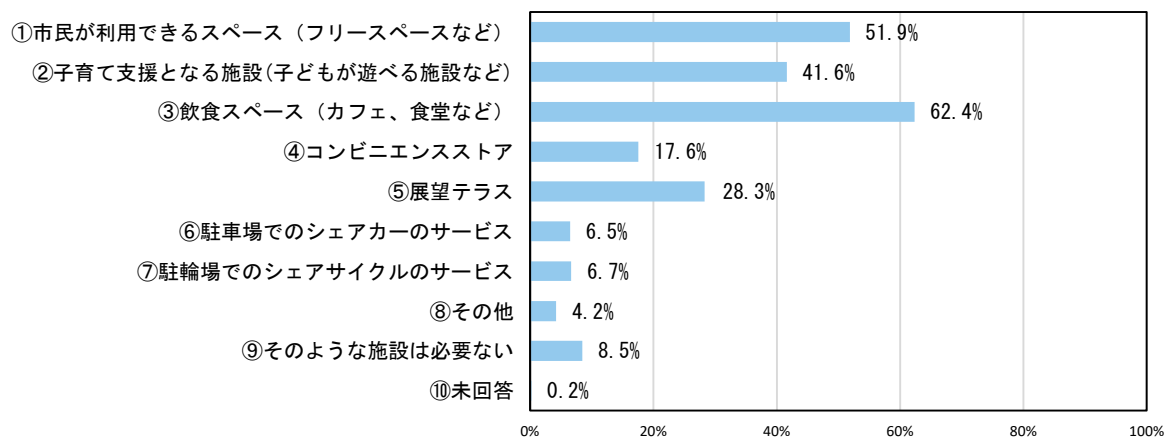
「その他」では、「他市役所でも手続き等が出来るようにしてほしい」などの回答がありました。

問 6. 新しい市役所本庁舎には、市役所に用事がなくても、利用したいと思ってもらえるような「付帯施設」の導入を検討しています。

そこで、以下のうち、新しい市役所本庁舎にあれば利用したいと思うものについて、あてはまる番号を3つ以内で選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合※ (n=449)
① 市民が利用できるスペース（フリースペースなど）	233	51.9%
② 子育て支援となる施設(子どもが遊べる施設など)	187	41.6%
③ 飲食スペース（カフェ、食堂など）	280	62.4%
④ コンビニエンスストア	79	17.6%
⑤ 展望テラス	127	28.3%
⑥ 駐車場でのシェアカーのサービス	29	6.5%
⑦ 駐輪場でのシェアサイクルのサービス	30	6.7%
⑧ その他	19	4.2%
⑨ そのような施設は必要ない	38	8.5%
⑩ 未回答	1	0.2%
合計	1,023	

※ 割合は回答者数（449 人）を基数としているため、合計は 100%にはなりません。



【考察】

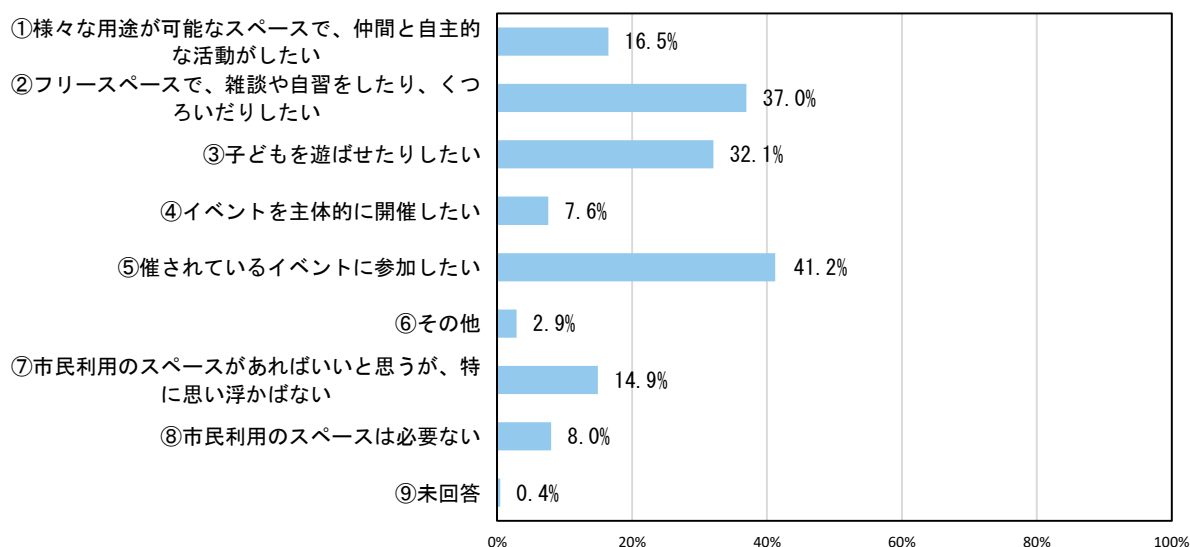
「飲食スペース」が 62.4%で、次いで「市民が利用できるスペース」が 51.9%、「子育て支援となる施設」が 41.6%でした。

「その他」では、「自習や会議等で活用できるスペース」、「図書館」などの回答がありました。

問 7. 市民が利用できるスペースをつくるとすれば、そのスペースで何がしたいですか。
あてはまる番号を 2 つ以内で選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合※ (n=449)
① 様々な用途が可能なスペースで、仲間と自主的な活動がしたい	74	16.5%
② フリースペースで、雑談や自習をしたり、くつろいだりしたい	166	37.0%
③ 子どもを遊ばせたりしたい	144	32.1%
④ イベントを主体的に開催したい	34	7.6%
⑤ 催されているイベントに参加したい	185	41.2%
⑥ その他	13	2.9%
⑦ 市民利用のスペースがあればいいと思うが、特に思い浮かばない	67	14.9%
⑧ 市民利用のスペースは必要ない	36	8.0%
⑨ 未回答	2	0.4%
合計	721	

※ 割合は回答者数（449 人）を基数としているため、合計は 100%にはなりません。



【考察】

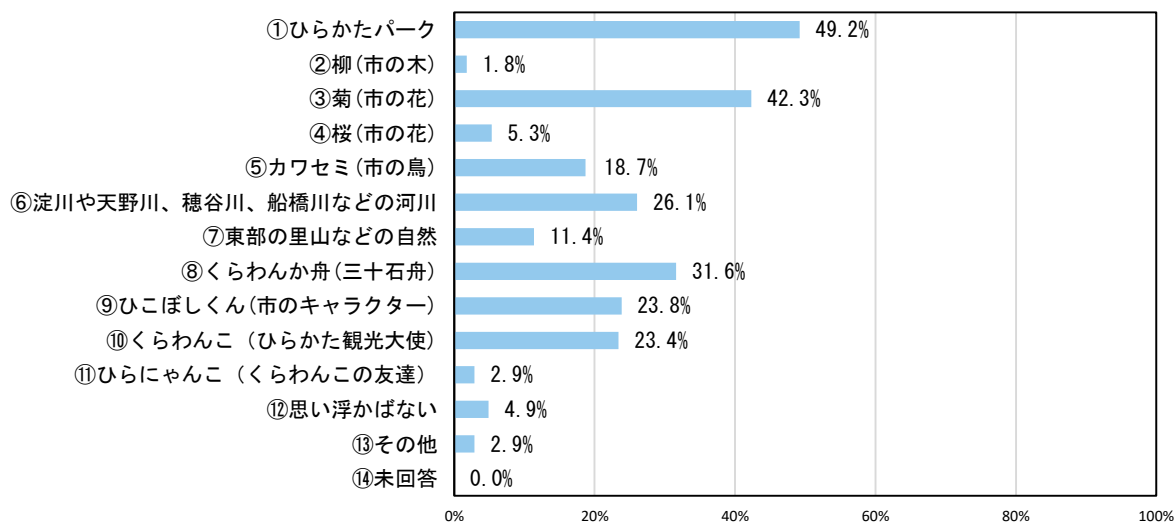
「催されているイベントに参加したい」が 41.2%で、次いで「フリースペースで、雑談や自習をしたり、くつろいだりしたい」が 37.0%、「子どもを遊ばせたりしたい」が 32.1%でした。

「その他」では、「コワーキングスペース」や、「バザーが出来るスペース」、「子ども食堂」などの回答がありました。

問 8. 新しい市役所本庁舎は、市民に広く親しまれる施設にしたいと考えており、外観や内装などにおいても周辺と調和し、「枚方らしさ」が感じられるデザインを検討しています。そこで、以下のうち「枚方らしさ」から連想できるものについて、あてはまる番号を3つ以内で選んでください。

選択項目	回答数 (件)	割合※ (n=449)
① ひらかたパーク	221	49.2%
② 柳(市の木)	8	1.8%
③ 菊(市の花)	190	42.3%
④ 桜(市の花)	24	5.3%
⑤ カワセミ(市の鳥)	84	18.7%
⑥ 淀川や天野川、穂谷川、船橋川などの河川	117	26.1%
⑦ 東部の里山などの自然	51	11.4%
⑧ くらわんか舟(三十石舟)	142	31.6%
⑨ ひこぼしくん(市のキャラクター)	107	23.8%
⑩ くらわんこ(ひらかた観光大使)	105	23.4%
⑪ ひらにゃんこ(くらわんこの友達)	13	2.9%
⑫ 思い浮かばない	22	4.9%
⑬ その他	13	2.9%
⑭ 未回答	0	0.0%
合計	1,097	

※ 割合は回答者数（449 人）を基数としているため、合計は 100%にはなりません。



【考察】

「ひらかたパーク」が 49.2%で、次いで「菊(市の花)」が 42.3%、「くらわんか舟(三十石舟)」が 31.6%でした。

「その他」では、「ティアモ枚方などのスポーツチーム」や、「枚方の自然」などの回答があった一方で、「枚方らしさにこだわる必要がない」との回答もありました。

問 9. 新しい市役所本庁舎に関する自由なご意見やご提案をお聞かせください。

【主なご意見・ご提案】

〈防災機能について〉

- ・大規模災害時にも、防災拠点機能が発揮できる庁舎にしてほしい。

〈窓口機能について〉

- ・できる限り 1 つのフロアや窓口で手続きが完了するなど、子どもやお年寄りが移動しなくて良いような窓口にしてほしい。
- ・自宅などからインターネットにより、手続きできるようにしてほしい。
- ・インターネットによる手続きと対面による対応など、複数の窓口機能がほしい。
- ・予約制や手続きの簡略化などにより、待ち時間が少ない窓口にしてほしい。

〈執務機能について〉

- ・職員が効率よく業務ができるようにしてほしい。

〈交流機能について〉

- ・幅広く市民が使えるロビーや会議室、雑談ができるフリースペースなどがほしい。

〈環境機能について〉

- ・再生可能エネルギーの活用や緑化など環境に配慮した庁舎にしてほしい。
- ・環境に配慮出来るところは、最大限に考慮してほしい。

〈付帯機能について〉

- ・乳幼児が安心して遊べる遊戯施設がほしい。
- ・子どもが室内で遊べるところや、ママさんたちが交流できるカフェなどがほしい。
- ・市民の憩いの場として気軽に立ち寄れるような展望フロア・テラスがほしい。

〈共通機能について〉

- ・市民が利用しやすい様な明るく、あたたかく、優しい雰囲気にしてほしい。
- ・分かりやすい案内サインの設置などをしてほしい。

〈交通機能について〉

- ・駐車場スペースを十分に確保し、駐車しやすい・近隣道路からの動線の検討も含めて、利用しやすくしてほしい。
- ・バス停の配置や障害者が安心して歩ける歩道整備など、アクセスしやすい環境にしてほしい。

〈特有機能について〉

- ・デザインを重視して、枚方市のシンボルとなるような庁舎にしてほしい。
- ・シンプルで無駄を省いた外観や内装にしてほしい。

〈その他〉

- ・機能性を重視して、コンパクトで、維持管理費を含めてコストを抑えた庁舎にしてほしい。
- ・現市役所本庁舎の場所など、駅から近い位置に建設してほしい。
- ・早期に建設してほしい。

問 10. 現在の市役所本庁舎に関する自由なご意見やご提案をお聞かせください。

【主なご意見・ご提案】

〈防災機能について〉

- ・老朽化が著しく、耐震の面で不安が大きいと、災害に強い建物への建て替えがのぞましい。
- ・駅から近くて利便性は良いが古すぎて耐震性が不安。
- ・よくぞここまで持ったなと言うのが感想。早々の建て替えしないと震災時が気になる。

〈窓口機能について〉

- ・行きたい課までの導線が分かりにくいのもっと分かりやすくしてほしい。
- ・色々な手続きが場所を変えて行わなければいけないので不便。一つの窓口で完了するのなら年配の人でも便利に使えると思う。

〈執務機能について〉

- ・事務スペースの中に（パンフレットや冊子等が入った）段ボールがあったり、昼食時は席で弁当を食べていたり、来庁者の視覚に入る状態。
- ・古いだけでなく今の庁舎は IT などの設備に全く適用できてなく職員の方も働きにくいだろうなと思う。市民だけでなく働く職員の方にとっても居心地の良い設備にしてほしい。

〈環境機能について〉

- ・間取りや人口密度の問題なのかもしれないが、少し換気が良くない気がする。

〈共通機能について〉

- ・とにかくエレベーターのまちが長いのが不便。
- ・廊下が狭く、ベビーカーなどで行くととても気を遣います。
- ・待合スペースのパイプ椅子では、ユニバーサルデザインにはほど遠く、座るのが厳しい。
- ・授乳室やオムツ替えスペースなどに不便を感じた。

〈交通機能について〉

- ・駐車場がいつも混んでいるイメージ。
- ・駐車場が狭い。とめにくい。

【まとめ】

新庁舎整備にあたって優先すべきこととしては、「市役所本庁舎に行かなくても手続きができる環境整備」が最も多く、デジタル技術の進展を踏まえた考えとしては、行政手続きや各種相談においてもオンラインや支所などで行いたいという傾向が見受けられました。

市役所本庁舎にあれば利用したいと思う付帯機能については、カフェや食堂などの飲食スペース、市民が利用できるフリースペース、子どもが遊べるような子育て支援となる施設を求めている傾向がありました。

また、枚方らしさから連想するものとしては、ひらかたパーク、市の花である菊を多く選択されている結果となりました。

新庁舎整備基本計画の策定に当たっては、今回協力いただいたアンケートをはじめ市民の皆様からのご意見など踏まえて、今後の検討に活かしていきます。

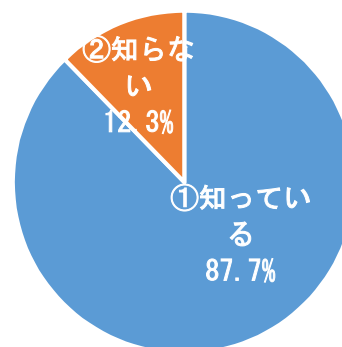
4. 枚方市の文化芸術に関するアンケート

本市では、枚方市文化芸術振興条例、枚方市文化芸術振興計画に基づき、教育委員会との連携による「中学校オーケストラ鑑賞事業」や、小学校にアーティストが出向いて実演する「アウトリーチ事業」など子ども達が文化芸術に親しむ機会の創出や、一般市民向けの音楽、演劇、古典芸能などの公演やワークショップ、ギャラリー展示会などを開催しています。

市民の皆様が本市の文化芸術についてどう感じているかを知り、今後の施策に活かしていきたいと考え、アンケートを実施したものです

問 1. 枚方市の文化芸術の拠点施設として 2021 年 8 月に開館した枚方市総合文化芸術センターを知っていますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①知っている	377	87.7
②知らない	53	12.3
合計	430	

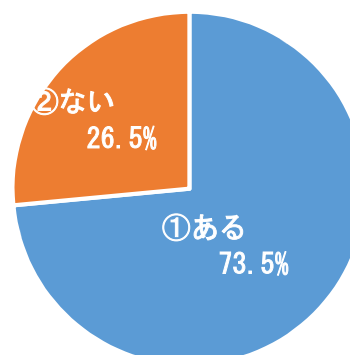


【要約・考察】

約 87%の方から枚方市総合文化芸術センターを「知っている」との回答を得ました。

問 2. 問 1 で「知っている」と回答した方に質問です。総合文化芸術センターに行ったことがありますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①ある	277	73.5
②ない	100	26.5
合計	377	

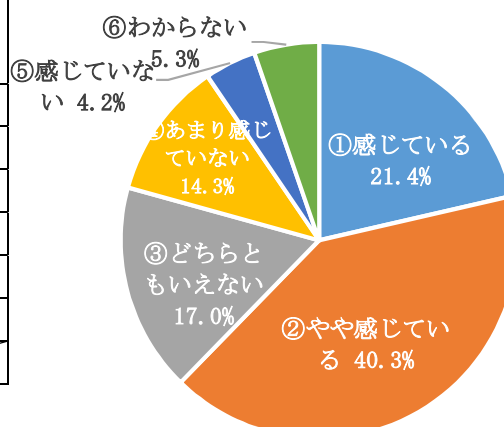


【要約・考察】

枚方市総合文化芸術センターを「知っている」方のうち、約 73%の方が「行ったことがある」との回答を得ました。

問 3. 枚方市では、文化芸術に親しめる環境が整っていると感じていますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①感じている	92	21.4
②やや感じている	176	40.9
③どちらともいえない	73	17.0
④あまり感じていない	48	11.2
⑤感じていない	18	4.2
⑥わからない	23	5.3
合計	430	



【要約・考察】

「感じている」、「やや感じている」の合計は全体の約 62%と半数を超えており、「感じていない」、「あまり感じていない」の合計の約 15%を大きく上回っています。

問 4. 枚方市のこれからの文化芸術施策に関して、ご意見があればご自由にご記入ください。

＜いただいたご意見＞

- ・感受性が豊かな子ども達に生の音楽や観劇などに触れる機会を沢山与えてほしいです。
- ・あらゆる年代（幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、社会人、主婦、定年退職以後の年代、ご老人）が文化芸術に接することができるよう計画してもらいたい。
- ・旧大ホールがなくなり、この新しいセンターができたことは大変意味があることだと思う。以前より施設の数や用途も多く、プロから一般の方まで様々なイベントがあり、枚方市民はもちろん枚方市駅へ足を運びやすい方にも大いに有意義であると思う。
- ・総合文化芸術センターのイベント（大きいものから小さいものまで）を知る手段が1つにまとまっていれば嬉しいです。
- ・もっと気軽に行けるイベントがあってもいいと思います。総合文化芸術センターでも市民がチケットを購入する時は、割引して欲しいです。
- ・芸術センターに集約するよりそれぞれの市民センターで文化芸術のイベントを増やしてもらえたら参加しやすいです。

主に枚方市総合文化芸術センターが行うイベントの内容（子ども向けや幅広い分野のイベントの開催、市民優待イベント希望）や情報発信方法の改善についてのご意見を多くいただき、今後の枚方の文化施策の方向性についても様々なご意見をいただきました。

【まとめ】

本アンケートは市民の皆様が本市の文化芸術についてどう感じているかを知り、今後の施策に活かすため、実施させていただきました。

結果については、約87%の方が枚方市総合文化芸術センターを知っていると回答いただき、その内約73%の方が行ったことがあると回答を得ました。また、文化芸術に親しめる環境が整っているかについて「感じている」、「やや感じている」と約62%の方から回答を得ました。これからの文化芸術施策に関してのご意見を参考にさせていただき今後も総合文化芸術センターが市民に愛され、ご利用いただける施設として確立するとともに、本市の文化芸術行政のさらなる推進に取り組んで参ります。

5. 枚方市の自転車活用に関するアンケート

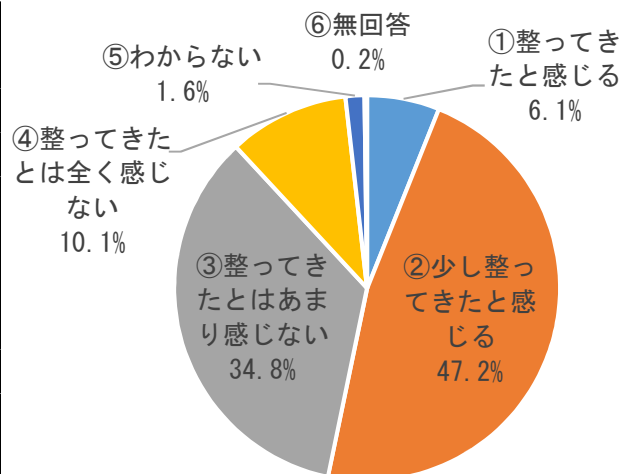
本市では、令和2年3月に「枚方市自転車活用推進計画」を策定し、自転車の通行空間の整備や放置自転車対策、交通事故防止対策と共に、自転車の活用による環境負荷の低減、健康増進、観光魅力の向上、サイクルスポーツの振興を図るために自転車の利用を推進しています。

交通における自動車への依存の度を低減し、自転車の利用を推進していくため、市民の皆様からご意見を頂き、今後の取組みの参考とさせていただきたいと考え、アンケートを実施したものです。

<自転車通行空間の整備について>

問１．年々、自動車事故が減る一方、自転車に起因する事故は微増状態となっています。自転車に関しては特に自転車と歩行者との接触事故が多いことから、歩行空間の安全性向上が求められています。そこで本市では歩行者と自転車を分離し歩行者の安全性を高めるよう自転車の通行空間として青い矢羽根の設置を進めています。そこで、皆さんは人や自転車に優しい都市環境が以前より整ってきたと感じますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①整ってきたと感じる	27	6.1
②少し整ってきたと感じる	210	47.2
③整ってきたとはあまり感じない	155	34.8
④整ってきたとは全く感じない	45	10.1
⑤わからない	7	1.6
⑥無回答	1	0.2
合計	445	



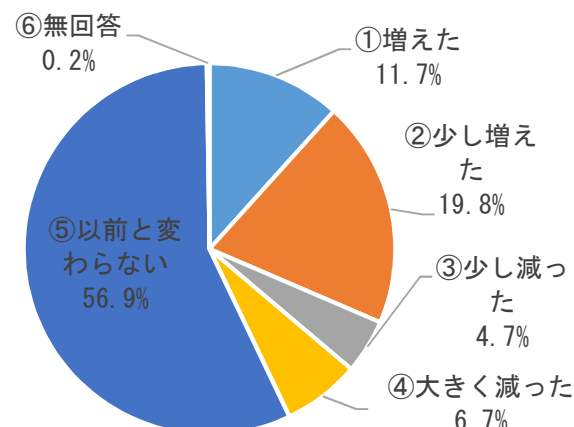
【考察】

本市及び大阪府が計画的に自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備を進めてきたことから、半数の方に実感してもらえた結果になったと考えられます。

<自転車による健康増進について>

問２．自動車の利用を控え自転車を利用することは、環境負荷の低減とともに運動不足解消など健康にも良い効果があります。本市としても自転車は簡単に組み入れる運動として、活用を広く周知していきます。そこで、皆さんは健康のため以前より自転車利用をする機会が増えましたか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①増えた	52	11.7
②少し増えた	88	19.8
③少し減った	21	4.7
④大きく減った	30	6.7
⑤以前と変わらない	253	56.9
⑥無回答	1	0.2
合計	445	



【考察】

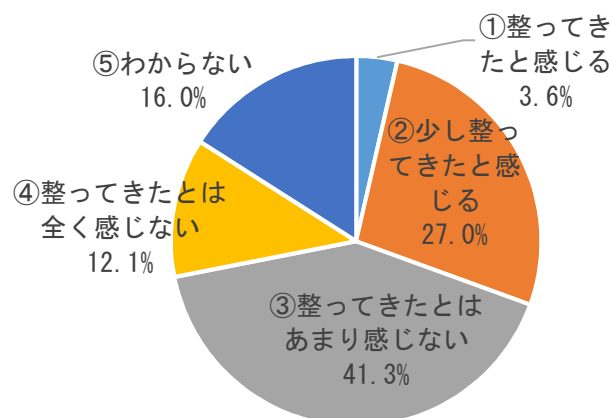
増えたと回答した割合が減ったと回答した割合に比べて約３倍となっており、健康意識が高まっていることがわかりました。しかし、約５７％の方が以前と変わらないと回答しており、引き続き自転車活用による健康増進に関する情報発信に取り組むことも必要と考えられます。

<自転車による地域魅力発見について>

問3. 自転車に乗ることそのものを楽しむ、自転車で地域を巡るなど自転車を活用したまちの活性化や観光資源の発掘など新たな魅力発見を図りたいと考え、シェアサイクルやレンタサイクル、サイクルートの案内など、近隣府市町村、観光、スポーツ関連部署とも連携した取組みを進めています。

そこで、皆さんは街中でサイクリング環境が以前より整ってきたと感じますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①整ってきたと感じる	16	3.6
②少し整ってきたと感じる	120	27.0
③整ってきたとはあまり感じない	184	41.3
④整ってきたとは全く感じない	54	12.1
⑤わからない	71	16.0
合計	445	



【考察】

半数以上の方々がサイクリング環境が整ってきたとは感じておられないことから、サイクリング環境整備の取組み強化が求められる結果となりました。

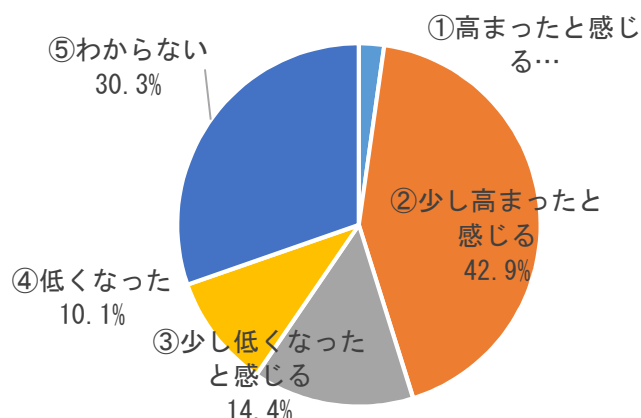
<交通安全について>

問4. 自転車利用者は交通ルールを遵守し、自分自身の安全確保と歩行者への思いやりを持った行動が自転車事故ゼロ社会につながります。

本市でも小中学生を中心に安全教育を進めるとともに、自転車安全利用5則の周知を強めているところです。

そこで、皆さんは自転車利用環境に関して以前より安全性が高まったと感じますか。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①高まったと感じる	10	2.3
②少し高まったと感じる	191	42.9
③少し低くなったと感じる	64	14.4
④低くなった	45	10.1
⑤わからない	135	30.3
合計	445	



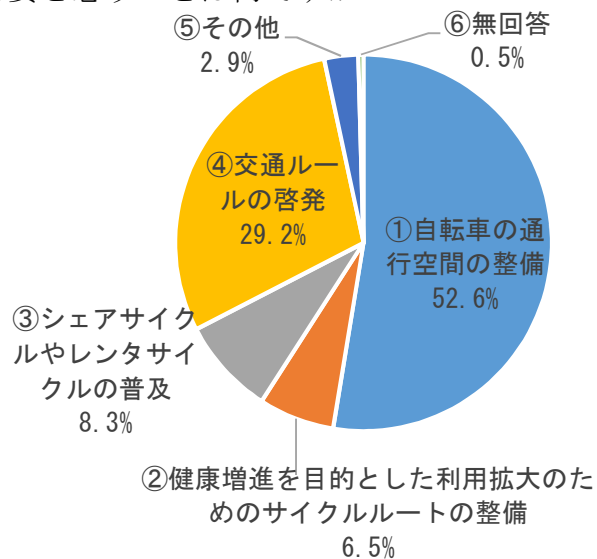
【考察】

約45%の方が以前より安全性が高まったと感じられている要因としては、これまでの安全教育や交通ルールの周知啓発の取り組みに加え、自転車通行空間の整備により歩行者と自転車を分離する取り組みが進められていることで、歩行者の視点で安全性が高まったと実感されている方が増えたことが考えられます。

<その他>

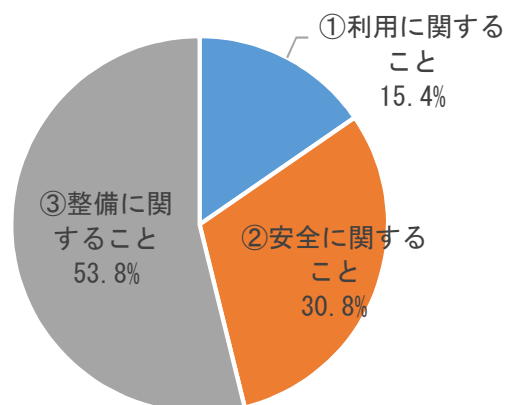
問5. 枚方市で自転車を活用するために、一番必要と思うことは何ですか

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①自転車の通行空間の整備	234	52.6
②健康増進を目的とした利用拡大のためのサイクルルートの整備	29	6.5
③シェアサイクルやレンタサイクルの普及	37	8.3
④交通ルール啓発	130	29.2
⑤その他	13	2.9
⑥無回答	2	0.5
合計	445	



問6. 問5「⑤その他」を選ばれた方のご意見

選択項目	意見数 (件)	割合 (%)
①利用に関すること	2	15.4
②安全に関すること	4	30.8
③整備に関すること	7	53.8
合計	13	



①利用に関する意見

- ・自宅周辺は坂道が多いので、購入すると電動自転車となるが高価格で躊躇している。シェアサイクルやレンタサイクルが自宅近隣にあればよい。

②安全に関する意見

- ・自転車も道路交通法上の軽車両であることを認識し、逆走・信号無視・ながら運転などは道路交通法に基づき厳しく罰して欲しい。
- ・自転車に乗る人が自転車は凶器になるという気持ちで乗らないと意味がないので、自転車に乗る人の意識を高めるよう、小中高大の学生や大人への交通ルールの指導、違反した場合のペナルティの周知をして欲しい。

③整備に関する意見

- ・道路を平坦に整備した上で、自転車通行空間を確保して欲しい。
- ・元々の道路幅に青い矢羽根を設置しただけでは、車との距離も近く危険を感じる人が多い。
- ・枚方市駅周辺などは駐輪場が停められず大変なので駐輪場を整備して欲しい。

【考察】

自転車通行空間の整備が過半数を占めていることから、自転車活用を促進するためには、自転車通行空間を整備することが最も効果的であると考えられます。交通ルールの啓発を求める意見も2番目に多かったことから、ハード整備と併せた安全教室や交通ルールの周知啓発の取り組みも求められていることがわかりました。

【まとめ】

自転車通行空間の整備が進んだことで、歩行者と自転車を分離する取り組みへの認識が高まっていることや、自転車を利用される方のマナーやルールなど安全への意識も高まってきていることが分かりました。

一方で、その取り組みがまだ不十分と感じている方が多くおられることも分かり、自転車が環境への負荷軽減や災害時における移動手段の確保、健康の増進等に果たす役割についての周知も図りつつ、引き続き自転車通行空間の整備や交通安全の啓発、自転車利用の促進を進めてまいります。

6. 市総合コールセンターに関するアンケート

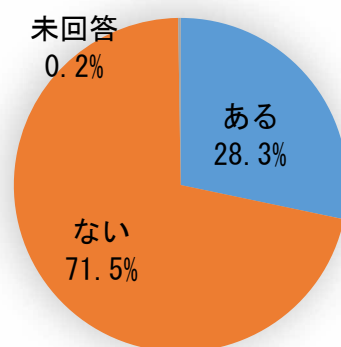
本市では、市に関するさまざまな問い合わせについて総合コールセンターが応じています。オペレーターによる電話対応だけでなく、よくある質問(公開用 FAQ)の内容充実や、デジタル技術の活用などを通じて、市民の皆さまからの様々な問い合わせに迅速かつ適切に対応できるよう、取り組みを進めているところです。

今年度は、代表電話へのお問い合わせのつながりにくさや、たらいまわしの解消を目的に、市総合コールセンターに音声自動応答装置(IVR)を、新たに導入するとともに、コールセンターホームページ上においても、皆さまの疑問解消につながるよう、よくある質問の内容について会話形式でお答えする、チャットボットの運用を開始いたしました。

今回いただきましたご意見を参考に、市総合コールセンター運用に活かしていきたいと考え、アンケートを実施したものです。

問 1. 市総合コールセンター(代表電話 072-841-1221)を利用されたことはありますか。あてはまる番号を選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① ある	122	28.3
② ない	309	71.5
③ 未回答	1	0.2
合計	432	



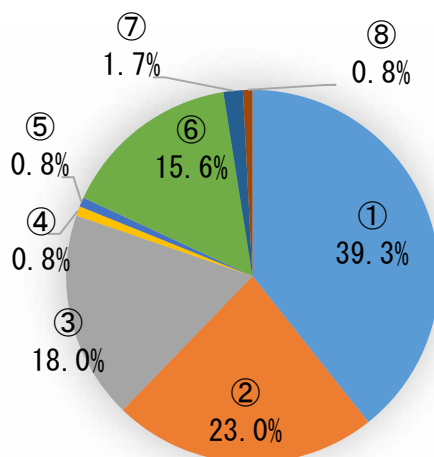
【考察】

市総合コールセンターを利用したことが「②ない」と回答した人の割合が全体の71.5%であり、「①ある」と回答した人の割合の28.2%を大きく超える結果となりました。

【問 1 で①を選択した方にお聞きします。】

問 2. 市の代表電話番号はどのように知りましたか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 市公式ホームページ	48	39.3
② インターネット検索	28	23.0
③ 広報ひらかた	22	18.0
④ 市のポスター・チラシ等	1	0.8
⑤ 市以外が発行する広告物	1	0.8
⑥ 以前から知っていた	19	15.6
⑦ その他	2	1.7
⑧ 未回答	1	0.8
合計	122	



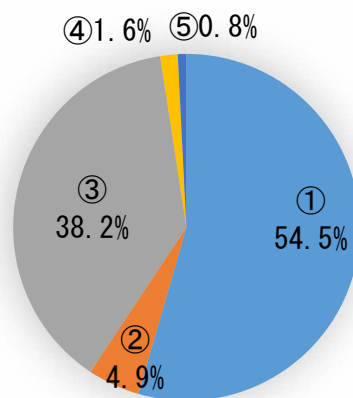
【考察】

市の代表電話番号を知った方法については、「①市公式ホームページ」「②インターネット検索」と回答した人の割合が全体の半数を超えています。一方で、「③広報ひらかた」「④市のポスター・チラシ等」の紙媒体と回答した人の割合の合計も18.8%ありました。

【問 1 で①を選択した方にお聞きします。】

問 3. 代表電話にはどのような方法でかけましたか。あてはまる番号を 1 つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① スマートフォン	67	54.5
② スマートフォン以外の携帯電話	6	4.9
③ 固定電話	47	38.2
④ その他	2	1.6
⑤ 未回答	1	0.8
合計	123	



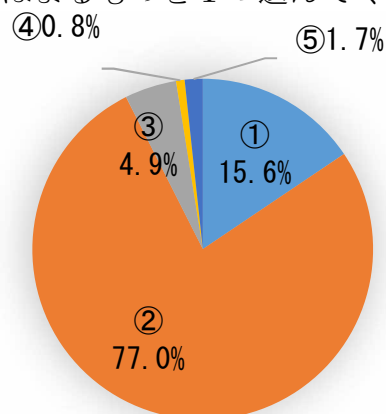
【考察】

代表電話への架電方法としては、スマートフォン等の携帯電話と回答した人の割合の合計が半数を超えています。固定電話と回答した人の割合も全体の 37.7% となっています。

【問 1 で①を選択した方にお聞きします。】

問 4. 市総合コールセンターの対応はどうでしたか。あてはまるものを 1 つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 大変良かった	19	15.6
② よかった	94	77.0
③ 悪かった	6	4.9
④ 大変悪かった	1	0.8
⑤ 未回答	2	1.7
合計	122	



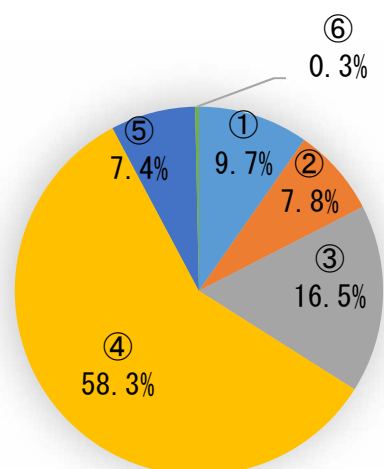
【考察】

コールセンターの対応については、「①大変よかった」「②よかった」と回答した人の割合が全体の 92.6% となり、概ねコールセンターの対応に満足されていることが分かりました。

【問 1 で②を選択した方にお聞きします。】

問 5. 市総合コールセンターを利用されなかった理由は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 担当課の直通番号を知っているから	30	9.7
② メールなど電話以外の方法で問い合わせたから	24	7.8
③ ホームページを見て解決したから	51	16.5
④ 問い合わせたい用件がないから	180	58.3
⑤ この中にはない	23	7.4
⑥ 未回答	1	0.3
合計	309	



＜⑤を選択された方からの主なご意見＞

- ・コールセンターの存在を知らなかった。これから利用しようと思う。
- ・使い方が分からない

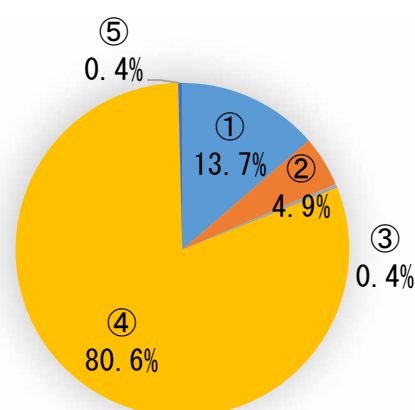
【考察】

コールセンターを利用されなかった理由については、「④問い合わせたい用件がないから」と回答した人の割合が 58.3% と一番多く、市に問い合わせをする機会自体が少ないということが分かりました。また、用件がある場合でもホームページの活用やメール・担当課への直通電話にてお問合せされるなど、コールセンターを介さず解決されていることも分かりました。

問 6. 市総合コールセンターでは6月から音声自動応答装置（IVR）を導入しています。用件に応じ、プッシュ番号を押すと専用コールセンターの番号案内音声の再生や、オペレーターへの転送が行われます。

案内方法について、あてはまるものを1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① わかりやすかった	59	13.7
② よくわからなかった	21	4.9
③ まったくわからなかった	2	0.4
④ 利用したことがない	348	80.6
⑤ 未回答	2	0.4
合計	432	



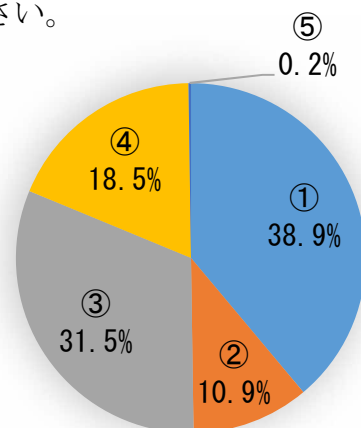
【考察】

IVR については「④利用したことがない」との回答が約8割を占めていますが、これは問1にて「コールセンターを利用されたことがない」と回答された方が、約7割を占めていることから、IVR を利用される機会自体がなかった方が多いものと考えられます。

一方で、利用された方については、約7割の方が、「①わかりやすかった」と答えられていることから、利便性の向上には一定の効果があると考えます。

問 7. 市総合コールセンターの音声自動応答装置（IVR）では、現在、専用コールセンターの番号案内音声の再生とオペレーターへの転送のみとなっています。今後の案内方法として、より詳細な音声案内に従い、複数回の番号選択によって担当課に直接転送される方法が望ましいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 望ましい	168	38.9
② 現在の案内方法が良い	47	10.9
③ オペレーターへ転送される方法がよい	136	31.5
④ わからない	80	18.5
⑤ 未回答	1	0.2
合計	432	

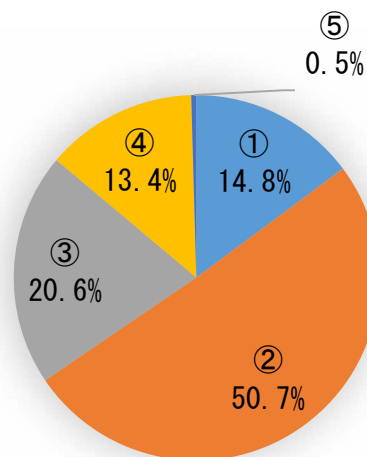


【考察】

担当課に直接転送される方法が「①望ましい」、「③オペレーターへ転送される方法よい」との回答の割合がそれぞれ3割を超え、「②現在の案内方法が良い」との回答の割合は、約1割となりました。担当課の職員やオペレーターなどの対人による対応を、希望される方が多いことが分かりました。

問 8. 本市のホームページでは、特に問い合わせが多い質問をまとめた「よくある質問（公開用 FAQ）」を掲載しています。あてはまるものを1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 市ホームページを見たことがない	64	14.8
② 市ホームページを見たことはあるが、「よくある質問（公開用 FAQ）」は知らない	219	50.7
③ 「よくある質問（公開用 FAQ）」を利用したことがあり、問題が解決した	89	20.6
④ 「よくある質問（公開用 FAQ）」を利用したことがあるが、問題は解決しなかった	58	13.4
⑤ 未回答	2	0.5
合計	432	



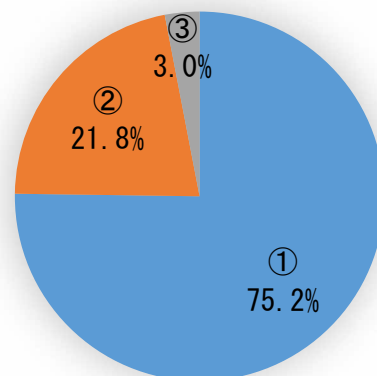
【考察】

「②市ホームページを見たことはあるが、『よくある質問（公開用 FAQ）』は知らない」と回答した人の割合が、50.7%と最も多く、「①市ホームページを見たことがない」と回答した人の割合との合計が、65.5%となりました。

「③」または「④」を選択された「よくある質問（公開用 FAQ）利用された」方のみで見ると、約6割の方が公開 FAQ によって問題が解決したことが分かりました。今後も、問題解決に繋がるよう公開 FAQ を充実していくことが必要だと考えられます。

問 9. コールセンターのホームページでは、5月から市公式キャラクター・ひこぼしくんが会話形式で質問にお答えする「チャットボット」を導入しています。あてはまるものを1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① コールセンターのホームページや、ひこぼしくんのチャットボットは見たことがない	325	75.2
② ひこぼしくんのチャットボットは見たことがあるが、利用していない	94	21.8
③ ひこぼしくんのチャットボットを利用した	13	3.0
合計	432	

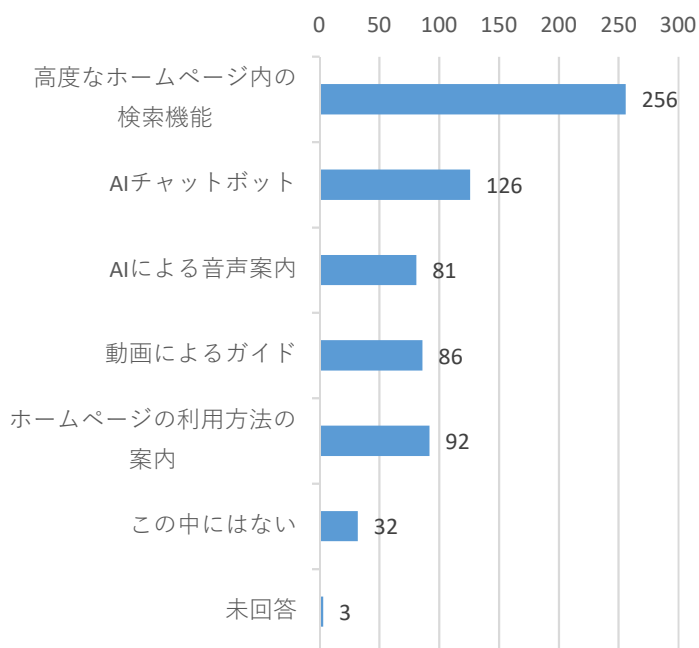


【考察】

チャットボットについては、「③利用した」と回答した人の割合が全体の3%にとどまっており、市民への十分な認知がされていないことが分かりました。

問 10. 本市では「24 時間いつでも問い合わせできる市役所」を目指しています。知りたいことを解決する方法として、あれば良い・充実してほしいサービスについて、あてはまるものを選んでください。(複数選択可)

選択項目	回答数 (人)
① 高度なホームページ内の検索機能	256
② AI チャットボット	126
③ AI による音声案内	81
④ 動画によるガイド	86
⑤ ホームページの利用方法の案内	92
⑥ この中にはない	32
⑦ 未回答	3
合計	676



<⑥を選択された方からの主なご意見>

- ・いままでの電話も残してほしい。
- ・人対人の案内が良いと思う。
- ・ホームページが使いにくい。
- ・キーワードで検索しても見つからなかった。検索機能を向上させてほしい。
- ・不完全な AI の利用には疑問を感じます。
- ・高齢者でも分かるようなシステムや小冊子があれば良い。

【考察】

今後あれば良い、充実してほしいサービスとしては、「①高度なホームページ内の検索機能」「②AI チャットボット」の合計回答数が全体の半数以上を占めました。

また、「③AI による音声案内」「④動画によるガイド」「⑤ホームページの利用方法の案内」の回答も同数程度あり、利用案内を求める声があることがわかりました。「⑥この中にはない」を選択された方からは、電話など対人対応を求める声や機能の充実など多様なご意見があり、幅広い対応が求められていると考えられます。

【まとめ】

市総合コールセンターの利用状況については、約3割程度という結果となりましたが、その理由の一つは、市へ問い合わせる用件や機会がないということでした。一方で、市に問い合わせたい用件がある場合は、担当課への直通電話やホームページ、メール等多様な方法を利用されています。

就労や家事、育児などで日中に電話する時間がない方や、お電話でのやりとりが苦手と感じる方など、ニーズに応じて対応できる手段を充実しておくことが重要であると考えています。そのため、市への問い合わせや問題解決の手段として、市ホームページ内に「よくある質問（公開用FAQ）」を設置するほか、「コールセンターホームページ」や「ひこぼしくんのチャットボット」を導入していますが、これらに対する認知度は低いという結果となりました。

しかしながら、「よくある質問（公開用FAQ）」を利用された方からは、「問題が解決した」との回答が一定数得られており、今後も市民にとって利便性のある手段となることが見込まれることから、内容の充実とより一層の周知に取り組むたいと考えます。

また、本年度よりコールセンターに導入した音声自動応答装置（IVR）については、市総合コールセンターを利用された方自体が少なかったことから、IVR を利用されたことがある方も約2割程度となりました。利用された方からは「わかりやすかった」との回答も一定数得ており、今後も伝わりやすい音声案内となるよう取り組んでまいります。

知りたいことを解決する方法として、あれば良い・充実してほしいサービスとして、多くの方がホームページやAI を利用した情報検索機能の充実を希望されていました。併せて、それらの情報検索サービスの操作方法の、十分な説明や案内を求められていることもわかりました。様々な検索ツールを通じて、好きな時間に必要な情報を得られるデジタル環境の充実及び利用のサポートが課題であると考えます。

また、オペレーターや職員による対人での対応を求められる声も一定数あったことから、引き続き対人による丁寧な対応も、必要であると考えます。

今回いただいたご意見を参考に、市総合コールセンターの運用及び検索機能等の充実に向けて取り組んでまいります。